

金網製造 四柳原八八 奥谷儀三郎
菓子製造 同 八五 菊本與吉
板問 屋新町八七 電話一、三二一 新本店
煙 草 御幸通八丁目 辻 榮 吉
吳 服 同 七丁目 山中奈良藏
吳 服 同 七丁目一〇 田中延藏
吳 服 同 七丁目一四 佐藤玉之助
洋 酒 布引通四丁目 和田伊輔
材 木 同 四丁目 岡野貞次郎

日本燐寸同業組合 (組合主滋香中抄録)

本邦燐寸の産額今や壹千萬圓に達し而して阪神兩港を
經て輸出するもの之れが八分を占め尙漸次増加するの
今日に於て苟も之れに應ずるの畫策なかる可らず、由
來大阪、兵庫に於ける燐寸製造業者は各組合を設け協
同一致營業上の利害得失を講究し種々の弊害を矯めん
とし、又一方之れが統一を計り貿易の發達を圖らん爲
め大阪、兵庫燐寸同業組合聯合會を組織し茲に十數年
を經過し來りしも、元來輸出燐寸と内國燐寸とは

其品質價格其他販賣等の狀況に於て自ら別あり、殊に
内國燐寸は其生産額尙僅少にして敢て營業上の弊
害を矯正せざる可らざるの必要渺なきのみならず或は
組合業務施行上圓滑を缺き反て輸出貿易の發達を妨ぐ
るの嫌あるを以て既に各組合會の解散を決議し更に大
阪神戸の兩港を經由して輸出する燐寸製造業者のみ協
同一致し只管輸出上の發達を企圖せんとせり、而して
之れが發達を圖らんには主として製品の精粗商標の正
否を檢査するにあらざれば到底其目的を達すること能
はざるものなれば現今に於て既に神戸、大阪兩港に檢
査所を設け之れが檢査を實施せるが如く將來は一層之
れを勵行せざる可らず、然るに此兩港を經て輸出する
ものは單に大阪、兵庫の製品のみならず僅少と雖ども
愛知、岡山、廣島、香川等の製品あり、今大阪兵庫兩
地に於ける輸出燐寸製造業者のみ協同一致種々の方法
を講究し之れを實施するも他の一部にありては製品の粗
惡商標の不良なるものある時は内にありては組合員の
福利増進を害し外にありては本邦燐寸の弊價を失墜せ
しむるの虞あるを以て、今回更に神戸、大阪兩港を經

由して輸出する燐寸製造業者を網羅したる組合を組織
せんとし即ち日本燐寸同業組合なるもの明治三十八年
二月十七日成立するに至る、今左に役員及組合員、氏
名を擧ぐ

事務所 海岸通二丁目二ノ一

役員

組 長 瀧 川 辨 三 副組長 井上貞次郎
評議員 直木政之介 評議員 本多義知
同 瀧川儀作 同 土井龜太郎
同 秦 銀兵衛 同 近藤力藏
同 松田善七 同 小林純一
同 天神伊造

兵 庫 部

雲井通二丁目 電話七八 井上貞次郎
川邊郡伊丹町 伊丹燐寸株式會社
明石郡明石町ノ内榎屋町 伊 藤 庄 平
揖保郡森嶋村ノ内嶋村 斑鳩燐寸合資會社
飾磨郡美津村 諫 山 德 太 郎

第三章 第二十六節 神戸の實業組合案内

明石郡明石町ノ内王寺村

東川崎町五丁目

井合村字下筒井

下山手通五丁目

印南郡伊保村ノ内伊保崎

淺町三丁目

今和郡新田字金鑛場

荒田町二丁目

松原通三丁目

明石郡明石町ノ内東本町

岡林崎村ノ内林村

下山手通八丁目

楠町四丁目

水木通二丁目

武庫郡西宮町ノ内濱町

榮町三丁目

姫路市瀧野町

大開通一丁目

楠町六丁目

石丸善次郎

播磨幸七

播磨喜三郎

若瓜藤吉

本多義知

本田熊記智

友成恒太郎

良燐合資會社

齋尾長三

今井作次郎

黃 禮 蘭

瀧 川 辨 三

瀧 川 儀 作

辰馬吉左衛門

玉田政次郎

高島米吉

築山八五郎

直木政之介

電話一、〇四一

第三章 第二十六節 神戸の實業組合案内

楠町六丁目	直木三郎	飾磨郡飾磨村ノ内東堀町	溝口小八郎
旭通一丁目	日進合名會社	赤穂郡赤穂町ノ内加里屋町	赤穂機寸合資會社
琴新町	太田作太郎	印南郡曾根村	安川五十次
大開通五丁目	山口熊吉	揖保郡大津村	黒田兵作
明石郡明石町ノ内西新町	山澤松太郎	大阪	井上貞次郎
揖保郡網干村ノ内奥濱村	山本眞藏	大阪南區天王寺推寺町	石川勝治
永澤町一丁目	安田淺吉	同 東區東高津南之町	福田喜作
揖保郡網干村ノ内奥濱村	山本合名會社	同 東區北久太郎町一丁目	福中巳之助
四尻池村字西濱山	松山源次郎	同 北區東野田町	林房之助
武庫郡住吉村ノ内住吉村	前田喜代治	同 西區西長堀北通一丁目	土井龜太郎
印南郡大磯村	松谷龜吉	西成郡粉濱村	土井吉三郎
明石郡明石町ノ内船町	増本藤次郎	大阪西區西長堀北通一丁目	鶴鳴合資會社
川邊郡尼崎町ノ内別所村	小島敏衛	同 東區平野町	山代甚七
同	小森純一	同 西區本田三番町	勝部喜助
武庫郡都賀濱村ノ内新在家村	神戸三合資會社	同 西區九條町	梶原宇兵衛
水木通四丁目	日本紙造合資會社	西成郡神島村	高井源次郎
揖保郡網干町	網干機寸合資會社	大阪南區廣田町	高田又兵衛
上橋通四丁目	坂本トヨ	同 東區上本町七丁目	津崎榮太郎
南逆瀬川町二丁目	榊原榮次郎	東成郡中本村中道	

第三章 第二十六節 神戸の實業組合案内

大阪東區瓦町二丁目	長井徳太郎	東成郡林寺村字波ヶ橋	神山知義
大阪西區梅本町	中村忠兵衛	中河内郡八尾村大字大本	森田永藏
西成郡西中島村大字南方新築	中井利助	西成郡西中島村大字南方	中井幸三郎
中河内郡意城部村大字荒本	植田圓次郎	大阪東區博愛町三丁目	島田安兵衛
大阪東區南久太郎町一丁目	松田善七	堺市甲斐町	三ツ橋喜作
同 北區樋ノ上町	山本孫七	大阪東區上難波北ノ町	藤井吉次郎
同 西區松島町一丁目	松本幾藏	同 西區本田町二丁目	中島豊三郎
西成郡今宮村大字東道	大阪電光株式會社	西成郡油江	千賀サト
大阪北區本條横道町	福堂甚兵衛	西成郡神島村	矢島又壽
同 西區本田町通二丁目	小谷菊藏	中河内郡龍花村大字安中	宇田川賢次郎
中河内郡楠橋村大字稻田	近藤力藏	兵庫縣輸出米穀商組合	
大阪東區東阪町	天神伊造	事務所 兵庫宮前町二九	
東成郡生野村大字舍利寺	橋本友次郎	役員	
大阪東區材木町	重松武左衛門	組長 日本米穀株式會社代表者	
南河内郡藤井寺村大字岡	隅谷政吉	組長 柏木庄兵衛	
大阪南區櫻川町三丁目	明石惣五郎	合員	
同 東區瓦町五丁目	餘江傳左衛門	電話九一	日本米穀株式會社
同 西區江戶堀下通	池田清次郎	電話一〇八	三井物産會社支店代表者
同 北區北野四ノ町	小島金次郎	電話三〇六	遠藤大三郎
		電話二二六	鍛冶米造
			曾根忠兵衛

磯之町 澤野 久吉 議員 北熊吉 監査委員 中島胤房
 島上町 荒木卓三郎支店 住組 合員 氏名
 今出在家町 日本精米株式会社代表者
 川崎町 電話一六三 有馬市太郎 電話一三三
 北宮内町 電話一六七 泉谷 勘一 電話一三三
 小物屋町 小田 喜助 電話一三三
 宮内町 藤本 金藏 電話一三三
 事務所 神戸茶業組合 電話一七三
 榮町通三丁目一四
 役員
 組長委員 山本龜太郎 副組長委員 園部 住藏
 議員委員 阿波野 松太郎 議員委員 中村 清治
 認金保管委員 前田 彌七 川島 末吉
 議員委員 藤 重太郎 議員委員 鷺 尾 磯七
 議員委員 笠松龜三郎 議員委員 良 勝 森 新助
 同 高松 米藏 同 木崎伊之助
 同 中江勝次郎 同 菅 音次郎

榮町六丁目 中村 榮一郎 榮町六丁目二六
 同 藤 重太郎 榮町五丁目
 同 高松 米造 同 六丁目
 下山手通六丁目 灰谷 彌七 海岸通六丁目
 元町七丁目二〇ノ四 多木 金三 元町五丁目
 多間通五丁目四 中村 長吉 相生町五丁目二四三
 元町三丁目一八七 大森 善吉 元町五丁目
 榮町六丁目 川島 末吉 下山手通六丁目
 海岸通五丁目 赤穂 周太 元町六丁目六六
 宇治川町 田村 榮吉 同 五丁目
 榮町六丁目 大幡 久楠 榮町五丁目
 元町五丁目 濱田 徳松 元町六丁目
 同 六丁目 山内 友吉 榮町三丁目四八
 多間通一丁目三七 新居 才二 同 六丁目
 元町六丁目 井上 庄太郎 元町五丁目
 同 五丁目 竹内 菊松 同 六丁目
 海岸通五丁目 山下 與平 二ノ宮町四丁目四
 北長狭通七丁目 中田 常七 元町五丁目
 榮町五丁目 小川 敬吉 花隈町八〇

中口勝次郎
 前田 彌七
 木崎伊之助
 細見 幸助
 矢野 利三郎
 並木 末吉
 長濱 伊之助
 中島 胤房
 畑 駒富吉
 後藤 富藏
 伊藤 兵吉
 成尾 眞吉
 松本 眞吉
 網島 由太郎
 御影 松次郎
 田中 宗吉
 阪八 十吉
 北村 惣兵衛
 北 奈良吉

元町五丁目	平 砂 重 吉	下山手通七丁目三〇八	橋 本 萬 藏
榮町六丁目二六	伊 藤 末 之 助	海岸通六丁目一七	熊 岡 佐 平
同 二二六	島 田 岩 吉	南邊瀬川町二丁目二五	橋 本 卜 次
海岸通五丁目二八	柳 井 彌 吉	海岸通五丁目二八	森 永 佐 次 郎
榮町六丁目二一ノ九	河 野 保 嘉	同 六丁目一四	中 井 由 松
同 三〇	美 瀬 佐 兵 衛	下山手通六丁目二〇五	濱 田 信 太 郎
同 五丁目	板 谷 豐 吉	花隈町四〇	沙 川 宗 次 郎
元町五丁目二八三	的 場 清 次 郎	榮町五丁目一七	寶 田 順 之 助
同	宮 崎 彦 平	兵庫米穀肥料市場同盟會	關 根 淡 吉
下山手通三丁目四〇	西 出 久 吉	事務所 兵庫宮前町二九	電話二一九
榮町六丁目一六九	菱 田 覺 之 助	役 員	
花隈町一九九	矢 野 傳 吉	總取締 柏木庄兵衛	會計取締 直木久兵衛
同 一五〇	川 口 音 次 郎	庶務取締 石川茂兵衛	庶務取締 有馬市太郎
元町五丁目二二七	正 田 房 次 郎	委 員 日本米穀株式會社	委 員 山 田 喜 助
同 二七五ノ二	堀 川 由 兵 衛	同 島 九 辰 藏	同 栗 賀 仁 兵 衛
同	中 村 組 支 店 匠 町	同 栗 田 駒 吉 同	同 筑 井 長 十 郎
同	西 村 留 吉 同		
同	西 川 源 太 郎 同		
同	馬 淵 正 三 郎 同		
同	武 島 駒 太 郎 同		
同	大 門 熊 太 郎 同		
同	布 江 太 八 郎 同		
同	赤 松 喜 七 郎 同		
同	山 田 喜 助 同		
同	豐 田 半 次 郎 同		
同	鍛 冶 米 造 同		
同	布 江 九 太 郎 同		
同	松 本 幸 吉 同		
同	平 井 龍 松 同		

住 所

鍛冶屋町	藤 井 又 兵 衛	松屋町	三 四 六 小 山 粹 次 郎
同	喜 多 二 郎	同	一 九 四 林 彦 太 郎
同	九 一 日 本 米 穀 株 式 會 社	同	六 二 九 粟 賀 仁 兵 衛
同	吉 田 治 三 郎	同	七 二 三 澤 田 龜 之 助
同	五 九 七 中 村 組 支 店	同	八 九 〇 岸 上 彌 作
同	西 川 源 太 郎	同	荒 木 支 店
同	馬 淵 正 三 郎	同	藤 本 文 吉
同	武 島 駒 太 郎	同	瓜 谷 宇 兵 衛
同	大 門 熊 太 郎	同	五 七 三 泉 理 右 衛 門
同	布 江 太 八 郎	同	五 八 四 直 木 久 兵 衛
同	赤 松 喜 七 郎	同	五 四 一 栗 本 甚 藏
同	山 田 喜 助	同	三 三 七 天 羽 兵 二
同	豐 田 半 次 郎	同	一 四 〇 藤 井 定 介
同	鍛 冶 米 造	同	四 五 六 山 崎 合 名 會 社
同	布 江 九 太 郎	同	
同	松 本 幸 吉	同	
同	平 井 龍 松	同	

島上町	電話 六三三	中野春吉	電話 九八二	安田莊兵衛
同		榎田庄次郎	電話 一七三	藤本金藏
船大工町	電話 八二七	井上茂助	電話 二五三	小泉文介
同	電話 一五三〇	和田清太郎		北田廣吉
今出在家町		日本精米株式會社	電話 一八六	上田萬次郎
南仲町	電話 四四四	武貞岩次郎		田中種吉
磯之町	電話 七二六	鹿網光		坂本熊太郎
同		煎野藤吉		栗田駒吉
同	電話 五〇三	澤野久吉	電話 二二九九	角谷勝次郎
同		中西久吉		栗谷佐介
同	電話 五二九	柏木庄兵衛	電話 一五九	栗森六郎
魚飼町		白井源藏		栗田儀一
同		島九辰藏	電話 一六七	泉谷勘一
同		植田猶吉		泉野廣介
同	電話 二四七	石牧齋介	電話 三三六	高井武兵衛
同		井上忠兵衛	電話 三三九	泉谷文七
北逆瀬川町	電話 一四七七	辰己るん	電話 一三六	曾根忠兵衛
同		石川卯兵衛	電話 一七一	石川茂兵衛
同		辻野重吉		藤井平介

川崎町	電話 六四三	有馬市太郎	電話 五二九	尾常吉
同	電話 一三四三	松村宇治吉	電話 一〇九	壺又吉
同		和泉商店		福永嘉吉
同		島田源吉	電話 一〇六	神戶支店
同	電話 一三四七	井口商會		
同		谷口竹次郎		
同	電話 四九〇	高西松藏		
同		中島松太郎		
同	電話 六四七	喜多朝藏		
同	電話 一九三	柴谷惣八郎		
同		藤谷信太郎		
同	電話 一三五	藤田常七		
同		柏原幾之助		
同		山平兼子		
同	電話 一四五	川西善右衛門		
同	電話 一四六	筑井長十郎		
同		筑井逸藏		
同	電話 一四七	網盛彌兵衛		
同	電話 八六〇	丹治龜吉		
東出町				

東出町	電話 五二九	尾常吉
同	電話 一〇九	壺又吉
同		福永嘉吉
同	電話 一〇六	神戶支店

三十七年中の時局と當港肥料界 (市役所調査)

肥料界に最大有力なる牛莊大豆粕の時局の爲め海上の危険運賃の騰貴等に驅られて之が輸入の途を著しく縮少せられたる結果延びて北海道産鯨粕に影響を及ぼし大に之が需用を増加せんとするに際し浦鹽艦隊の北海に出没するありて輸送上甚だしき支障を來し例年七八の兩月は北海産鯨粕の最も多額輸入すべき時期なるに昨年如きは非常に減退して即ち左の如き結果を生ずるに至れり

月次	廿七年輸入高	廿六年輸入高	比
一月	一五七	二五七	八七減
二月	七三	二九〇	二八減
三月	六八	一六九	三三減

計	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114
	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114	10,114

右の如く時に或は十月の如き比較的多額の入荷ありたりしは是單に海上の稍安穩に歸せしと價格の騰貴とに因れる一時の現象に止まりて大體は時局の爲め昨年中は著しく打撃を蒙りたるや明かなり牛莊大豆粕の如きも非常なる影響を蒙りて兎角圓滑なる取引を見る能はず故に相場は勢ひ需給の權衡より昇騰を來し近年未曾有の價格を示し各需用者も亦遂に此等高價の肥料を甘じて買入るゝの已むなきに至れり。

神戸蠶絲販賣商同業組合
事務所 海岸通二丁目二一

役員
組合長 伊藤 良藏 評議員 佐谷力左衛門
評議員 田原 裕吉
組合員
住 所 氏 名

神樂株式會社支配人
電話 五九三 宅 忠藏
中山手通五丁目
電話 一〇六八 村 瀬 庄 平
元町六丁目二八〇
電話 二八二 伊 藤 良 藏
土屋 健 治 郎
海通通三丁目二七
電話 二八二 伊 藤 良 藏
足 立 富 次
神戸海陸産物貿易同業組合
事務所 榮町通三丁目一四
役員
組 長 山 本 豊 介 會計主任 園 部 住 藏
副組長 阿波野松太郎 評議員 今中秀一郎
評議員 植 田 徳 松 同 西 成 新 右 衛 門
金保管委員 中 口 勝 次 郎 同 岡 田 熊 次 郎

評議員 信認 小泉又十郎 評議員 福田久八
金保管委員 合資住源 商會同 澤田徳松
信認委員 藤井定介 同 北村安太郎
會計主任 佐々木種三郎 同 元町通三丁目四五七
同 元町通六丁目一五〇三
同 元町通三丁目四五六

住 所	氏 名	住 所	氏 名
海岸通五丁目四六	佐々木種三郎	同	大野平三郎
同 六丁目一〇	植田徳松	同	小笠原藤一
榮町通三丁目二一	今中秀一郎	同	小畑種吉
海岸通五丁目四六ノ五	泉 眞 吉	同	岡田熊次郎
元町通三丁目四五六	今津 勢 助	同	和野三郎右衛門
多聞通六丁目二〇五	橋本 音 吉	同	和田吉兵衛
元町通三丁目二五〇	濱田楠太郎	同	河野保喜
榮町通四丁目五七	西成新右衛門	同	勝弘貞次郎
同 六丁目一五〇二	西田富三郎	同	吉田金之助
同 五丁目八二ノ一	西村 賦 市	同	依田萬助
同 五丁目	棒谷 ッウ	同	吉野藤七
船大工町一七	奥野 熊 藏	同	野村壽之介
同 五丁目	大崎源兵衛	同	加藤福松
同 六丁目二六	同	同	吉野喜七
同 五丁目	同	同	谷本定吉
同 五丁目	同	同	園部住藏
同 五丁目	同	同	津田庄助
同 五丁目	同	同	中村清次郎
同 六丁目	同	同	中口勝次郎

榮町通六丁目一八〇	成田清之助	海岸通四丁目二三	小泉又十郎
元町通六丁目一〇三	中村荒吉	元町通三丁目四五七	小西嘉兵衛
海岸通三丁目二六	苗村源治郎	海岸通五丁目三五	伊藤貞七
和歌山縣有田郡島屋城村	中上彦太郎	榮町通四丁目四一ノ一	小山利一郎
元町通六丁目一六二	梅原支店	大阪市初南通五丁目	小笹善兵衛
榮町通六丁目一二五	宇美徳太郎	松屋町二九	阿邊清左衛門
同 五丁目七九	窪田平吉	西出町二三二	酒井丑松
海岸通四丁目二八	山本豊介	榮町通四丁目四八	酒木市松
榮町通四丁目三三	山田庄助	同 二丁目二七ノ一	澤田徳松
同 六丁目四二	阿波野松太郎	同 六丁目一三九	酒井治助
新町四〇ノ一	山本市郎右衛門	元町三丁目四五六	澤木政吉
榮町通四丁目五五	矢木安太郎	海岸通五丁目三四	北村安太郎
同 三丁目二七	山脇イト	宮前町二〇	北風半七
同 五丁目四六	前田彌七	海岸通六丁目一七	北村伊之助
同 二丁目四〇	牧野利一郎	榮町通三丁目七二	北村參次郎
御幸通三丁目一三〇	松村忠吉	同	北村芳三郎
島上町二九	藤井定介	同	北村常一郎
川崎町一三〇	福田久八	榮町通四丁目五〇	宇野常一郎
榮町通四丁目四六	二見松太郎	相生町四丁目二八	三木茂八

榮町通二丁目一一	電話 四四七	水野辰次郎	住	船大工町三五	電話 三六一	入江午吉
下山手通二丁目三ノ二	電話 四四七	澁谷龜次郎	住	辨天町八八	電話 一、一四	岩本啓二
三宮町三丁目一四七		信久組	住	東出町二丁目四七		長谷善輔
松屋町三四		鹽田竹次郎	住	算所町七一		原田芳兵衛
榮町通三丁目二		平野重太郎	住	東川崎町二丁目一八ノ二	電話 八三三	濱田保太郎
同 五丁目七三		菱谷喜次郎	住	榮町通五丁目五六		西元保太郎
花隈町五四一		關根濱吉	住	元町通一丁目二八	電話 一三七	土井濱之助
榮町通三丁目六一		住源商會	住	北長狭通三丁目二二	電話 一三五	西村松之助
下山手通六丁目一五八	電話 一七五	鈴木伊左衛門	住	海岸通二丁目一	電話 六〇五	大島兵太郎
榮町通四丁目一一		和久幸吉	住	榮町通六丁目一〇		大島野元吉
同 六丁目一五			住	仲町通六丁目二六		大塚政吉
神戸石炭商同業組合				東川崎町一丁目四六		大倉益太
事務所 榮町通五丁目二五ノ三				磯上通七丁目六		大賀源九郎
役員				魚柳町三〇		大賀源九郎
組長 水島重吉	副組長 高見義確	評議員 西元保太郎	評議員 安川謙介	古渡通四丁目六四		大賀源九郎
評議員 岩本啓二	評議員 奥野元吉	評議員 長谷善輔	川崎町一三	元町通一丁目二七		大賀源九郎

神明町三七	電話 九二〇	高見善兵衛	出在家町番外一四	北村竹治郎
相生町二丁目四	電話 一〇五〇	高見義確	三宮町三丁目一五	岸直七郎
多聞通六丁目二六	電話 一三四二	高德梅吉	相生町一丁目一〇	三峯合資會社支店代表者 木村久壽彌太
川崎町八五		多田伯四郎	榮町通五丁目五	電話 四五七
元町通六丁目一五二		成尾三郎	榮町通五丁目五	電話 八二六
御幸通七丁目五七		村上玉三郎	四仲町四二	電話 八六四
中山手通二丁目二五		村上五百松	磯之町四八	
東川崎町一丁目五二	電話 七二一	上野増三郎	相生町五丁目六八	
楠町四丁目三		上松民五郎	下山手通四丁目二〇	
東川崎町一丁目七八		熊本周作	北長狹通三丁目五	
海岸通五丁目八	電話 二二三	安川謙介	榮町通一丁目五一	
同三丁目二三		福本佐次郎	北長狹通三丁目二	
楠町一丁目六七		後藤勝造	南本町五丁目六〇	
海岸通三丁目六		近藤和三郎	北長狹通三丁目三二	
元町通三丁目二七四	電話 一〇一六	小島長四郎	島上町八七	
榮町通六丁目一七九	電話 一〇一〇	遠藤大三郎	湯町一丁目一	
海岸通三丁目三		天羽兵三郎	三宮町一丁目一七一	
島上町二六		三條音吉	雲井通三丁目一七二	
元町通四丁目七八				

元町通六丁目一七一

河村米吉

三宮町一丁目一六九ノ二

田中専次郎

榮町通一丁目

電話 一三九六

倉祐

三宮町一丁目一八九

朝日商會

事務所 三宮町一丁目四

神戸麥稈真田同業組合

加納町五丁目七

宮田組支店

組合長村上森造

副組合長矢切芳太郎

三宮町一丁目八二

原田伊之助

評議員野澤組支店

評議員丹羽豐之助

元居留地京町二五

信友商會

評議員原田伊之助

評議員細川喜代藏

加納町六丁目三

三六商會

評議員中亥歳男

評議員伊藤清吉

備中上房郡番屋町

清水豊太郎

評議員清水安太郎

加納町五丁目一三九

村尾哲郎

住 所 氏 名

三宮町一丁目三〇六

小川伍吉

三宮町三丁目一四七

電話 八〇五

三宮町一丁目三八一

葛西治兵衛

元居留地仲町五五

野澤組支店

北長狹通二丁目三

中西源之助

北長狹通二丁目一五八

丹羽豐之助

三宮町一丁目一五

三輪邦助

三宮町一丁目三〇七ノ二

電話 八〇二

中山手通三丁目三六

林芳五郎

三宮町一丁目八二ノ四

電話 一、二五七

三宮町一丁目一四

丸龜麥稈株式會社出張所

三宮町一丁目八二ノ四

電話 一、二五七

雲井通五丁目五一

北村宗一

三宮町一丁目二八五
 加納町五丁目一四
 中山手通一丁目三〇四
 榮町通五丁目八〇
 三宮町二丁目二五九
 布引通四丁目九三
 三宮町一丁目一八〇ノ五
 下山手通一丁目一九〇一
 琴緒町五丁目一四九
 三宮町二丁目一七
 三宮町一丁目二九五
 北長狹通一丁目二二〇二
 三宮町一丁目一六九ノ一八
 三宮町一丁目三一六
 三宮町一丁目一三三
 三宮町一丁目一六九ノ一五
 三宮町一丁目五
 中山手通一丁目二四〇
 八幡通四丁目一五九

久保嘉太郎 三宮町一丁目四八ノ三
 坂本寅吉 元町通一丁目六ノ三
 伊藤清吉 三宮町一丁目四八ノ三
 奥田熊次郎 兵庫燐寸小函及素地製造業組合
 岸田太郎 事務所 三川口町一丁目一〇四
 高知製糖工場 役員
 三宅菊次郎 組長 八木佐七
 長谷川協造 副組長 松井武三郎
 河野久次郎 評議員 田中清次郎
 糸川榮吉 評議員 山本武右衛門
 小川林平 評議員 原井總吉
 逸見静枝 評議員 高井米太郎
 赤木益治 評議員 江口源三郎
 岡本惣一郎 住 所 氏 名
 岡田福八郎 南瀬瀬川町二丁目
 南出張店 島上町三
 岡田福太郎 小川町二丁目
 清水柳太郎 小川町二丁目
 電話 七九四八

大開通二丁目
 三川口町三丁目
 櫻井通八丁目
 大開通六丁目
 淡町一丁目
 櫻井通八丁目
 淡町二丁目
 永澤町二丁目
 濱崎通二丁目
 三川口町二丁目
 東出町
 淡町二丁目
 淡町二丁目
 永澤町三丁目
 新在家町七丁目
 大開通五丁目
 三川口町一丁目一〇四
 水本通四丁目
 濱崎通二丁目

原井龜吉 大開通三丁目
 生島菊太郎 下澤通二丁目
 高井米太郎 松原通五丁目
 江口源三郎 四御原町一〇八ノ三
 六田英七 駒ヶ林五二
 志村鶴吉 齊原通二丁目
 藤田房松 松原通四丁目
 小山房吉 大開通五丁目
 睦好幸吉 南瀬瀬川町一丁目
 木原彌三松 小川通一丁目
 伊勢久松 大開通二丁目
 高岡虎吉 中道通四丁目
 高岡辰造 塚本通三丁目
 岡田八三郎 入江通三丁目
 岡田龜市 荒田町
 森田常次郎 小川通五丁目
 原田寅造 川崎町四〇
 辻岡虎三郎 水本通三丁目
 植田久七 塚本通五丁目

泉谷ミツ
 武内市之介
 喜多佐太郎
 建部與太郎
 北村熊吉
 吉川金藏
 寺尾豊吉
 宮内久藏
 福田兵吉
 森本安松
 川本喜代松
 小田切長太郎
 川口虎五郎
 藤田松太郎
 井上音吉
 能登國太郎
 佐野豊治
 平田大三郎
 谷澤さめ

塚本通
 入江通二丁目
 大開通六丁目六
 湊町三丁目
 芦原通四丁目
 小川通四丁目
 中道通五丁目
 塚本通五丁目
 荒田町三丁目
 水本通四丁目
 大開通二丁目
 東川崎町三丁目
 永澤町一丁目
 湊町四丁目
 切戸町
 西柳原町三〇二
 湊町一丁目
 住吉町三丁目

兵庫縣綴通同業組合

江口 勢吉
 野村 久太郎
 福井 吉太郎
 生島 慶太郎
 栗原 善太郎
 藤原 善太郎
 砂川 秀三郎
 前山 力松
 織田 雅敬
 安岡 兵吉
 泉谷 政吉
 松江 利平
 池野 重作
 打浪 午吉
 河内 庄三郎
 本岡 興茂
 林 孫介
 中瀬 百松

事務所 北長狹通四丁目四
 役員
 組合長 松井和吉
 副組合長 北野梅吉
 評議員 井上大吉
 評議員 三谷岩吉
 評議員 岡本政吉
 評議員 藤原市松

住 所
 佐比江町九四
 駒ヶ林六四八
 元町通一丁目三三一
 元町通三丁目三四一
 赤穂郡新濱村五三
 堺市戎町
 赤穂郡新濱村二〇六
 赤穂郡赤穂町ノ内中村四五二
 赤穂郡赤穂町ノ内中村五
 堺市材木町
 堺市西中町

神戸花葎商同業組合

事務所 下山手通二丁目五四
 役員
 組長 磯部熊太郎
 副組長 丹下良太郎
 評議員 山野仁兵衛
 評議員 石森茂兵衛
 評議員 福田幸之助
 評議員 船橋襄
 評議員 吉田虎吉
 信託委員 森本六兵衛
 會計 石田常七
 組合員
 住 所
 三宮町二丁目
 三宮町二丁目
 御幸通六丁目
 三宮町一丁目
 磯上通二丁目
 北長狹通二丁目
 加納町四丁目
 磯邊通三丁目
 三宮町一丁目
 小野柄通五丁目

磯部 熊太郎
 丹下 良太郎
 山野 仁兵衛
 石森 茂兵衛
 福田 幸之助
 船橋 襄
 吉田 虎吉
 森本 六兵衛

御幸通六丁目
 御幸通八丁目
 加納町六丁目
 三宮町一丁目
 三宮町二丁目
 三宮町二丁目
 三宮町一丁目
 三宮町三丁目
 北長狹通三丁目
 榮町通六丁目
 榮町通六丁目
 花隈町三三ノ二
 中山手通二丁目
 元町通一丁目
 元町通二丁目
 山本通四丁目
 事務所 北長狹通四丁目四
 役員

電話一三六〇 山上初次郎
 電話一三〇三 池田貫兵衛
 電話一四一〇 森本六兵衛
 電話一三〇八 船橋襄
 電話一、二八三 石田常七
 電話一、二八三 吉田虎吉
 電話一、二八三 足高文七
 電話一、二八三 小倉庄太郎
 電話一、二八三 西田新吉
 電話一、二八三 阪東時助
 電話一、二八三 屋山正太郎
 電話一、二八三 西田新吉
 電話一、二八三 鹽津要平
 電話一、二八三 小倉庄太郎

組合長	高田安吉	副組合長	山本藤松	事務所	新在家町一五〇
評議員	長田大介	評議員	楠本六郎兵衛	役員	
評議員	北野政太郎	評議員	釘谷喜之介	評議員	河村正雄
住吉通一丁目一	長田大介	評議員	宮下治之助	評議員	島岡竹治郎
新町八	室谷藤七	評議員	赤尾福松	評議員	神田直五郎
日暮通一丁目一	高田安吉	評議員	釘谷喜之介	評議員	青井治郎吉
井合町二七七	山本藤松	評議員	同 盟 員	評議員	青井治郎吉
井合町一〇六	山内市太郎	評議員	同 盟 員	評議員	青井治郎吉
井合町二五二	楠本六郎兵衛	評議員	同 盟 員	評議員	青井治郎吉
井合小野柄橋東	山 口 伊 夕	評議員	同 盟 員	評議員	青井治郎吉
武庫郡岩屋村	北野政太郎	評議員	同 盟 員	評議員	青井治郎吉
井合日暮橋東詰	平井春富	評議員	同 盟 員	評議員	青井治郎吉
磯上通三丁目	石橋常治郎	評議員	同 盟 員	評議員	青井治郎吉
山城國乙訓郡神足村馬場三	小林石松	評議員	同 盟 員	評議員	青井治郎吉
淡路岡洲本山下町	八杉二郎	評議員	同 盟 員	評議員	青井治郎吉
布引通四丁目	正木豊吉	評議員	同 盟 員	評議員	青井治郎吉

神戸材木問屋業同盟會

兵庫新川町	乾 支 店	磯邊通三丁目	江 谷 長 平
運河材木町	電話 一六二	日本木材株式會社	電話 一三四
運河材木町	電話 一四七五	岡井理吉郎	電話 一〇九五
運河材木町	電話 一、一五九	會根二之助	電話 一〇三四
運河材木町	宇野商會	須佐ノ通三丁目	北國安次郎
南遊瀬川町	白井雪次郎	新在家町	電話 七七四
新町	野村久多松	宮原町	電話 七七四
運河材木町	山口利兵衛	新在家町一五〇	電話 七七四
運河材木町	八木彌三兵衛	事務所	電話 七七四
運河材木町	電話 六三五	新在家町一五〇	電話 七七四
運河材木町	蛭子辰彌	役員	電話 七七四
切戸町	電話 三三四	會長	室谷藤七
芦原町二	荒尾朝路	評議員	井上治介
南遊瀬川町	材本榮吉	評議員	高木吉兵衛
關原町	共同木材合資會社	評議員	土岐常七
關原町	木岡嘉平	評議員	福永一
新在家町	北國幾松	同 盟 員	同 盟 員
新町	小林初藏	住 所	同 盟 員

第三章 第二十六節 神戸の實業組合案内

多聞通四丁目	北井辰藏	三川口町一丁目	石原善次郎
關所町	井上治介	荒田町一丁目	今津清治
新町	前田惣八郎	大開通四丁目	西井庄一郎
楠町一丁目	高木吉兵衛	北長狭通一丁目	岡野貞次郎
切月町	入江幸次郎	入江通二丁目	灰谷莊次郎
三宮町一丁目	土岐常七郎	湊町四丁目	畑中松造
仲町二丁目	下田喜之助	磯ノ町	北條種吉
湊町二丁目	福永一	東川崎町二丁目	岡本竹松
荒田町三丁目	今田重三郎	切月町	河本重吉
南逆瀬川町	橋本文平	楠町四丁目	山本喜代松
出在家町	日本木材株式会社代表者	古湊通一丁目	丸尾藤太郎
野田村	神田直五郎	東川崎町	有田寅吉
雲井通六丁目	大前光太郎	荻原町一丁目	安宅市造
入江通二丁目	岡崎千代吉	新町	三ツ石房吉
船大工町	武田吟三郎	北長狭通三丁目	杉本定次郎
磯之町	前田龍三郎	旗光寺境内	西川爲次郎
上橋通二丁目	松原嘉吉	塚本通八丁目	西川龜三郎
關所町	朝田彌吉	三ノ宮町二丁目	大森彌之助
下山手通八丁目	島下治之介	上澤通一丁目	大鹽榮太郎

中山手通四丁目	龜井甚藏	磯上通五丁目	關基真一
南逆瀬川町	立川捨吉	字治川町	土岐常七支店
新町	山本長兵衛	磯寸軸木商同業組合	電話 三三〇
上橋通四丁目	山口秀吉	事務所 湊町四丁目一三五	
元町通三丁目	小林喜代松	組長 巽市郎	副組長 清水孫次郎
濱崎通一丁目	寺崎芳之輔	評議員 柴田友藏	評議員 大前範次郎
入江通三丁目	白崎米吉	評議員 宇野大太郎	評議員 轟嘉兵衛
八幡通二丁目	森川龜太郎	評議員 須田藤吉	
濱崎通一丁目	森川菊太郎	組合員	
入江通二丁目	住野勝藏	住	
加納町五丁目	山本長兵衛支店	湊町一丁目一九三	電話 二八號
古湊通二丁目	吉田喜太郎	湊町三丁目六	電話 七七四
磯上通七丁目	永井新兵衛	松原通三丁目三七	宇野大太郎
仲町二丁目	山川重助	湊町一丁目三四四	須田藤吉
仲道通一丁目	松井庄介	塚本通三丁目一	角田豊太郎
北長狭通一丁目	寺田辰之助	大開通一丁目一九	築山八五郎
南逆瀬川町一丁目	佐々木秀藏	湊町二丁目三七	電話 四四八
古湊通二丁目	汐崎榮三郎	湊町三丁目三五	植田忠右衛門
雲井通八丁目	森川伊三兵衛		山田政右衛門

大開通二丁目一四
大開通二丁目五〇
東柳原町七
永澤町四丁目七〇ノ一
水木通二丁目二ノ三
東尻池村番外六
淡町四丁目二三
淡町二丁目一九四
淡町二丁目七八
芦原通四丁目五
永澤町三丁目五五
淡町三丁目七五
淡町二丁目五二
島上町四九
淡町二丁目四六
淡町二丁目一八五
永澤町二丁目一九
淡町二丁目四四
永澤町一丁目一五五

松岡彌兵衛 福原町三三九
北川為正 榮町通五丁目七一
宮下源次郎 水木通二丁目二一
南高吉 福原町二九五
赤木國次郎 開原町二一ノ三
清水孫次郎 淡町一丁目三四〇
大前範次郎 今出在家町三丁目三〇ノ七
藤嘉兵衛 佐比江町三九
西田忠 淡町三丁目三〇
竹内糖藏 淡町二丁目八六
中村芳次郎 淡町三丁目二
窪田近次郎 元町通三丁目三二七
山田雄太郎 淡町二丁目一六八
出水川芳太郎
三原卯三郎
三島紋兵衛
小西安藏
吉田龜次郎
速水勝兵衛

伊藤秀吉 電話一四一六
田中幸次郎 電話四八〇
田中幸次郎
淺井壽三郎
河村正雄
高野太三郎
鹽田善六
中村真次郎
長谷部亥三郎
白島嘉三郎
森忠治郎
盧瀛州
西脇一之助

住友倉庫神戸支店海岸倉庫
位 置 海岸通五丁目二番地 建坪數 四〇九坪
棟 數 四棟 戸前數 十戸前
層 數 三層 二階四三九坪 三階二七坪

第二十七節 倉庫業

電話一七

三井銀行小野濱倉庫

電話五六六

位 置 井合濱通八丁目三番地 總坪數 八、一七二坪

建坪數 四、七五九坪 棟 數 七棟

戸前數 五十五戸前 棟上 數 三棟

坪上 數 一、二二七坪

延 長 七十七鎖四十節 棧 橋 長二十間 市五間

神戸棧橋株式會社倉庫

電話一三二

位 置 加納町六丁目一六 建坪數 二、六五七坪

棟 數 九棟 戸前數 四十九戸前

棧 橋 長五八五呎一〇吋 軌條あり 巾四二呎

東京倉庫株式會社神戸支店

電話一四六四

高濱倉庫 建坪數 五、八六五坪 棟 數 二十九棟

戸前數 六十七戸前 棧 橋 三ヶ所

軌 條 鐵道構内と連絡するもの五條輕便レールは到る處布設す

小野倉庫

第三章 第二十七節 倉庫業

一七一

建坪數 四、四四七坪 棟 數 二十三棟

戸前數 六十戸前

內海岸倉庫

建坪數 二一六坪 棟 數 四棟

戸前數 五戸前

西町倉庫

建坪數 六五三坪 棟 數 五棟

戸前數 七戸前

新川島上町其他倉庫

建坪數 五、七九二坪 棟 數 七十棟

戸前數 百六十九戸前

外各所上屋總坪數 一、九五二坪

井上倉庫

位 置 南邊瀬川町二丁目四七番地 建坪數 一、六四三坪

棟 數 二十棟 戸前數 五十五戸前

上 坪數 八五四坪 棟上 數 六棟

上 坪數 六戸前 置木 場材 三ヶ所

坪前數 八、九九七坪 日 殺 一、八八六坪

木材置場 坪前數

兵庫倉庫株式會社

位 置 鍛冶屋町五二ノ一

電話 八九

- 鍛冶屋町北濱倉庫
建坪數 二二三坪
戸前數 十五戸前
棟數 五棟
- 同 南濱倉庫
建坪數 一七八坪
戸前數 九戸前
棟數 四棟
- 新濱倉庫
建坪數 六五三坪
戸前數 三十三戸前
棟數 八棟
- 關屋町濱倉庫
建坪數 一三〇坪
戸前數 八戸前
棟數 二棟
- 新川濱倉庫
建坪數 七七坪
戸前數 五戸前
棟數 五棟
- 出在家町濱倉庫
建坪數 一九三坪
棟數 二棟

匠町濱倉庫

- 戸前數 十一戸前
建坪數 三〇五坪
戸前數 十八戸前
棟數 六棟
- 宮内町濱倉庫
建坪數 一二五坪
戸前數 六戸前
棟數 三棟
- 北宮内町濱倉庫
建坪數 五三坪
戸前數 三戸前
棟數 二棟
- 東出町真組倉庫
建坪數 四二坪
戸前數 一戸前
棟數 一棟
- 西出町濱倉庫
建坪數 三七坪
戸前數 十五戸前
棟數 九棟
- 東出町濱倉庫
建坪數 一三五坪
戸前數 八戸前
棟數 二棟

松屋町濱倉庫
建坪數 三六坪
戸前數 二戸前
棟數 一棟

海岸通六丁目倉庫
建坪數 二二七坪
戸前數 十六戸前
棟數 七棟

外保管倉庫
建坪數 一、七三四坪
戸前數 六十五戸前
棟數 二十七棟

因みに以上倉庫中東京、棧橋、三井、兵庫、住友の五倉庫が三十八年一月改正協定し同三月一日より實施せる貨物保管料は左の如し

保管料率表		一ヶ月定	
品 種	荷 造	單 位	保 管 料
米 及 雜 穀	俵又ハ叭	石	金參錢五厘
同	同	十石以下	金四錢五厘
同	袋	二百斤以上	金貳錢五厘
同	同	二百斤未満	金貳錢
同	同	百十斤未満	金壹錢五厘
同	同	五十斤迄	金八厘

麥	粉袋	入一	袋二百磅未滿	金貳錢五厘
同	同	同	百磅未滿	金參錢參厘
同	同	同	五十磅未滿	金七厘
同	同	同	二百斤迄	金參錢
同	同	同	百五十斤未滿	金貳錢五厘
同	同	同	四百五十斤迄	金拾錢
同	同	同	四百斤迄	金拾五錢
同	同	同	四百斤内外	金拾參錢
同	同	同	百八十斤内外	金拾貳錢
同	同	同	百七十七斤内外	金拾錢
同	同	同	六十斤内外	金六錢
同	同	同	三百斤内外	金拾參錢
同	同	同	三百斤以上	金拾貳錢
同	同	同	四百斤内外	金拾錢
同	同	同	二百斤内外	金九錢
同	同	同	五百斤内外	金貳拾八錢
同	同	同	三百斤以上	金貳拾五錢
同	同	同	三百斤迄	金貳拾錢
同	同	同	三百斤迄	金拾錢
同	同	同	三百斤迄	金拾錢
同	同	同	二百斤迄	金拾五錢

Table of commodity prices including items like 東京線綿 (Tokyo Cotton), 實種棉 (Cotton), and 綿織及毛織物 (Woolen goods). Columns include item name, unit, and price in Yen.

Table of commodity prices including items like 製網及丁綱 (Nets), 米周葉 (Rice), and 花織紙 (Paper). Columns include item name, unit, and price in Yen.

Table of commodity prices including items like 雜銅 (Copper), 洋鉛 (Lead), and 板鐵 (Iron). Columns include item name, unit, and price in Yen.

Table of commodity prices including items like 獸蹄 (Horn), 膠料 (Rubber), and 洋紙 (Paper). Columns include item name, unit, and price in Yen.

保管料規定

- 一 保管料は月の十五日前後を以て全月半月の區分をなす
二 證券の書換及び分割は手数料として一枚に付金貳拾錢を申受く
三 保管料一ヶ月金五拾錢に満たざる小口の貨物に對し本證券發行の請求あるときは手数料として金貳拾

錢を申受く

- 四 本表外の貨物は更に保管料割合を定め保管すべし
- 五 本表保管料には火災保険料を含有するを以て特別の約定あるもの、外總て保管貨物に對し特約火災保險會社の火災保險を附す
- 六 寄託主の希望に依り火災保險を付せざる場合は本表保管料の一割五分を引く
- 七 本表保管料率は明治三十八年三月一日より實施す

第二十八節 保險業

- 帝國海上運送火災保險株式會社神戸出張所
所在地 榮町二丁目三六
本社 東京日本橋區南茅場町 社長 武井 守正
資本金 參百萬圓 設立 明治二十六年十一月
出張所 三宅龜三郎
- 横濱火災運送保險株式會社神戸支店
所在地 榮町二丁目一〇 電話 四三〇
本社 横濱市太田町三丁目 監督 小林 務
資本金 五百萬圓 設立 明治三十年八月

支店長 丹野 茂樹

- 東京海上保險株式會社神戸支店
所在地 榮町二丁目 電話 五七
本社 東京麹町區八重洲町二丁目 社長 末延 道成
支店長 平生 夙三郎
- 日本海上運送火災保險株式會社神戸支店
所在地 榮町四丁目 電話特 六三四
兵庫出張所 鍛冶屋町 電話特 一五六
本社 大阪西區江戸堀南通三丁目 社長 右近權左衛門
資本金 參百萬圓 設立 明治二十九年三月
支店長 廣部 正三
- 日本酒造火災保險株式會社神戸出張所
所在地 榮町五丁目 電話 一三三六
本社 大阪東區今橋四丁目 社長 渡邊 徹
資本金 壹百萬圓 設立 明治二十九年十一月
出張所 林 利幸
- 京都生命保險株式會社神戸出張所

所在地 榮町五丁目

本社 京都上京區二條通東洞院東入

資本金 拾萬圓 設立 明治二十七年十一月

出張所 三浦 喜作
主任心得

日本火災保險株式會社神戸支店

所在地 元町四丁目九七

本社 大阪西區京町堀上通二丁目 社長 藤本 一二

資本金 壹百萬圓 設立 明治二十五年四月

支店長 香川 銳太郎

日本生命保險株式會社神戸出張所

所在地 元町四丁目九七

本社 大阪西區京町堀上通二丁目 社長 片岡 直温

資本金 參拾萬圓 設立 明治二十二年九月

出張所 有村 丈次郎
主任

日宗火災保險株式會社神戸支店

所在地 元町六丁目一〇八

本社 東京日本橋區通三丁目 社長 川合芳次郎

資本金 壹百萬圓 設立 明治三十五年七月

支店長 石川 武夫

日宗生命保險株式會社神戸支店

所在地 元町六丁目

本社 東京日本橋區通三丁目 社長 川合芳次郎

資本金 參拾萬圓 設立 明治二十八年十二月

支店長 石川 武夫

内國生命保險株式會社神戸出張所

所在地 元町六丁目

本社 東京日本橋區北島町三丁目 社長 大野 清敬

資本金 五拾萬圓 設立 明治二十六年六月

東京火災保險株式會社神戸支店

所在地 三宮町三丁目一八

本社 東京日本橋區西河岸 社長 武井 守正

資本金 五百萬圓 設立 明治二十年七月

支店長 成島 謙吉

大同生命保險株式會社神戸出張所

所在地 北長狹通四丁目四七

本社 大阪東區天川町四七
 資本金 參拾萬圓
 設立 明治二十八年
 出所 森田道太郎
 主任 森田道太郎

本社 大阪東區備後町四
 資本金 六拾萬圓
 設立 明治二十六年十月
 出所 矢野不二郎
 主任 心傳

大阪火災保險株式會社神戸出張所
 所在地 多聞通二丁目三六

電話 二六五

愛國生命保險株式會社神戸出張所
 所長 堀田 德茂
 兵庫月場町

自神戸貨物海上保險料一覽表

區名	地	名	全損若 不擔保 分付	通常分損 向解保險 (全損)	特擔分損 不擔保 向解保險	向分 解付損 全解	同解 付損分 兩解
一	岡山、玉島、笠岡、多度津、坂出、高松、小豆島、鞆、福山		七〇	八〇	六〇	一〇〇	一〇〇
二	尾道、竹原、吳、廣島、岩國、柳井、上ノ関、新居濱、四條、今治、波止濱、三ツ濱		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
三	徳山、三田尻、小野田、馬關、門司、中津、杵築、日出、別府、大分、佐賀關長濱		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
四	八幡濱、宇和島、白井、佐伯、延岡、鶴島		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
五	宮崎、油津、鹿兒島、種子島、屋久島		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
六	小倉、若松、博多、唐津、伊萬里、呼子		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
七	平戸、五島、佐世保、長崎、島原、口ノ津、諸葛、若津、三角、百貫石、熊本、八代、嵯峨		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
八	仙崎、秋、濱田、松江、境、米子、安來		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
九	阪崎、鳥取、宮津、舞鶴、小濱、敦賀、金石、三國		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
一〇			六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇

一一	(一)七尾、伏木、若潮、魚津、滑川、佐藤、舟川、加茂		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
一二	(二)直江津、柏崎、寺泊、新潟、酒田、本莊、土崎、秋田、能代		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
一三	東京、横濱、横須賀、下田、清水		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
一四	△郵船横濱ニテ東京揚		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
一五	中田、龜崎、新川、名古屋、四日市、桑名、津、鳥羽		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
一六	新宮、串本、田邊、鹽津、和歌山、播磨、徳島、富岡		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
一七	高知、須崎		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
一八	青森、函館、室蘭、福山、江差		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
一九	岩手、岩内、小樽、余市、古平、厚田、浪金、増毛		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
二〇	留萌、鬼鹿、昔前、天賣、焼尻、鷺沼、禮文、利尻、稚内、花咲、霧多布、濱中、厚岸、釧路、浦河、根室		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
二一	枝幸、紋別、網走、阿佐島		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
二二	樺太、千島列島		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
二三	大島、琉球		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
二四	八重山、宮城、澎湖島		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇
二五	朝鮮、對馬		六〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇

以上保險率は各保險會社皆同一なり
 神戸兵庫港内解保險料は五錢なり、右一方より一方に
 至る解は拾錢なり
 神戸兵庫と大阪間解保險料は上り改良船拾錢、並船參

拾五錢、下り改良船八錢並船參拾錢なり
 前表の内冬季に於て割増を要する場處は九、十、十一、
 十二、十七、十八の各區二割増、十九、廿區は四割、
 二十一區は七割の割合を以て本船及向解共増金を要す

るものとす

前掲保険料は普通貨物に適用したるものにて危険物其他特殊の貨物は之に準ずるを得ず

第二十九節 船渠造船所及船大工

○川崎造船所船渠 長四百二十八呎幅七十四呎六吋深二十六呎にして本邦中各鎮守府船渠を除きては長崎三菱造船所船渠に次ぎ横濱船渠及浦賀の二船渠と拮抗し函館、因之島兩船渠を凌ぐ、排水は一時間優に五千噸を排除する「セントリフイーガルポンプ」を用ひ最大満潮時に於て四時間、普通満潮時に於ては三時間二十分を以て排水す、此船渠の外にスリッパ即俗に算盤船渠と稱する長三百尺幅二十尺重量二千噸の船を上架し得べき水壓曳上船臺あり

○和田岬三菱船渠 目下工事中

○川崎造船所 明治十九年四月二十八日川崎正藏氏農商務省所轄兵庫造船所を拂下げて川崎造船所と稱す爾來年々隆盛に向ひ現今にては長崎三菱造船所と相並んで本邦中官設のものを除き最大造船所と稱せらる、位置は東川崎町二丁目にありて構内坪數四萬四千三百五

十七坪諸工場其他の建物坪數一萬三千六百三十坪重なる諸機械は

最大旋盤(二臺積き) 五十呎 起重機 六十噸

電氣起重機 二十噸 原動力 電力四百馬力二臺

此外種々

平時の職工は二千餘名、三十七年中の材料買入高貳百貳萬五千圓、石炭の使用量二千九百二十二萬一千斤なり以て其概況を推知すべし

○三菱和田造船所 前記載の船渠と共に未だ工事中に屬するも三十八年一月末迄の功程は

防波堤延長 百八十間餘

埋立護岸石垣延長 三百十五間

埋立地面坪 三千五百坪餘

船溜用防波堤内 一萬一千五百坪餘

其他諸工事施工中

而して工場豫定敷地坪數は約十萬餘坪の見込なりと云へば如何に其規模廣大なるかを知らるべし

前記造船所の外に小形蒸汽船及西洋形帆前船を製造するところは左の如し

東出町三丁目	佐野彌吉	今出在家町二丁目	岩間石松
西出町	木多半兵衛	船大工町七九一	山本福三郎
東出町三丁目	伊勢七	同 二二九	釜谷由藏
東出町	橋本	同 八八	海部茂一郎
西出町	住本	同 一七	釜谷伊太郎
同	灰谷藤五郎	同 九〇	谷本藤吉
同	鹽谷	新町一	永木政吉
東出町	大谷千代松	新在家町四二	小倉喜一郎
以下に掲ぐるものは帆前船、合の子船、小廻船其他小形船を製造する所謂船大工の棟梁株なり	西出町三一九	同 一五六	松田岩太郎
兵庫運河一五〇	竹内久吉	湊町一丁目	森光太郎
東尻池村	上阪香吉	東川崎町二丁目	佐藤熊吉
同 二五三	松野宇太郎	同	三軒直次郎
同 一三〇	天野甚三郎	御幸通	脇野梅吉
出在家町四〇	明石松藏	船之濱二四〇	濱西金藏
同 一四九	夢野新助	榮町六丁目	木原市太郎
同 一五七	和布萬次郎	同 六丁目	洞市徳吉
御崎村一六九	藤見新三郎	井合南本町	石原勝造
今出在家町二丁目	熊野虎吉	同	工喜勝七
			稻田新七

海岡 雄吉	同	六丁目三〇
倉本 仁作	同	六丁目五六
平川 藤太郎	同	三宮町一丁目二七一
富山 藤太郎	同	三宮町一丁目二六五
川崎 秀吉	同	二丁目一七五
村田 相太郎	同	二丁目九
横道 常太郎	同	北長狹通二丁目二一
中田 與一郎	同	二丁目一四四
西本 關次郎	同	中山手通四丁目一五
杉下 菊太郎	同	北長狹通六丁目一二
酒井 榮吉	同	六丁目一六九
秋吉建築事務所	同	下山手通七丁目三五九
河合浩藏建築事務所	同	八丁目一七八
杉本 善兵衛	同	八丁目二七五
吉本 甚八郎	同	八丁目二七六
森本 勘左衛門	同	中山手通二丁目二四一
木村 金藏	同	二丁目一三〇
		三丁目五五

谷口 春吉		
九岡 與吉		
長尾 金藏		
水谷 助三郎		
草場 喜一郎		
高津 柳太郎		
長尾 秀吉		
西村 丈八郎		
竹中 藤五郎		
古川 龜吉		
小林 徳太郎		
田林 幸太郎		
吉本 甚三郎		
樽井 奈良造		
金田 兼吉		
山野 五郎兵衛		
青笹 藤太郎		
西澤 榮次郎		
中濱 喜和三郎		

第三十節

建築請負業者

中山手通三丁目五五	同	七丁目三一
山本通三丁目七	同	北野町三丁目三
榑町三丁目一三〇	同	荒田町二丁目一七〇
三丁目二一	同	三丁目六一
上橋通四丁目一六七	同	東川崎町五丁目一〇
相生町三丁目七八	同	多聞通三丁目二二〇
四丁目七三	同	四丁目八七
四丁目八七	同	六丁目五七
六丁目一〇一	同	六丁目七
六丁目七	同	仲町六丁目一九
六丁目	同	

田中 仙吉	同	淺町一丁目五〇二
加藤 萬之助	同	一丁目四〇三
山内 清助	同	三丁目一九
島津 藤輔	同	佐比江町一八八
角戸 政一	同	小物屋町三七
福垣 重太郎	同	切戸町二二
岩越 善次郎	同	一三七
美餘 芳太郎	同	宮内町一三一
前原 又吉	同	東柳原町二四八
奥山 常吉	同	二三九
木引 清吉	同	南逆瀬川町二丁目八
嘉戸 實次郎	同	門口町一六八
大堀 正太郎	同	一三八
若狹 春吉	同	北逆瀬川町一五一
石橋 彌市	同	四柳原町三五二
北村 巳之助	同	三川口町二丁目六二
尾上 淀次郎	同	三丁目七一
橋本 兵藏	同	永澤町三丁目
車定 利藏	同	永澤町四丁目一四三

石原 駒之助		
中谷 新助		
牧野 常七		
吉田 梅吉		
荒牧 重吉		
田村 市介		
山下 秀次郎		
豊田 定一		
岸本 豊吉		
幅本 安吉		
橋本 彌三郎		
松本 清造		
新原 清藏		
宮内 淺太郎		
春田 良助		
竹平 政吉		
高尾 源太郎		
熊野 卯藏		
富士原 重太郎		

鹿原町五五
四出町四一
關原町二〇
水木通二丁目二四
同 五丁目九
藤本通一丁目一
同 六丁目二七
羽坂通三丁目一八二
同 四丁目二
中道通二丁目九
濱崎通二丁目一
同 四丁目一九
下澤通三丁目三四
古渡通一丁目六六
同 一丁目八五
荏合町二〇八七
吾妻通三丁目一六
加納町三丁目一九
二宮町四丁目一

直木 熊吉
山本 芳太郎
黒川 元三郎
和田 良吉
藤本 金藏
木田 吉助
高木 用次郎
齋藤 徳次郎
橋本 龜吉
藤本 友藏
太田 庄三郎
池上 藤次郎
高橋 友壽
井川 貞吉
岩田 休次郎
中西 善次郎
高尾 要助
谷山 友太郎
石上 音吉

八盛通一丁目三〇
盤井通三丁目一五
奥平野二二
東尻池三五
以上は現に市内に於ける棟梁にして常に自ら職人を使
用し何時にても家屋其他建築物の請負に應じ得べきも
のなり、而して斯く一様に列記する中にも自然其實力
程度と常備職人数等の多寡に依り一三三の三等に區別
するを得、併し都合上今は同列に掲げ置きつ

第三十一節 鐵工業

東川崎町三丁目八六
永澤町一丁目一九
小河通五丁目二
荏合橋ノ渡一六二
吾妻通三丁目一六
榮町通六丁目三七
三宮町三丁目三三
加納町四丁目一三二

三木 治太郎
丹治 長右衛門
兵庫製鐵合資會社
松本 福太郎
高尾 要介
三宅 菊次郎
上松 泰造
肌勢 萬吉

北長狭通八丁目三二
東川崎町三丁目〇五
東出町二丁目二三
御幸通五丁目〇〇
羽坂通二丁目
荏合町一六二
吾妻通三丁目一六
四出町二丁目
東出町一丁目二九八
須佐野通五丁目二
東出町一丁目二二七
北野町二丁目一四一
東川崎町五丁目一
多開通三丁目一七八
磯上通七丁目九
相生町二丁目二〇二
東川崎町二丁目

黒田鐵工所
小寺 兔次郎
伊勢市 五郎
坂本 喜之助
田中 伊藏
同 分 工場
小野 濱鐵工
高尾 要助
兵庫鐵工所
宮永 芳藏
宮本 幸輔
杉本 幸之助
森田 寅之助
範多 龍太郎
富田 兼次郎
藤木 新之助
近藤 新吉
檜山 良助
川崎 造船所

第三十二節 シップ、ブローカー

榮町三丁目 電話特三〇二 佐藤商店 佐藤 勇太郎
播磨町二十番 電話 三五〇
同 五十四番 電話 特三六六 二一四 サミュエル商會
神戸市内に於て船舶買賣の周旋をなすものは船會社又
は其道に關係を有するもの等極めて多きも尤も信用あ
りて手廣に營業せるは先づ前記三商社を推さざる可ら
ず、而して此商社々員にして時に會社と關係なく個人
として營業する場合も尠からず、外に小形船を多く取
扱へる専門の左の商店あり

酒井 商店

第三十三節 海陸運送業者

海岸通	二丁目一	稅關貨物取扱人船主同盟會會員	電話 三九一	東源號	李光泰
同	一丁目一	稅關貨物取扱人汽船貨物取扱業	電話 五五三	兵庫運輸株式會社	神戶出張所
同	二丁目一四	汽船及郵船貨物取扱業	電話 一四一	勝田銀次郎	戶田宗吉
同	二丁目九七	船主同盟會會員汽船取扱	電話 九四一	開通合名會社支店	勝田銀次郎
同	二丁目一	稅關貨物取扱人	電話 九四一	大吉合資會社	開通合名會社支店
同	二丁目四	稅關貨物取扱人汽船取扱	電話 三九五	北谷石松	大吉合資會社
同	二丁目二	兼米穀業	電話 二七六	川口屋	北谷石松
同	二丁目三	船主同盟會會員	電話 二七六	蓬萊會	日清貿易商會
同	三丁目中稅關構內	郵船專屬兼旅館	電話 一三三	蓬萊會	安藤善作
同	三丁目一	郵船寄取取扱士佐汽船及三邦、多關取扱	電話 五九一	谷道回清店	神戶送迎株式會社
同	三丁目九	船主同盟會會員汽船取扱	電話 五四五	谷道回清店	谷道清之助
同	三丁目六	郵船專屬兼旅館	電話 一三三	後藤勝造	後藤勝造
同	三丁目五	稅關貨物取扱人郵船專屬兼旅館	電話 一三〇	足立輸出入會社	足立輸出入會社
同	三丁目八	稅關貨物取扱人	電話 一五二四	三上合資會社	三上合資會社
同	三丁目一九	船主同盟會會員汽船取扱	電話 一三九五	篠原竹三郎	篠原竹三郎
同	四丁目二	郵船專屬兼旅館	電話 一三〇六	常盤舍	中川榮次郎
同	四丁目三	兼旅館	電話 一三〇六	安場屋	小島竹之助

同	四丁目	中國汽船取扱	電話 五八七	嶋屋	增倉繁太郎
同	四丁目三	郵船商船取扱	電話 一五〇一	嶋屋	大崎德之助
同	四丁目七	兼旅館	電話 九〇四	森春秀	出口岩太郎
同	四丁目五一	兼旅館郵船商船取扱	電話 二九五	萬年屋	島中良助
同	四丁目一九	兼旅館郵船商船貨物取扱	電話 一〇六三	萬年屋	森春秀
同	五丁目一	商船臺灣取扱	電話 六四八	萬年屋	商船臺灣組神戶支店
同	五丁目三六	郵船取扱	電話 七二四	萬年屋	長澤敷三
同	六丁目一七	兼茶業汽船積荷取扱	電話 一〇一七	萬年屋	鷺尾磯七
同	六丁目四	兼旅館郵船商船取扱	電話 一〇一七	萬年屋	小寺浪次郎
同	六丁目一〇	兼青物商	電話 一〇一七	萬年屋	植田德松
同	榮町通一丁目五四	稅關貨物取扱人	電話 一〇一七	萬年屋	姜東陽
同	二丁目四四	稅關貨物取扱人汽船取扱、郵船專屬	電話 一〇一七	萬年屋	井口金太郎
同	二丁目三七	汽船取扱	電話 二四四	萬年屋	山中傳四郎出張店
同	二丁目六六	內外汽船取扱	電話 二二五	萬年屋	後藤哲次郎
同	二丁目二二	汽船取扱	電話 一七五	萬年屋	是則清治
同	二丁目二〇	商船專屬取扱	電話 一七五	萬年屋	日韓商船組
同	二丁目一〇五	汽船取扱	電話 一七五	萬年屋	阪倉與一郎
同	二丁目	三ヶ輪汽船取扱	電話 一七五	萬年屋	榮運送店

第三章

第三十三節 海陸運送業者

同	兼旅館外航荷客取扱	電話 三四一	山崎初太郎
同	船主同盟會連合員棉花取扱	電話 三〇九	共立組
同	兼 石 炭 商	電話 五六二	井上寬之助
同	税關貨物取扱人兼旅館郵船專屬	電話 二二三	西村貫一
同	船主同盟會連合員龍紋汽船取扱	電話 一〇〇五	大原幾造
同	兼旅館郵船專屬人	電話 一五一九	田中儀助
同	郵船其他荷扱	電話 一〇〇六	角藤鐵吉
同	郵船 荷 扱	電話 八八九	宇都宮回漕店神戶支店
同	船主同盟會連合員汽車汽船荷物取扱	電話 八八九	山口運送本店
同	郵船兼荷物取扱其他	電話 八九二	益田才次郎
同	外航 荷物取扱	電話 二九七	港榮商會
同	外航船客取扱其他	電話 一四二六	齋藤英四郎
同	三邦丸、多聞丸取扱其他	電話 五六	水谷徳次郎
同	税關貨物取扱人郵船專屬荷扱	電話 六九一	細谷鹿藏
同	内外汽船荷扱	電話 四〇七	平秀松
同	兼旅館中國汽船其他荷扱	電話 三三六	大森榮介
同			中島萬喜藏
同			山中回漕店神戶支店
同			松岡松之助

第三章

第三十三節 海陸運送業者

同	兼旅館汽船荷扱	電話 一、三〇五	前田喜兵衛
同	郵船其他荷扱	電話 一、三四	柳谷金次郎
同	商船内外航荷物扱	電話 一、〇〇六	島善吉
同	兼旅館外航客扱	電話 八六二	松井善次郎
同	兼旅館汽船荷扱	電話 五七〇	井上方勝
同			河野保喜
同			桑島回漕店
同			柏木慶藏
同	船主同盟會連合員三邦丸、多聞丸取扱其他	電話 六〇八	平井彌一郎
同	内外汽船貨物取扱	電話 一、二七四	乃美平太郎
同	汽車積荷物取扱		岡本勝太郎
同			高田卯之助
同			森田半次郎
同			山本文七郎
同			朝尾彦實
同			衣笠信助
同			角山米之助
同			山口武
同			中岡卯三郎

第三章 第三十三節 海陸運送業者

三宮町二丁目二八	同	電話 五五	內國運取引店	小畑 倉
同 二丁目五七	汽車積貨物取扱	電話 四四六	鈴木 助次郎	
下山手通六丁目二五五	陸送業		田村 保吉	
中山手通三丁目一七	同		山田 甚一	
辨天町一			中野 茂一	
磯邊通三丁目六一			山下 文藏	
御幸通四丁目七二	兼安賀母尼製造	電話 九三七	田中 寅市	
小野柄通五丁目二			有 本	
楠町三丁目三九			鈴江 光三郎	
東川崎町二丁目一六	陸送業		庄中 松太郎	
同 一丁目六九	兼旅館	電話 一五五	今泉 夕二	
同 二丁目二		電話 一四九	內國運會社神戸支店	
同 一丁目郵船會社內郵船專屬			高見回漕部出張所	
相生町二丁目四一	汽車積貨物取扱	電話 七四六	辰馬回漕部出張所	
同 二丁目九六		電話 八三四	若林 島次郎	
同 二丁目八六		電話 一三三三	高橋 靜藏	
同 二丁目一一		電話 七三六	牧 鹿太郎	
同 二丁目五〇			櫻井 佐太郎	
			三好 順三	

同 二丁目一〇六	同		須賀運送店	柏木 豐吉
同 二丁目	同		伊藤聯合店	岡林 熊吉
同 三丁目	同		神戶三笠運送店	上 田 孟
同 三丁目二八	同	電話 一、八九九	熊谷 伊太郎	
同 三丁目二九	汽車汽船取扱	電話 一、二二一	三笠 治助	
同 三丁目三二	汽車積貨物取扱	電話 六三一	山中 藤兵衛	
同 三丁目六六	同	電話 一五六	菅原 運送店	
同 四丁目三五七	同	電話 二九一	前田 鶴吉	
多聞通四丁目三六	同		荒瀬 源次郎	
同 五丁目七五	同		小栗 松三郎	
川崎町七	同	電話 三三二	久住 九兵衛	
同 四二	尾城汽船元扱其他、船主同盟會準會員		田中 利右衛門	
同 一〇	郵船專屬	電話 三三六	坂口 源太郎	
島上町三四	汽船取扱		西岡 安太郎	
同 六七	曳船荷物取扱		田中 利右衛門	
同 外六	同	電話 一、四〇五	兵庫回盛合名會社	
同 一〇八	尼崎汽船元扱	電話 四三三	鈴木 良助支店	
同 七六	岸本汽船元扱	電話 五九八		

第三章

第三十三節 海陸運送業者

第三章

第三十五節

解船所有者及其艘數

磯上通六丁目	一	大原初太郎	磯上通三丁目	二	脇本松太郎
元町通三丁目	一	岡脇三郎	同 三丁目	一	波邊壽一郎
荏合町一七八	一	大本吉五郎	加納町六丁目	三三	神戸棧橋會社
磯上通五丁目	一	大段彌五郎	海岸通四丁目	六	神戸送迎會社
元町通三丁目	一三	大橋菊次郎	元町通三丁目	一	川本トヨ
同 五丁目	六	開成組	同 二丁目	一	龜頭直太郎
同 六丁目	二	開成組	同 二丁目	一	龜頭和吉
同 二丁目	一	一心組	同 三丁目	五	加藤卯八
八幡通五丁目	一	神港組	相生町一丁目	一	角田辰藏
御幸通六丁目	三	神港組	海岸通四丁目	三	神戶解船合資會社
荏合町一八一、三	一	神港組	下山手通四丁目	三	貝野五左衛門
同北本町二丁目	一	神港組	加納町五丁目	一	片東常次郎
小野柄通三丁目	一	神港組	下山手通四丁目	三	貝野増太郎
磯上通五丁目	二	神港組	北長狭通六丁目	一	川本福松
再度筋三九	一	神港組	榮町通四丁目	二	神田一雄
御幸通五丁目	一	神港組	元町通三丁目	二	梶川新吉
八幡通五丁目	一	神港組	花隈町五	二	吉田幸次郎
磯上通五丁目	一	神港組	八幡通五丁目	二	吉田長太郎
元町通一丁目	一	神港組	荏合町二七九	一	吉原常次

第三章

第三十五節

解船所有者及其艘數

磯上通七丁目	四	田椽太郎	御幸通八丁目	一	神港組	竹田龜吉
海岸通四丁目	一	高濱嘉七	磯上通三丁目	一	神港組	平トキ
下山手通二丁目	一	高森柳太	八幡通五丁目	二	神港組	田口助八
三宮町三丁目	一	爲廣兵吉	三宮町一丁目	一	神港組	竹中シカ
香妻通一丁目	一	段上文平	靈井通七丁目	二	神港組	釣島儀平
元町通四丁目	一	竹中新兵衛	北長狭通五丁目	一	神港組	中原伊兵衛
同 六丁目	一	竹中ヤヱ	磯上通七丁目	一	神港組	中本榮太郎
八幡通五丁目	一	竹原萬松	元町通一丁目	一	神港組	中本榮太郎
榮町通六丁目	五	武田甚太郎	同 三丁目	一五	神港組	中村勝治
東川崎町一丁目	七	高橋善作	同 三丁目	一九	神港組	中村徳藏
元町通二丁目	一	神戶組	相生町一丁目	三	神港組	中サダ
琴緒町五丁目	一	神戶組	元町通六丁目	一	神港組	仲野嘉藏
御幸通八丁目	一	神戶組	御幸通八丁目	一	神港組	中道爲治
加納町四丁目	一	高橋九太郎	榮町通六丁目	一	神港組	六本コウ
花隈町二四二	一	玉澤まつ	北長狭通六丁目	一	神港組	村上槌藏
元町通四丁目	三	田中ハマ	海岸通四丁目	二	神港組	向井常太郎
同 六丁目	二	一心組	東川崎町一丁目	二	神港組	向井峯三郎
同 二丁目	一	一心組	元町通一丁目	五	神港組	中村組
御幸通六丁目	三	神港組	榮町通五丁目	一	神港組	向井市三郎

海岸通四丁目	一	神戶組	占部水太郎	中山手通四丁目	九	山口嘉吉
磯上通六丁目	二	神港組	打越佐助	同 四丁目	四	山口辰之助
元町通二丁目	二	神港組	上野吉松	辨天町一〇一	一	山崎仲藏
海岸通二丁目	七		栗棟仁三郎	磯邊通三丁目	一	山本實五郎
同 一丁目	三		栗棟ヤヘ	八幡通五丁目	一	山本石松
同 一丁目	三		倉橋芳造	同 四丁目	一	山口茂吉
下山手通五丁目	一		熊谷伊太郎	磯上通八丁目	一	山下庄松
小野柄通五丁目	二		栗山善四郎	八幡通五丁目	一	山下谷松
花隈町一四七	一	神戶組	熊野品吉	元町通六丁目	一	神戶組
同 一一〇	一	神戶組	楠國吉	北長狹通二丁目	一	郵船組
中山手通四丁目	一九		クリステンセン	榮町通二丁目	二	山口莊吉
加納町五丁目	一	神戶組	楠久我太郎	磯上通六丁目	一	一心組
元町通三丁目	一	神戶組	桑原熊吉	同 八丁目	一	神港組
學緒町五丁目	一	神戶組	久保田八市	下山手通五丁目	二	山野井德之丞
元町通三丁目	四	郵船組	楠木芳藏	三宮町二丁目	五	山田勝次郎
海岸通四丁目	一	開成組	栗田嘉吉	榮町通三丁目	二	松本嘉七
元町通三丁目	七		屋敷元次郎	花隈町一六四	一	松村安暉
同 三丁目	七		屋敷作次郎	海岸通四丁目	一	増倉德松
磯上通六丁目	二		山本種吉	下山手通八丁目	一	増倉繁太郎

下山手通三丁目	一	神戶組	松下幸次郎	御幸通六丁目	一	神戶組	江口出來次
海岸通二丁目	四	神戶港	松藏喜代藏	八幡通五丁目	一	神港組	寺口富藏
御幸通五丁目	一	神港組	丸岡龜次郎	海岸通四丁目	五		尼崎伊三郎
磯上通六丁目	一		丸山吉五郎	小野柄通五丁目	三		有本明
辨天町七九	七	辨天組	今朝丸保吉	東川崎町七丁目	一	辨天組	阿部幸吉
元町通六丁目	一		藤井傳四郎	辨天町九九	八		阿部嘉平
八幡通四丁目	一	神戶組	藤本重三郎	小野柄通五丁目	一	神戶組	天島佐吉
元町通四丁目	一	神戶組	藤井龜太郎	加納町五丁目	二	一心組	新井初五郎
同 三丁目	二	中村組	福井次郎	八幡通三丁目	三		佐々木貞之助
同 六丁目	一	一心組	古中佐五郎	東川崎町一丁目	二		酒井トミ
同 二丁目	一	神港組	藤山久松	元町通三丁目	二	神戶組	酒井久之助
榮町通二丁目	二		後藤常次郎	八幡通四丁目	一	郵船組	佐藤永五郎
加納町五丁目	一		小畑安太郎	榮町通五丁目	二	郵船組	阪田彌右衛門
花隈町四六	四		小西重吉	元町通四丁目	二	郵船組	里佐五郎
同 六一	五		小林勝	北長狹通二丁目	三	大本組	坂本ハツヨ
磯上通三丁目	一	神戶組	江田島伊佐治	御幸通八丁目	一	一心組	坂井福太郎
元町通五丁目	三	郵船組	小林ステ	下山手通四丁目	一	石崎組	坂倉與市郎
同 一丁目	二	一心組	小西重太郎	八幡通四丁目	一	神港組	迫平太郎
同 二丁目	一		江口寅吉	元町通二	二	神港組	迫平岡平

第三章

第三十五節

解船所有者及其艘數

小野柄通八丁目	一	神港組	砂古清五郎	小野柄通五丁目	一	石崎組	清水金太郎
海岸通三丁目	一	二七神戶組合加入分	共同曳船株式會社	元町通六丁目	一	辨天組	新谷紋藏
同 五丁目	一		北岡貞造	同 三丁目	二	神戶組	柴田逸造
花隈町一六八	一		木野直太郎	榮町通六丁目	一	神戶組	新宮若次郎
荏合町六四八	一		木村勘五郎	北長狹通四丁目	一	神戶組	新宮キヨ
北長狹通一丁目	二		木下芳太郎	元町通三丁目	六	郵船組	柴田熊吉
多開通一丁目	二		郵船組 木谷與吉	同 三丁目	六	郵船組	柴崎卯平
南本町六丁目	一		神戶組 木村モヨ	北長狹通四丁目	一	郵船組	新谷慶之助
八幡通四丁目	一		神港組 木元松吉	元町通三丁目	二	郵船組	鹽谷榮太郎
元町通三丁目	一		中村組 行永禮次	四出町二五二	二	開誠組	白石初三郎
同 二丁目	一		宮城丑松	元町通五丁目	二	開誠組	柴田杉三
同 二丁目	四		光本熊次	同 三丁目	二	開誠組	島本幾次
同 一丁目	一		南本アサノ	磯上通七丁目	二	神港組	新谷初太郎
八幡通四丁目	一		神戶組 美濃部シラ	磯邊通三丁目	一	神港組	白石新太郎
榮町通四丁目	一		郵船組 水谷徳次郎	榮町通六丁目	四		平井彌之助
元町通六丁目	一		開誠組 道岡清松	花隈町四一	一		飛戸紋藏
八幡通四丁目	二		新宮權助	同	五		平田宇太吉
榮町通六丁目	六		新谷榮吉	元町通一丁目	二		平本仁太郎
宮内町三丁目	二		至田萬次郎	加納町五丁目	一		神戶組 平野フミ

二〇〇

御幸通七丁目

加納町五丁目

元町通二丁目

同 三丁目

同 三丁目

榮町通四丁目

辨天町一〇一

御幸通六丁目

明石町一八B

辨天町九八

榮町通三丁目

八幡通五丁目

御幸通六丁目

同 七丁目

元町通二丁目

同 三丁目

榮町通四丁目

元町通三丁目

海岸通二丁目

第三章

第三十五節

解船所有者及其艘數

御幸通七丁目	一	神戶組	平本光次	計 所有者 二七二人	解船數 八四九艘	氏名
加納町五丁目	一	神戶組	平藤圓平	兵庫之部		筏清三郎
元町通二丁目	一	航運組	平本辰二			入江午吉
同 三丁目	二	一心組	榎本今助			石田清吉
同 三丁目	一	一心組	榎本春秀			池上柳平
榮町通四丁目	二	神港組	森川繁次郎			池田重郎
辨天町一〇一	一		セーライオンス			石崎角太郎
御幸通六丁目	一		同 二〇二			一柳丑松
明石町一八B	二		北宮内町三五			市川高藏
辨天町九八	二		同 二〇二			伊東徳太郎
榮町通三丁目	一五	合資會社末廣組	船大工町九〇			石田熊太郎
八幡通五丁目	一	神戶組	住岡谷平			池上タミ
御幸通六丁目	二	神戶組	住岡十太郎			石原喜代三
同 七丁目	三	神戶組	住岡道助			石本爲三
元町通二丁目	一	開誠組	末政周平			石川茂兵衛
同 三丁目	二	一心組	住田宇平			橋本龜一
榮町通四丁目	一	一心組	住本岩次郎			畑田のゑ
元町通三丁目	三	神港組	住岡傳作			
海岸通二丁目	七	神港組	住岡傳作			

一〇一

東出町二丁目	二	濱港政二郎	船大工町四七	九
新町二六	二	濱口龜三	同 一三	二
魚棚町三八	一	濱田壽三郎	西仲町五九	三
小川通二丁目	三	林文吉	川崎町五一	一
磯ノ町二九	一	播田テウ	新町二三	一
新在家町一八六	二	灰谷太藏	南邊瀬川町一丁目	一
新町二六	二	濱口喜三八	新町三〇	一
切戸町三七	一	濱田 糸	船大工町一三一	一
新在家町二二	一	濱野善吉	同 七九	三
出在家町一三三	一	西田茂平	西出町七〇八	一
新在家町二〇八	二	西海タケ	富屋町一七	二
島上町六七	三	西岡安太	西出町八	一
今出在家町三丁目	二	日本精米株式會社	新在家町四二	二
島上町二九	三	西山熊藏	東出町二八三	三
西出町三〇二	二	西林安五郎	切戸町五三八	一
同 一〇二	一	西林由太郎	川崎町五七	二
船大工町八〇	一	寶積キヌ	佐比江町六	一
新在家町二八	一	堀部五郎吉	新町八〇	一
東尻池村二二五	一	堀部淺吉	長山村一〇	一

別所寅二郎	二
別所ヨシエ	二
渡磨伊介	三
富田豊吉	一
東條喜一郎	一
富田力太郎	一
布谷豐太郎	一
布野仙太郎	一
布谷キヌ	一
大久米ヤス	一
岡本善之助	一
岡野保太郎	一
小倉富三郎	一
岡本惣三郎	一
岡本政太郎	一
奥村重太郎	一
尾崎チエ	一
岡田スエ	一
大館寛太	一

新町二九	一	大江勝太郎	出在家町二二九	一
東出町三丁目	四	渡邊安松	船大工町六三	二
北宮内町五八	二	若木捨吉	同 二七	二
東出町一丁目	三	渡邊寅造	東出町三丁目	二
船大工町二二五	一	金谷芳太郎	船大工町二二三	一
西出町四六六	六	神田新右衛門	出在家町一六〇	一
佐比江町二三三	一	龜井ヨシエ	小物屋町一五	二
川崎町一五九	一	柏尾長次	南邊瀬川町一丁目	三
佐比江町二三九	二	川西龜吉	船大工町一〇五	三
切戸町五七七	二	柏木幸太郎	島上町九二	四
船大工町八八	六	海部茂一郎	佐比江町一〇四	一
島上町七〇	三	雁木芳太郎	船大工町八三	一
東出町三丁目	一	柏木喜作	江川町一九	一
船大工町七	四	釜谷カ子	西出町一三一	一
東出町二丁目	四	川西信太郎	同 一五四	一
切戸町五三〇	二	鎌苅伊三郎	同 一六九	一
魚棚町四三	二	雁木秀吉	島上町一〇三	二
船大工町一一二	三	河内芳太郎	魚棚町二六	一
同 一〇三	一	神原増吉	宮内町六一	七

川野庄吉	一
河内ハル	一
河本卯太郎	一
金林要之助	一
釜谷由藏	一
川端鶴松	一
鍛冶仁吉	一
横田成憲	一
吉尾利八	一
吉田安次郎	一
米澤慶五郎	一
吉見ムネ	一
田中徳太郎	一
竹中芳太郎	一
多々羅新三郎	一
竹中 新藏	一
伊達 三郎	一
田中房太郎	一
丹波文藏	一

宮内町六二	一	丹波	タカ	門口町一七	二	中川	伊之助
神明町三七	二	高見	ナツ	東出町三丁目	一	名田	富吉
南仲町三三	一	武貞	龜造	江川町九二	一	中島	又市
西出町一六六	一	竹中	藤吉	東出町二丁目	一	中尾	大三郎
上澤通一丁目	二	竹田	仙吉	西出町九	二	村上	良助
西出町四	一	樽本	ウメ	新在家町一六四	一	村塚	幸三郎
川崎町一〇	一	田中	利右衛門	船大工町六八	一	龜谷	龜太郎
今出在家町一丁目	一	高砂	九藏	切月町四九一	二	馬田	善太郎
同 二丁目	一	高砂	善藏	宮内町三九	二	魚谷	駒吉
新在家町二〇九	一	會川	德太郎	島上町一〇三	二	上地	喜藏
西出町一〇五	一	空谷	久松	川崎町三六	六	上田	清助
魚堀町一九	五	佃	仁兵衛	東出町三丁目	二	魚杉	要之介
東出町三丁目	一	津寺	梅吉	宮内町三九	一	上田	萬次郎
三川口町一丁目	一	辻野	重吉	船大工町四九	一	魚住	キク
西出町七五	一	永野	虎十	川崎町一四九	一四	上田	龜吉
匠町三〇	一	繩船	伊三郎	同 一六五	七	魚杉	フサ
船大工町二四	一	長濱	トミ	東出町三丁目	一	魚住	ヨシノ
西出町七八	三	中村	種松	切月町三四	一	魚住	ヨシノ
松原通二丁目	三	中田	音吉	川崎町二二三	二	黒田	茂藏

關屋町六四	一	葛部	長四郎	東出町三丁目	二	松下	新太郎
船大工町二二六	九	倉治	榮吉	川崎町二四	一	松本	音吉
同 五〇	一	久住	伊代吉	南遊瀬川町三丁目	一	松本	市藏
新在家町二〇九	一〇	熊谷	彌三郎	東出町三丁目	八	九尾	常吉
東尻池村二三三	一	根來	元楠	出在家町一三	三	前田	熊太郎
船大工町一一二	一	山田	小次郎	西出町五一	一	松本	秀松
島上町一〇二	七	山本	熊藏	島上町五九	一	前川	半吉
船大工町六一	一	山本	タツ	南仲町六三	一	松浦	熊吉
西宮内町七九	一	山田	ツル	小物屋町六	九	藤本	幾次
島上町一〇五	二	山口	梅吉	川崎町一八一	一	藤田	清兵衛
南遊瀬川町二丁目	二	山下	熊藏	島上町二九	一	藤本	爲次郎
船大工町四三	一	前田	治兵衛	切月町二八〇	一	藤島	嘉助
松屋町一四	一	前田	徳松	出在家町一三四	一	福岡	勇吉
磯ノ町三〇	二	増田	徳松	切月町五四六	三	藤谷	幾松
出在家町外二二	二	前田	徳右衛門	東出町二丁目	二	福井	富之進
船大工町二九〇	七	松田	八右衛門	東出町二丁目	一	孝橋	彌左衛門
出在家町一二九	一	前田	友平	匠町五五	一	小來	田門吉
船大工町六三	一	松野	松太郎	鍛冶屋町一五	四	小來	田サト
川崎町四四	三	松本	宇治吉	同 一五	三	小來	田サト

宮前町一九	二	小泉文助	新町一五	青木歌松
川崎町九八	二	出見芳松	船大工町一四	粟路ミツ
四出町六四五	一	出島乙吉	磯之町二九	秋政勇助
船大工町三〇	一	寺井字吉		淺野嘉兵衛
新在家町二三九	二	淺野兼吉	切戸町五六五	酒井菊次郎
島上町一三	四	明石徳藏	西出町四五三	酒井定七
東出町一丁目	一	網野キク	磯ノ町四三	澤野熊市
川崎町三七	三	網井鐵藏	關原町三二	齋藤熊市
同 二〇	二	有馬市太郎	切戸町四一五	酒井いよ
新町一〇四	一	有本甚藏	四出町二八	坂本巳之助
東出町二丁目	一	赤田庄助	南仲町七一	木元ツイ
川崎町一〇一	一	荒井安五郎	新在家町四〇	喜多市三郎
磯之町二九	七	明井トメ	南仲町七一	木元政一
西出町九六	一	荒井新五郎	西出町一四	北村光藏
切戸町五九六	一	東茂七	島上町六三	木元喜八
關原町一五	一	赤尾福松	北宮内町一五	喜多利平
川崎町六	一	網佐七	南仲町七一	木元金藏
島上町五五	一	相川しう	島上町六二	木元タカ
同 五五	一	相川榮吉	船大工町二四	木元平三郎

湊町一丁目	二	木戸惣三郎	今出在家町二丁目	子甫三太郎
島上町六二	二	木元慶吉	東出町三丁目	平田佐兵衛
船大工町二四	一	木元辰五郎	新在家町二〇二	日向楠太郎
同 二四	一	木元ちよ	湊町一丁目	日比野作三
新在家町五三	一	喜多クマ	船大工町一六	桃川静治
同 一一一	一	喜田ヤエ	切戸町三〇一	桃川孫平
南仲町二七	一	木田駒吉	船大工町一六	桃川竹松
東柳原町三	一	宮下治之介	出在家町七五	森辰藏
四宮内町二一六	二	宮田キヌ	同 七五	森八三郎
西出町八六	一	宮本源三郎	湊町一丁目	成本伊三松
船大工町二〇	一	三國由松	東出町三丁目	瀬戸利右衛門
長田村一〇	一	三宅タカ	川崎町一九四	善仲清吉
出在家町一四一	一	三浦竹松	鍛冶屋町三一	杉本トミ
南仲町八九	一	島龜太郎	須佐ノ通一丁目	角南熊吉
川崎町一六四	一	島谷力藏	島上町外八七	兵庫運輸會社
四出町一四六	二	柴とら	西出町一六	島田徳藏
南逆瀬川町	一	清水榮吉	計 所有者 二四一人	船船數 七三五艘
關原町一〇九	六	柴田梅吉	兵神通計 五三三人	一、五八四艘
船大工町八五	四	清水末松	以上は三十八年一月中の調査にして其正確なるを斷言	

し得べきものなり、而して前記載するところは單に其艘數を示したるのみなるも其積量に於て實際如何なる割合なるかは下記兵庫縣港務部調べの三十七年十二月末日現在表に依れば一目瞭然たるべし

神戸港二類船統計表

種別	艘數	倉庫船	渡船	平均一艘積石	總積石
五十石以上	三			三五〇	一〇五〇
百石以上	三			三五〇	一〇五〇
二百石以上	一			三五〇	三五〇
二百石未満	一			三五〇	三五〇
計	八			三五〇	三、五〇〇

尚第一類船即俗に通船規則長二間巾四尺と稱するものは、同月調べに神戸部二百八十一隻兵庫部七十隻合計三百五十一隻なり

第三十六節 各種仲仕と荷造業者

神戸部仲仕業者

組名	取扱品	常備人夫	所在地若くは組頭住所	組頭氏名
仲組	スレギ掛	元町五、六九	元町五、六九	大野茂吉
石炭		海岸四、五六	海岸四、五六	泉谷熊吉
富島組	商船々内	同 四、二七	同 四、二七	富島組
ニッケル組	外國船積揚	同 二、一〇	同 二、一〇	ニッケル商會
ヘンキ人夫	使用	東川崎三、三〇	東川崎三、三〇	梁 培 蘭
倉橋組	外國船積揚	同 五、四七	同 五、四七	淵 浪 磯 吉
關吉組	外國船積揚	生田町二、四〇	生田町二、四〇	青 木 慶 吉
磯橋組	外國船積揚	下山手五、二〇	下山手五、二〇	倉 橋 芳 造
				關 浦 清 次 郎
				吉 井 鐵 四 郎

第三章 第三十六節 各種仲仕と荷造業者

種別	艘數	倉庫船	渡船	平均一艘積石	總積石	組名	所在地若くは組頭住所	組頭氏名
ヘンキ人夫	元町一、二六三					區 亞 占	元町一、二六三	
スレギ掛	北長橋六、一五					多 田 リ ュ	北長橋六、一五	
郵便船	荒田町三、三三					神戶労働株式會社	荒田町三、三三	
スレギ掛	東川崎二、					二引合名會社	東川崎二、	
石炭	同 二、四四					一應喜代治	同 二、四四	
同	同 二、一〇一					吉 田 み や	同 二、一〇一	
同	同 三、二七					渡邊林太郎	同 三、二七	
ヘンキ人夫	東山町二、三六					森野藤次郎	東山町二、三六	
使用	琴緒町五、一四					矢野久太郎	琴緒町五、一四	
スレギ掛	東川崎二、三二					労働者救済會社	東川崎二、三二	
郵便船	神明町三七					高見善兵衛	神明町三七	
北長橋八、二四						菅 原 信 吉	北長橋八、二四	
ヘンキ人夫	東川崎六、二二					林 煙 記	東川崎六、二二	
使用	同 一、八〇					竹 内 留 吉	同 一、八〇	
	相生町四、三三					吉 田 ふ で	相生町四、三三	
	井合町三〇六					中 村 廣 彌	井合町三〇六	
	元町六、三三三					藤田牛之助	元町六、三三三	
						濱口權四郎		
						元 榮 組		
						大 西 組		
						網 笠 組		
						京 清 組		
						第二加納組		
						ニッケル組		
						郵船陸仲組		
						上組岡組		
						富島組		
						第二棧橋組		
						大西組		
						元榮組		
						網笠組		

上田組	二	辨天町二丁目	上田伊左衛門	信正組	一〇	三宮町二丁目	小林惣吉
競進組	二	磯邊通	平原虎吉	三輪組	一〇	脇之濱	三輪徳太郎
井上組	一五	榮町通二丁目	奥村近太郎	中川組	一〇	米利堅波止場	中川榮次郎
日出組	一六	小野柄通	井上富藏	菱組	一〇		
齋勒組	一三	加納町五丁目	泰新造				
新虎組	一五	北本町二丁目	池田勘助				
岡早組	一〇	北長狭通三丁目	平井彌一郎				
早駒組	一〇	北長狭通三丁目	内林新之介				
盛進組	一〇	辨天波止場	丸川直太郎				
陸海組	一〇	内海岸	岡戸一				
付屬組	一〇	灘	渡邊四郎吉				
丸福組	一〇	榮町通三丁目	大平三造				
東新濱組	一〇	辨天町	小島八十八				
出淵組	一〇	三宮町一丁目	木村卯之助				
共榮組	一〇		中野茂兵衛				
九三組	一〇		三浦龜吉				
			出淵太留彦				
			小谷多十郎				
			八杉三九郎				

右の外組合に加入せず單獨にして仲仕をなすもの二百餘名あり

神戸部濱仲仕業者 (東川崎中央組合所屬)

常備 所在地若くは 組頭住所

組名 組頭氏名

出張所

東税關構内二ヶ所、小野濱、中税關構内、濱邊通八丁目各一ヶ所、番所 三之宮、神戸、兩驛、辨天濱、高濱、小野東京倉庫 三井倉庫、元居留地各一ヶ所宛

兼 東川崎町一、一 鈴江光三郎

仲町四、三六 前田鶴松

北長狭通八、一〇〇 井川福吉

多聞通五、二七八 出石繁太郎

東川崎町三、五二 藤原方吉

多聞通四、二三 上岡梅吉

荒源組	一五	淺町一、五二五	井田幸助	茶	四	北長狭通一、九四	高田伊左衛門
三木組	一〇	多聞通五、七七	荒瀬源次郎	雜貨	二	二宮町三、三七	三宅繁二
中野組	一	北長狭通八、八七	津田辰次郎	茶	一六	磯上通五、九五	關基吉一
齋龜組	一〇	仲町二、一〇八	井上新太郎	花	一五	奥平野五、五ノ四	小山仁平
南濱組	一〇	東川崎町六、二五一	中野清太郎	茶	一六	荒田町二、四〇	九川安次郎
貿易組	一〇	同 三、一二二	千足音吉	同	一四	同 四、一五	大川春太郎
松井組	一〇	仲町四、二二八	藤原龜藏	同	一六	同 二、一八	朝見増藏
薩摩組	一〇	東川崎町三、二〇〇	尾崎新平	花	二〇	磯上通八、二〇	衣笠信介
柴田組	一〇	北長狭通三、三三	細谷鹿藏	花	二〇	西灘岩屋三九	寺内由松
藤榮組	一〇	御幸通四、一三四	松井増治	同	一六	磯上通五、四〇	津村勝介
齋藤組	一〇	東川崎町二、一九五	忠津大吉	同	一五	西灘岩屋一九七	植田鶴松
藤榮組	一〇	北長狭通八、八八	柴野國太郎	同	一五	御幸通八、二一四	貝原平吉
藤榮組	一〇	東川崎町七、三〇一	阪東豊次郎	同	一五	三宮町二、五二	守豊吉
藤榮組	一〇	補町二、二七六	見學爲吉	同	一四	八幡通四、四一	森下音吉
藤榮組	一〇	多聞通五、二二六	植田藤五郎	同	一三	加納町五、五〇	石井房衛門
荷造業者				同	一三	御幸通六、七	本園甚四郎
組名				同	一三	布引通四、二八	南野藤太郎
共同組				同	一五	元町通二、二一九	藤井藤太郎
茶				同	一六	加納町六、一一	大林喜三郎

島	島	上	大	新	關	新	出	新	三	日	精	東	倉	四	折	三	竹	ろ
東京	東	地	地	在	家	川	朝	本	米	京	庫	口	菱	演	演	演	演	演
演	演	組	演	演	演	演	演	演	演	演	演	演	演	演	演	演	演	演
三	三	五	五	三	四	七	六	二	三	七	三	三	三	三	三	四	六	二
芋	菅	西	上	福	上	荒	伊	伊	熊	柴	長	岸	熊	正	松	土	竹	奈
谷	野	岡	地	田	田	川	高	高	谷	田	田	本	谷	司	原	村	内	良
吉	駒	安	喜	松	龜	清	嘉	嘉	彌	松	大	之	彌	傳	寅	久	幸	次
平	太	太	太	藏	藏	助	藏	藏	郎	郎	助	助	郎	郎	吉	衛	衛	郎
精	宮	倉	倉	倉	倉	倉	倉	倉	倉	倉	倉	倉	倉	倉	倉	倉	倉	倉
米	米	米	米	米	米	米	米	米	米	米	米	米	米	米	米	米	米	米
治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治
濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱
七	五	五	九	七	七	五	七	七	三	三	三	三	三	三	三	四	四	八
石	伊	柳	一	田	池	西	山	友	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏
本	伏	巳	柳	中	上	山	山	友	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏
八	清	之	源	茂	久	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友
百	三	助	藏	一	吉	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏	藏
藏	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎

兵庫部岡仲仕業者

常備人夫

組頭氏名

川添平二郎
 釜谷國松
 吉田久造
 竹内長太郎
 高原長藏
 竹内鶴吉
 田中房太郎
 長岡大助
 中塚兼吉
 中條邦太郎
 中村治郎
 苗村安藏
 村上安藏
 打越喜平
 野崎力松
 黒川吉松
 柳川巳之助
 山本宗太郎
 山中米吉

酒	水	西	本	合	岡	大	改	今	小	和	松	天	市	松
仲	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組
一	一	二	二	三	二	二	五	五	五	四	四	三	五	二
飯	西	西	細	本	本	岡	大	大	小	小	和	波	龜	片
塚	岡	杉	川	間	間	田	野	形	幡	川	田	磨	井	山
善	安	藤	五	左	左	槌	兵	爲	爲	米	伊	伊	彌	外
次	太	藏	郎	衛	衛	次	吉	吉	之	太	助	助	吉	次
郎	助	吉	郎	門	門	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎
福	岡	高	竹	長	三	辨	苗	荒	上	共	野	宮	今	山
谷	原	鶴	鶴	菜	朝	天	村	井	菜	同	崎	前	勇	本
榮	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組
四	三	二	二	五	四	六	六	二	三	三	四	三	一	三
川	吉	竹	竹	高	田	中	中	中	村	上	打	野	黒	柳
添	田	内	内	原	中	塚	塚	塚	村	上	越	崎	川	山
平	久	長	長	長	房	邦	邦	邦	治	地	喜	喜	力	山
二	國	太	太	太	大	兼	兼	兼	郎	安	喜	喜	力	山
郎	造	郎	郎	郎	助	吉	吉	吉	郎	藏	藏	藏	藏	山

開	折	柏	改	藤	藤	三	同	同	後	◎	◎	大	三	本	宮	今	田	日	
真	口	木	良	井	田	幸	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	日本	
組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	米濱	
五	六	四	八	五	一	五	三	一	四	二	三	六	五	三	三	三	三	三	
山	松	松	松	福	藤	藤	小	土	玉	後	近	寺	網	明	油	堺	佐	喜	岸
本	原	菱	菱	崎	井	田	林	村	田	藤	藤	西	本	石	谷	井	平	來	本
清	寅	德	德	勝	龜	萬	新	久	德	壽	久	新	瀧	三	久	佐	作	龜	松
五	吉	郎	郎	藏	松	平	衛	郎	平	平	吉	吉	藏	吉	吉	平	平	太	之
四	共	榮	榮	勉	菅	野	位	置	置	置	置	置	置	置	置	置	置	置	助
須佐野通二ノ七	小川通二ノ八	新町六三	入江通三ノ六	住吉通三ノ一九	新在家町一六三	宮内町四	東尻池村三二四	元町通三丁目三七七	榮町通三丁目	中山手通六丁目六九	楠町六丁目一五三	同六丁目二五六	東川崎町三丁目二五	同五丁目五	同五丁目七	相生町四丁目三〇	岡本達助	岡本達助	相生町四丁目三〇
須佐野通一ノ三五	東尻池村四一五	今和田新田三七	松原通二ノ一五	出在家町三五	水木通四ノ二	切戸町四八三	小川通一ノ四八	切戸町一五九	今出在家町三六〇	東尻池村六一	小川通二ノ四八	入江通一ノ一六	關屋町一〇五	小川通二ノ一一	淡町二	同二ノ六五九	須佐野通一ノ二九	切戸町三一九	須佐野通一ノ二九

第三十七節 船具商

五	三	七	二	四	三	一	三	二	一	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
藤	柏	豐	草	古	喜	清	清	中	江	戶	橋	藤	中	一	一	二	三	四	五
岡	木	田	部	谷	來	水	水	尾	川	田	本	岡	村	木	本	村	中	中	喜
菊	米	豐	清	嶺	龜	虎	久	卯	佐	榮	林	太	嘉	龜	德	嘉	利	七	七
松	三	吉	藏	三	太	吉	吉	平	吉	一	藏	平	七	七	七	七	七	七	七
須佐野通二ノ七	小川通二ノ八	新町六三	入江通三ノ六	住吉通三ノ一九	新在家町一六三	宮内町四	東尻池村三二四	元町通三丁目三七七	榮町通三丁目	中山手通六丁目六九	楠町六丁目一五三	同六丁目二五六	東川崎町三丁目二五	同五丁目五	同五丁目七	相生町四丁目三〇	岡本達助	岡本達助	相生町四丁目三〇

第三十八節 内海水先區水先案内業者

仲町三五	電話 八八三	木原福三郎	宮前町二〇	北風半七
川崎町一三	電話 一五六	其隣株式會社	宮内町五	高橋喜助
同 三	電話 一〇〇二	太野市太郎	新在家町一六	久井伊介
小物屋町四四	電話 一〇〇六	吉岡嘉兵衛	今出在家町一丁目七六	渡邊豊吉
磯ノ町三八	電話 一三三〇	石川喜八郎	同 一丁目一三四	田中久吉
同 二四	電話 一三三〇	金井藤兵衛	出在家町一三	前田熊太郎
同 七五	電話 五三九	植田サト	新川浮橋南詰	大西卯之助
魚籠町三五	電話 二八四	石野彌三兵衛	入江通五丁目二	電話 三七五 東京製糖會社兵庫分工場
同 一八	電話 二八四	石井源兵衛	匠町四六	電話 三〇九 喜多 二一平
東出町三丁目一四二	電話 二八四	大松藤吉	野田村一九	電話 九一九 南 佐兵衛
同 三丁目二七五	電話 一四二	島甚兵衛	磯ノ町	同
同 三丁目二五四	電話 一四二	廣田重助	同	同
同 三丁目一六一	電話 一四二	大松金之助	同	同
同 三丁目一六一	電話 一四二	西田彌兵衛	同	同
同 六六七	電話 一四二	小林伊三郎	同	同
同 日向神社側	電話 二六〇	島甚兵衛支店	同	同
同 一九四	電話 二六〇	大松幸吉	同	同
同 一九六	電話 二六〇	岸本徳吉	同	同
同 二二八	電話 二六〇	鍛冶末吉	同	同

第三十八節 内海水先區水先案内業者

(和泉灘を含む)

神戸内海水先人組合事務所 京町八二番

組合員 組合長 D. A. G. King.
北野町三丁目四五

下山手通六丁目四九	主 事 役 屋 洋 介
同 八丁目一八〇	藤木重治
同 四丁目一〇七	坂井喜三郎
楠町五丁目一四八	會良鉦三郎
下山手通六丁目二二	齋藤千太郎
磯井通八丁目二一	祖父江銀次
下山手通三丁目一〇	Le. G. Kreidner.
京町八一	H. B. Eden.
取防山妙見下	A. Tomson.
元原留地二二	J. Steedman.
下山手通六丁目一八〇	F. Devenish.
中山手通三丁目五四	P. C. Fullert.
山本通三丁目二六	H. D. James.
下山手通五丁目八八	A. Murray.
山本通三丁目三九	F. Bishop.
中山手通四丁目六八	Authur Fisher.
中山手通三丁目五一	Le. Holm.
山本通三丁目三五	J. C. Andresen.

右の外左の無免許案内業者あり

第三十九節 潜水業

下山手通七丁目二五五	太田藤松
同	太田勘吉
淡路岡由良紺屋町九四四	木田庄太郎
三ノ宮町三丁目八一	J. Harris.
北長狹通七丁目五一	飯 深 海 商 會 作
辨天町	
東川崎町淡川東堤防下	

第三十九節 潜水業

附沈没品引揚業

人種の真正の法則は進歩と發達とに在り、文明若し征服の進軍中駐留すべきにあれば、必ず未開野蠻の猛獸の爲めに殺破せらる。

(シロキヤン、マスター)

第四章

第四十節 官廳公衙及職員

附外國領事館

兵庫縣廳 下用手通四丁目
 知事 從三位勳二等 服部 一三
 書記官 內務部長 從五位勳六等 永井 環
 警部長 警察部長 正六位勳六等 內村 直俊
 港務長 正六位勳五等 藤井治三郎
 參事官 第四課長 正七位 鶴見左吉雄
 第一課長 從七位 中川 望
 視學官 第三課長 正七位勳六等 下條幸次郎
 第二課長 正六位 佐藤長太郎
 農事試驗場技師 從六位 小野孫三郎
 農事巡回教師 從六位 鈴木 吳一
 神戸病院長 從六位 鈴木 德男
 衛生技師 從六位 葉若 雄次
 衛生課長 正七位 村田 昇清
 水産巡回教師 正七位 榑原 興作

技師 林業巡回教師 正七位 松原東美彦
 土木技師 正八位 吉田 登
 港務官 從六位勳六等 林 治定
 從六位勳六等 片山佐知夫
 從六位 大國真太郎
 港務醫官 從六位 大國真太郎
 神戸測候所 中山手通七丁目
 所長 技師 中川源三郎
 神戸警察署 三宮町一丁目
 署長 警 視 正七位 加藤 正典
 相生橋警察署 相生町一丁目
 署長 警 視 正八位 草野虎次郎
 兵庫警察署 濱崎通一丁目
 署長 警 視 正七位 中村 兼彌
 神戸水上警察署 海岸通四丁目
 署長 警 視 正七位 瀨川 幸吉
 神戸中學校 葦合町
 校長 正七位 鶴崎 糸一

御影師範學校 武庫郡御影町
 校長 從六位 和田 豊
 兼舍 監 大西庄太郎
 同 兼舍 監 上野 可然
 同 兼舍 監 細田美三郎

農學 校 明石郡明石町
 校長 兼農事試驗場技師 從七位 吉田 彦松
 兼訓導舍 監 從七位 藤本 春二
 同 兼訓導舍 監 磯田 康一

明石女子師範學校 明石郡明石町
 校長 正七位 藤野忠次郎
 兼舍 監 伊賀駒吉郎
 同 兼舍 監 關口しづこ

工業學校 兵庫大開通八丁目
 校長 內林嘉四郎

高等女學校 中山手通五丁目
 校長 從七位 篠原辰次郎
 兼舍 監 佐々木 弘

農事試驗場 明石郡明石町
 場長 兵庫縣技師 從六位 小野孫三郎
 同 農學校長 居田 槌平
 同 農學校長 吉田 彦松

神戸商業學校 楠町六丁目
 校長 從七位 有村彦九郎

神戸病院 楠町六丁目
 院長 兼外科醫長 從六位 鈴木 德男
 副院長 兼內科小兒科醫長 西 廣吉
 眼科醫長 西村美龜次郎

產科婦人科

神原病院 福原町

鳥越 淡藏

神戸市役所 東川崎町一丁目

古川 筆造

市長

從五位 坪野平太郎

助役

岡田 泰藏

同

正七位勳七等 小手川信次

名譽職縣參事會員

河合 吉藏

堀林之助 大村清七

平尾 庫一

福橋 龜吉 横山 淺吉

坪田 十郎

中村 謙藏

神戸地方裁判所 櫻通二丁目

正五位勳四等 田丸 稅稔

部長

從六位 膳 鉦七郎

同

從六位勳六等 田中 誠夫

同

陸軍歩兵少尉 正七位 渡多野 高吉

同

從六位勳六等 樋上 廣業

同

從六位 佐伯 明道

判事 正七位 岩本麻次郎

同 從七位 大橋利太郎

同 從七位 荒木精一郎

同 從七位 野田文一郎

同 從七位 渡邊 方謙

同 從七位 井上鐵太郎

同 從七位 河村 右介

同 從七位 大知新太郎

同 從七位 平野康太郎

同 從七位 蓼原三雄

同 從七位 三宅 高時

同 逸見 規一

同 大月 義平二

同 正五位勳四等 池上 三郎

同 從六位 三木猪太郎

同 正七位 秋場格太郎

同 正七位 芥川 兵吉

同 從七位 山田 正徳

神戸稅務監督局 下山手通六丁目

局長 從六位 佃 一誠

同 正七位 河田 貫三

同 正七位 河野 巖男

同 從七位 山田 周藏

同 正八位 寺田 留吉

同 兼樟廣事務局事務官從七位勳八等 田代 保

神戸稅務署 下山手通六丁目

署長 從七位 久喜 豐彦

同 從五位勳六等 櫻井鐵太郎

同 從六位勳五等 山岡義五郎

同 正七位 蠟山長治郎

同 正六位 嘉納德三郎

同 正六位 佐藤友太郎

同 正七位 西川麻五郎

同 從七位 田島熊太郎

同 從七位 早川 繁雄

檢事

神戸區裁判所 櫻通二丁目

秋田信太郎

兼判事 從六位勳六等 小室 虎吉

兼判事 大橋利太郎

兼判事 野田文一郎

兼判事 渡邊 方廉

兼判事 井上鐵太郎

兼判事 大知新太郎

兼判事 太田彌一郎

兼判事 藜原三雄

兼判事 長野 一郎

兼判事 秋場格太郎

兼判事 森浦 熊藏

兼判事 山口善六

兼判事 正木 宗十

兼判事 同

兼判事 同

兼判事 同

兼判事 同

兼判事 同

兼判事 同

兼判事 同

兼判事 同

兼判事 同

兼判事 同

兼判事 同

兼判事 同

神戶樟腦事務局 雲井通
局長 增澤有
事務官 兼神戶稅務監督 從七位勳八等 田代保
兼神戶海關監督 從七位勳八等 松田茂太郎
技師 兼神戶海關技師 從六位 松田茂太郎
臺灣總督府專賣局神戶支局
支局長 事務官 從六位 增澤有
技師 兼神戶海關技師 從六位 松田茂太郎
鐵道作業局 東川時町
鐵道事務官 神戶出納事務所長 正六位 高田元治郎
同 神戶運輸事務所長 正七位 登阪小三郎
鐵道技師 神戶保險事務所長 從五位勳四等 佐武正章
同 從六位 青木勇
神戶工場長 金重林之助
神戶海務署 花隈町
署長 海務官 從六位 福地文一郎
海事官 從六位 堤正義
同 從七位 越智誠二
同 從七位 山本幸男

海事官 從七位 阿部政次郎
神戶郵便局 榮町通六丁目 (一等)
局長 正六位 宍戶省三
通信事務官 監督 正七位勳五等 岩崎直英
通信技師 工務課長 正六位 長谷川廷
兵庫郵便局 小物屋町 (二等)
局長 通信 正八位 加納又吉
三宮郵便局 元町通二丁目 (二等)
局長 通信 局 鹽倉利太郎
三宮電信局 元町通二丁目
局長 從七位勳八等 村西熊治
神戶小林区署 荒田町二丁目
署長 林務官 補 江川久之助
神戶聯隊區司令部 中山手通七丁目
司令官 步兵 中佐 正五位勳四等 安井信胤
副官 步兵 大尉 從六位勳五等 小倉小次郎

神戶憲兵分隊 荒田町二丁目
分隊長 憲兵 大尉 從六位勳五等 大島 閏二
神戶高等商業學校 非合町尙井 (官立)
校長 從五位 水島 鐵也
教授 從六位 東 爽五郎
同 正七位 柴崎雪次郎
同 正七位 津村秀松
同 從七位 大山再也
同 從七位 中川 靜
同 從七位 小久保定之助
同 從七位 內池 廉吉
外國領事館
英國領事館 浜花町九番
現任領事 H. A. C. Bonar.
副領事 E. A. Griffiths.
米國領事館 海岸通五番
現任領事 Samuel S. Lyon.
副領事 Hunter Sharp.
獨逸國領事館 東町百十五番

現任領事 F. Khen.
佛國領事館 江月町九十番
現任領事 P. H. de Lucy-Fossanien.
伊太利國領事館 山本通三丁目百十八番
領事代理 Wenceslau de Moraes.
奧地利國領事館 浜花町九番
領事代理 E. A. Griffiths.
清國領事館 下山手通八丁目
現任領事 長 福
西班牙國領事館 江月町九十番
名譽領事 P. H. de Lucy-Fossanien.
葡萄牙國領事館 中山手通三丁目六番
現任領事 Wenceslau de Moraes.
和蘭國領事館 山本通三丁目百十五番
領事代理 H. Van Oidt de Lauwenrecht.
瑞西國領事館 東町百十五番
名譽領事 F. Khen.
瑞典及諾威國領事館 前町十六番 B

領事代理 O. Skybak.
 白耳義國領事館 海岸通十番
 現任領事 A. Hofmann.
 丁抹國領事館 北町九十一番
 現任領事 Chas. Braess.
 秘露國領事館 江戸町百四番

副領事代理 Georg Petersen.
 智利國領事館 海岸通十番
 現任領事 C. A. Terandiz.
 巴西國領事館 海岸通十番
 副領事 A. Hofmann.

第四十一節 官公立學校及幼稚園

本表教員中△印は兼務者也

名稱	官立/私立	位置	創立年	學科	修業年限	數級學	教員		生徒		校長
							內國人	外國人	男	女	
神戶高等學校	官立	合	明治三十五年	理科	一三	一三	△	△	一四	一四	水島鐵也
神戶商業學校	官立	合	明治三十五年	理科	一三	一三	△	△	一四	一四	和 田 豐
兵庫縣立中學	官立	合	明治二十九年	理科	四	二	△	△	三	三	鶴崎象一
兵庫縣立高等女學校	官立	中山手通五	明治三十四年	理科	五	一七	△	△	三	三	篠原辰次郎
兵庫縣立商業學校	官立	楠 町	明治十一年	理科	四	一〇	△	△	三	三	有村彦九郎
私立中山手通三	私立	同	同	年數學、英語、漢學、	四	四	△	△	三	三	ヘンリー、ヒリス

名稱	官立/私立	位置	創立年	學科	修業年限	數級學	教員		生徒		校長
							內國人	外國人	男	女	
自助學校	同	楠 町	明治三十五年	國語、英語、漢學	三	三	△	△	三	三	藤 種 熊
以文塾	同	永澤町一	明治三十三年	英語、漢學、數學	三	三	△	△	三	三	谷 熊 次 郎
有爲學館	同	下山手通六	明治三十六年	英語、漢學、數學	二	二	△	△	二	二	田 阪 其 吉
秀成學舍	同	同	同	英語、漢學、數學	三	三	△	△	三	三	高 柳 節 三
育英塾	同	石 井 村	明治三十五年	英語、漢學、數學	一	一	△	△	一	一	庄 野 一 英
大阪府立分枝校	官立	下山手通七	明治三十二年	英語、漢學、數學	一	一	△	△	一	一	和 田 昌 瓦
神戶簿記學校	官立	佐比江町	明治三十六年	簿記	一	一	△	△	一	一	吉武元之助
パルマール	同	中山手通四	明治十九年	英語	一	一	△	△	一	一	ウイリアム、コート
日本夜學生會	同	同	明治三十二年	同	一	一	△	△	一	一	ゲョー、マント
高山英學會	同	楠 町	明治二十年	同	一	一	△	△	一	一	高 山 時 藏
神戶英學院	同	永澤町四	明治三十六年	同	三	三	△	△	三	三	末 兼 淡
基督教青年會	同	中山手通六	同	同	四	四	△	△	四	四	村松吉太郎

名 稱	市立 立 位	置 立 年	學 科	修業年限	數級學	教 員	兒 童	學 校 長 氏 名
今和夜學校私立和田崎町	和田崎町	明治三十六年	中學校	二	二	三	三	五 茨木彌三郎
山野夜學校	長 田 村 同		同	二	二	三	三	三 木 恒 松
神戶商業市立元町	元町	明治三十一年	商業科	一	四	六	六	打田喜代太郎
神戶商業市立五明	五明	明治二十九年	工業科	一	四	六	六	中村康之助
神戶商業市立永澤	永澤	明治三十一年	同	一	四	六	六	鈴木定一
神戶商業市立水澤	水澤	明治三十一年	同	一	四	六	六	鈴木定一
神戶商業市立井合	井合	明治三十六年	裁縫、修身、國語	一	三	三	三	鈴木定一
井合裁縫學校	井合	明治三十六年	裁縫、修身、國語	一	三	三	三	鈴木定一
工業學校縣立大開通	大開通	明治三十七年	建築科	三	七	七	七	藤井千代

備 考

一、本表中兵庫縣御影師範學校は其位置神戸市外にありし御影町は神戸市と近接せる市街地にして且つ神戸市内には師範學校なきを以て特記之を掲記せり
 二、右の外私立産業養成所として中山手通七丁目産科婦人科阪元醫院多開通五丁目同科三浦醫院等あり又北野町四丁目女子英語學會あり補町三丁目神戸繪畫講習會あり通學出教授とも一に習學生の望により爲し得らるゝの便あり
 三、私立關西學院は其位置神戸市外なるも本市に隣接し生徒の如きも本市より通學するもの其多數を占むるを以て特記之を掲ぐ

公私立小學校表

名 稱	市立 立 位	置 立 年	學 科	修業年限	數級學	教 員	兒 童	學 校 長 氏 名
雲中高等小學校	市立 合	明治二十年	高等科	四	二〇	二六	三三	笠 原 德 重
生田小學校	同	明治三十三年	高等科	四	一四	二一	三三	栗本徳三郎
常小野柄小學校	同	明治三十四年	高等科	四	一六	二四	三三	齊藤實文
神戶高等小學校	同	北長狹道四 明治六年	高等科	四	一八	二五	三七	神矢廣一
長狹高等小學校	同	明治三十四年	高等科	四	二二	二八	三七	三 松 俊 亮
諏訪山小學校	同	中山手通四 明治三十三年	高等科	四	二二	二八	三七	八木沼 孫 市
山手高等小學校	同	明治三十四年	高等科	四	二二	二八	三七	前田秀太郎
宇治野小學校	同	宇治川町 明治二十六年	高等科	四	二二	二八	三七	田中權三郎
淡川高等小學校	同	補 町 五 明治六年	高等科	四	二二	二八	三七	芥川梅次郎
補高等小學校	同	明治三十四年	高等科	四	二二	二八	三七	藤井文藏
橋高等小學校	同	上 橋 通 一 明治三十三年	高等科	四	二二	二八	三七	阿 部 市 作

校名	市立	町立	村立	私立	創立年	保育年限	組數	保母	幼男	幼女	園長氏名
多聞尋常小學校	市立				明治三十六年	三	四	二	一	七	遠藤嘉七
東川尋常小學校	町立				明治三十三年	三	四	二	一	三	名倉健三郎
兵庫尋常小學校	町立				明治二十六年	三	四	二	一	八	足立利廣
入江尋常小學校	町立				明治三十三年	三	四	二	一	五	鈴木虎一郎
大開第一尋常小學校	町立				明治三十四年	三	四	二	一	五	早水直矢
大開第二尋常小學校	町立				明治三十四年	三	四	二	一	五	篠崎三郎
明親尋常小學校	町立				明治三十三年	三	四	二	一	七	黒澤道吾郎
和田尋常小學校	町立				明治三十四年	三	四	二	一	七	茨木彌三郎
淡山尋常小學校	町立				明治二十年	三	四	二	一	七	橋寺綱次郎
真陽尋常小學校	町立				明治二十年	三	四	二	一	七	寺井元雄
西野尋常小學校	町立				明治六年	三	四	二	一	七	三木恒松
道場尋常小學校	町立				明治三十七年	三	四	二	一	七	村山義雄

公立幼稚園表

校名	市立	町立	村立	私立	創立年	保育年限	組數	保母	幼男	幼女	園長氏名
神戸幼稚園	市立				明治三十一年	三	五	六	全	全	堂野キヨ
兵庫幼稚園	町立				同	三	四	五	全	全	榎本常
頌榮幼稚園	私立				明治二十二年	三	四	五	全	全	和久山喜越
聖家族幼稚園	同				明治三十六年	三	三	三	全	全	アノト、ニ
香隣幼稚園	同				明治三十二年	三	三	三	全	全	神原守文

圖書館表

館名	市立	町立	創立年	開館日數	開館七年度	開館七年度	館長氏名
桃木書院圖書館	私立		明治三十五年	100%	三	三	桃木武平

第四十二節 公會及俱樂部

○神戸實業協會 は實業の進歩發達を圖るの目的を以て明治二十五年の創立に係り、其當時神戸貿易商業俱樂部と稱へ、後明治二十八年一月に至り神戸實業協會と改稱せらる、現今の會員百四十餘名にして會頭及幹事は次の如し

會頭 牛場 卓藏 幹事 吉田 鐵太郎
幹事 鎌田 覺藏 同 水島 鐵也
同 物集 伴次郎 同 杉山 利介
其經營せし事業に就ては一々枚舉するに遑あらずと雖先づ第一に指を屈するは築港計畫に關することなり、尙目下日露開戦紀念事業として、奉公會に據て設置せられたる出征家族兒童保育所を本會に引受け、將來勞働者の兒童を保育するの議ありと聞く、左に本會々則を掲ぐ (三十八年二月記)

第一章 主旨目的

第一條 本會は實業の進歩發達を圖るを以て目的とする

第二章 組織及名稱位置

第二條 本會は實業に従事する者及實業に篤志なる者を以て組織す

第三條 本會は神戸實業協會と稱す

第四條 本會は神戸市に設置す

第三章 事業

第五條 本會は第一條の目的を貫徹せしめんが爲め國務大臣諸官衙公署貴衆兩院府縣會市商會會議所及諸種團體等の當局者に建議請願若しくは交渉することを得
本會は毎月一回機關雜誌を發行し本會員に配布するものとす
但全國商業會議所實業團體其他有益と認むる所には配付することあるべし

本會は春秋二回若しくは臨時に實業演說會或は懇話會を催すことあるべし

第四章 會員

第六條 本會員は左の二種に類別す

第一 普通會員 實業に従事する者及び本業に篤

第五章 役員及職員

第十一條 本會に左の役員及職員を置く

- 一 會頭 一名
- 一 幹事 五名
- 一 評議員 四十五名
- 一 書記 若干名
- 一 内席書記を以て主任書記とす

第十二條 役員及職員の權限は左の如し

- 一 會頭 本會を總理す
- 一 幹事 會頭を補佐し本會一切の要務及び金錢出入を辦理決行す
- 一 評議員 役員會に列し諸般の問題を審議評決す
- 一 書記 會頭及幹事の指揮を受けて記録及計算其他の事務に従事す

第十三條 役員の選舉は左の如し
役員は毎年一月開催の通常總會に於て選舉す
但再選は妨げなし
職員即書記以下は會頭之を任命黜陟す

志なる者にして入會せしもの

第二條 名譽會員 實業に偉勳ある者及本會に功勞ある者其他名譽家にして本會を贊助する者

但名譽會員として本會より入會を乞ふは役員會の評決に依る

第七條 本會員は實業上有益の所見あるときは役員會に提出することを得而して役員會に於て果して有益と認るときは第五條の所定に依り或は建議し或は交渉し或は新聞雜誌等に掲載して其意見を世上に發表すべし

但し役員會に於て總會の決議を要すべきものと認定したる事項は之を總會の議に附すべし

第八條 本會に加盟せんとする者は住所姓名を明記し會員の紹介を以て本會事務所へ申込むべし

第九條 退會せんとするものは其理由を記したる書面を差出すべし

第十條 會員にして本會の名譽を毀損する等の所爲あるものは役員會の評決に依り忠告或は除名することあるべし

第十四條 役員は名譽職とし職員即ち書記以下は有給とす

第六章 會 議

第十五條 本會の會議は左の三種とす

通常總會 臨時總會 役員會

一 通常總會は毎月若くは隔月之を開會す

一 臨時總會は役員會の決議又は會員三分の一以上の賛同を以て請求したるとき開會す

一 役員會は會頭幹事評議員を以て組織し毎月一回又は必要あるとき開會す

第十六條 總會の議長は會頭之れを勤む會頭事故あるときは役員中之れを代理す

第十七條 總會及役員會は總員四分の一以上出席するにあらざれば開會することを得ず

但時宜に依り議長は總會出席員に謀り出席全員三分の二以上の同意を得て特に開會することを得

第十八條 會議は總て普通議事則に據る

第十九條 名譽會員は會議に列し意見を陳ぶるを得

ると雖ども採決の數に加へず

第七章 經 費

第二十條 本會經費は會員全體の負擔とし毎月十日迄に其月の經費を前納すべし

但名譽會員に限り經費を負擔せず故に本會の資産に關係を有せず

第二十一條 經費は會員各自より毎月金壹圓を徴收す

第二十二條 經費三ヶ月以上滞納せし者は除名することあるべし

第二十三條 翌年度收支豫算は役員會に於て決定し一月の通常總會に於て報告すべし

第二十四條 前年度收支決算は翌年一月通常總會に於て報告すべし

第八章 雜 則

第二十五條 事務章程及内規附則等は會頭に於て編成し役員會の決議を経て執行するものとす

第二十六條 會員は會頭の承諾を得て諸帳簿の檢閲をなすことを得

第二十七條 本會の事蹟は一月の通常總會に於て報告し時々報道すべき事項は本會機關雜誌に登載し特に至急を要する件は便宜報道すべし

第二十八條 此會則は總會の決議にあらざれば更正加除することを得ず

○私立神戸市衛生會 相生町一丁目二十七番地に在りて元大日本衛生會神戸支部なりしも、明治三十五年獨立し今の私立神戸市衛生會となる、其機關の一として衛生報知を發行し普く衛生に關する事項を報道す、市民の之れにより衛生上裨益する所甚だ大なり、現今の會員數は實に千四百餘名にして役員は次の如し

- 理事會長 坪野平太郎 理事副會長 小磯 吉人
- 理 事 小手川信次 理 事 葉若 雄次
- 同 横田 孝史 同 村田 昇清
- 同 渡邊英三郎 監 事 岸本豊太郎
- 同 直木政之介 公選評議員 坪野平太郎
- 公選評議員 小磯 吉人 同 石川 武夫
- 同 葉若 雄次 同 横田 孝史
- 同 江馬 駿男 同 神中 正雄

公選議員 高橋 盛寧 公選議員 高德藤五郎

同 草鹿甲子太郎 同 本多 義知

同 潮瀨庄左衛門 指命評議員 内村 直俊

同 村田 昇清 同 鈴木 徳男

同 山本治郎平 同 渡邊 尙

同 渡邊英三郎 同 室谷 藤七

同 大庭竹四郎 同 漢川豊三郎

同 山本 繁造 同 天兒 民恵

同 丹波 謙藏 同 小手川信次

同 安西茂太郎 同

尙左に本會定款を掲げ參考に供す

第一章 目的、名稱、位置

第一條 本會は公衆の健康を保持増進するを以て目的とす

第二條 本會は私立神戸衛生會と稱す

第三條 本會の事務所は兵庫縣神戸市に置く

第二章 資 産

第四條 本會の資産は會員より徴收する會費及び寄附金品を以て之れに充つ

第五條 會費及寄附金品を領收したるときは本會所定の領收印及び役員の認印ある領收書を交付す

第六條 本會に於て金品の寄贈を受けたるときは其金品及寄贈者の氏名を簿冊に録して永く之れを保存し本會雜誌又は新聞紙を以て廣告することあるべし

第七條 本會の金員は確實ある銀行に預け出納し壹ヶ年毎に其收支を精算し之れを總會に報告すべし

第三章 役員及其選任

第八條 本會に左の名譽役員及有給書記若干名を置く

- 一 理事 七名
- 一 監事 二名
- 一 評議員 三十名

第九條 評議員中十五名は定期總會に於て公選し十五名は會長之れを指名す

但公選評議員中缺員を生じたるときは次點者を以て補缺す

第十條 理事は評議員の互選を以て之れを定む

第十一條 理事の互選を以て會長副會長各一名を置く

第十二條 監事は會員中より評議員の推薦を以て會長之れを囑托す

第十三條 役員の任期は各二ヶ年とす滿期再選することを得

但補缺員の任期は前任者の殘任期間とす

第十四條 書記は會長之れを任免す

第四章 役員の職務及權限

第十五條 會長は本會を總理し總會及役員會の議長となり他に對しては本會を代表す

第十六條 副會長は會長を補佐し會長事故あるときは其職務を代理す會長副會長共に事故あるときは理事之を代理す

第十七條 理事は法律定款並に總會及評議員會の決議に従ひ本會諸般の事務を處理す

第十八條 評議員は本會の重要事件を評議し意見を述ぶるものとす

第五章 會員

第十九條 會員を分ちて左の三種とす

一名譽會員 本會に功勞ある者又は學識名望ある者にして本會の目的に裨益ありと認むる者は評議員會の意見を聞き會長之を推薦す

一終身會員 會費として一時に金五圓以上を納めたる者

一通常會員 會費として毎年金六拾錢（一月、四月、七月、十月に分ち徵收す）を納むる者

第二十條 會員たらんと欲する者は其姓名族籍職業及現住所を明記し事務所に送致し會員章を受くべし

但入會後住所姓名等を變更したるときは事務所に通報すべし

第二十一條 退會せんとする時は事務所に通報し會員章を返付すべし其死亡せる者亦同じ

但既納の會費は返付せず

第二十二條 會員は衛生上に關する事項に就き疑義あるときは本會に質すことを得

第二十三條 會員中本會の目的に障害となるべき所

第四章 第四十二節 公會及俱樂部

爲あるか又は會員たるの義務を缺くときは評議員會の決議により之れを除名し本會雜誌又は新聞紙を以て其旨を廣告する事あるべし

第六章 集會

第二十四條 毎年四月定期總會を開く

但時宜により會期を變更する事あるべし

第二十五條 總會の招集は少くも五日前に其會議の目的たる事項を記したる招集狀を發して之れを爲すべし

但出席員過半数の同意あるときは臨時提出の事項を決議する事を得

第二十六條 本會の議事は總て一議を以て了るものとす

第二十七條 總會及役員會の議事は出席員過半数により之れを決し可否同數なるときは議長之れを決す

但總會に於ては缺席者自ら署名捺印したる書面を以て意見を示し評決に加はる事を得べしと雖も會員外の者に代理を委任することを得ず

第二十八條 會議の要件は筆記保存し其概要の件は會員に報告すべし

第七章 雜 則

第二十九條 本會の事務成績は毎年定期總會に於て報告すべし

第三十條 本會は毎月一回雜誌を發行し會員に配付す

第三十一條 會長は編輯委員を囑托し手當を給する事を得

第三十二條 本會に於て會員死亡の通知を受けたるときは弔詞又は香花を贈る

第三十三條 本會諸般の細則は役員會に於て之れを定む其之れを改正するとき亦同じ

○私立教育會 三十六年度中本市に於ける教育會の概要につき統計として左に掲ぐ

名 稱	公立	私立	事務所所在地	會員數	開會年度	維持費	發行會費總額	會長氏名
兵庫教育協會	公立	永澤	四	一	六	三	〇	池長
神戸教育會	私立	北長	四	三	〇	〇	〇	船井長四郎
聯合教育會	私立	小野	二	一	〇	〇	〇	岸田喜平次

三 交協會私立吉浜二二三 五 六二二〇〇 五五二二五 高橋隆五郎
備考 年度は會計年度による

○臺灣協會神戸支部 本部は東京市麹町區山下町一丁目一番地に在りて支部は其事務所を神戸商業會議所内に設置せらる、其目的は臺灣に關する諸般の事項を講究し臺灣の經營を裨補するにありて、其事業としては臺灣の真相を開發する事、附視察員の派遣、臺灣の産業品及臺灣人民の嗜好に適應する本邦商品を蒐集する事臺灣に移住し又臺灣より上遊する者の爲めに及ぶ限り便利を與ふる事、臺灣に關する實業上の調査、紹介等の依頼に應ずる事、彼我言語練習の便を圖る事、臺灣會館を設立する事、會報、講談會、臺灣留學生を監督補助する事、臺灣に關する書類即ち通信、新聞、雜誌著述、舊記の蒐集(但海外各殖民地に關するものを集む)等なり、左に役員氏名並に支部規約を掲げ、尙終に本會設立主意書の全文を掲ぐ。

本 部 役 員

會 頭 伯曾 桂 太郎 幹 事 長 小松原 英太郎

會計監督 大倉喜八郎 幹 事 門 田 正經
幹 事 三枝光太郎 會 報 主 任 河 合 弘 民
評 議 員 略 す

支 部 規 約

支 部 長	部 一	三	幹 事 長	永 井 環
會計監督	山本龜太郎	幹 事	山 本 正 修	
評議員	石 川 武 夫	評議員	太田保太郎	
同	渡 邊 尚	同	川崎芳太郎	
同	川西清兵衛	同	兼松房次郎	
同	瀧川辨三	同	谷 勘兵衛	
同	建野郷三	同	直木政之介	
同	牛場卓藏	同	谷 井 保	
同	山本龜太郎	同	松方幸次郎	
同	小曾根喜一郎	同	神田 兵右衛門	
同	岸本豊太郎	同	光村 利 藻	
同	廣瀬満正	同	百崎 俊 雄	

第一條 神戸支部は本會の目的を翼賛し其發達を期するものとす

第二條 神戸支部は神戸市に置く(假事務所を神戸商會會議所内に置く)
第三條 神戸市下居住の會員は當支部の所屬とす(但他府縣下の會員と雖も希望に依り當支部の所屬たることを得)

第四條 會員は毎月金參拾錢を當支部に納付し本支部の經費に充つるものとす

第五條 當支部の役員左の如し

支部長一名 幹事長一名 幹事二名 會計監督一名 評議員五十名以内

一、評議員は支部會員より選舉す

二、支部長幹事長幹事會計監督は評議員會に於て選舉す

三、役員は毎年一回改選す但再選することを得役員は名譽職とす

第六條 役員は任務左の如し

支部長は支部を總理し會議を整理す

幹事長幹事會計監督は支部長の指揮を受け事務を處理す

評議員は會務を議定す

第七條 支部の會合左の如し

一、總會

二、臨時總會

三、評議員會

總會は毎年四月之を開き前年度間會務の顛末會計
決算其他本會の總會に提出すべき議案報告を確定
し役員を改選し其他必要なる事項を議定す
臨時總會は支部長必要ありと認め又は會員より請
求したるとき評議員會の議を経て之を開く、評議
員會は支部長に於て必要ありと認めたるるとき之を
開く

附 則

第八條 此規約を施行するに必要な細則は評議員
會に於て之を定む

第九條 此規約を修正變更せんとするときは總會の
議決を経て會頭の認許を得るものとす

臺灣協會設立主意書

臺灣我が版圖に歸せしより、列國は則ち環眼凝視し、
國民は則ち憂虞危言し、一世の耳目靡然として此土に

集まれり、政府は則ち小心翼翼、銳意圖治、月に其土
に適する所以の政を求めて、年に改善の途に轉へり、
凡そ行政の制始と備はらざる所なく、典章制度の美之
を本土に比して多く遜らず、政府の臺灣に於ける亦勉
めたりと謂ふべし、而して今熟々其施設の績を觀るに
新政の澤未だ深く民の心に入らざるか、往々にして遠
言あり、或は葛の夏に於けるが如く、裘の冬に於ける
が如く、飲食の身に於けるが如くならざるを嘆ずる者
あり、蓋し其支吾干格して潤和便安ならざるを謂ふな
り、想ふに夫れ或は之をあらむ、而して其困を查するに彼
我人民の交誼未だ通せず情味尙ほ索寞たるの致す所に
非ざるなきか、乃ち彼我人民居常相觀るの狀を察する
に、口には相親み相愛すべしと曰ふて能く其理を會す
るが如くなるも、然れども其兩間の休戚に感動せざる
や、恰も秦人の越人の肥瘠を視るが如くにして、而し
て其相仇するを喜ぶや。猶ほ吳人の越人に對するが如
く、好んで評發詆刺し毫も假借せず、而して言語の通
せざる、禮俗の同じからざる、飲食嗜好、器玩、常習
の趣を異にする、今猶ほ舊の如くにして、宛ら是れ異

邦の民なり、此を以て臺灣土着の民の出で、上國の風
俗を觀たる者、寥寥として屈指數ふべく、本土の士に
して去て臺灣の文物に接觸したる者も其數亦少く、相
距ること略ぼ此の如し、兩間の交情索漠として起らず
彼我の情味嚼蠟にだも如かざる者ある固より其所なり
夫れ政治は人情を本とす、古今の政治皆然り、未だ人
情に本づかずして善く民を服したるの政治ありしを聞
かざるが如く、又未だ人情に本づきたる政治にして、而
して民に服せられざる者ありしを聞かざるなり、而し
て臺灣の一地彼我人情の和熟せざる此の如きの甚しき
者あり、即ち其治の未だ葛の夏に於けるが如く、裘の
冬に於けるが如く、飲食の身に於けるが如くならず、
支吾干格、往々にして遠言あるを聞くは、已むを得ざ
るの勢多く怪むを須るざるなり、然而して之を開き
之を濟ふの責誰にか屬すとせんに、當然に是れ我が國
民相互の務なるなり、吾儕が自ら揣らず敢て微力を奮
つて臺灣協會を創立する所以の主意豈他あらんや答を
既往に引き、將來の尙ほ追ふべきを思ふて、切嗟琢磨
聊か國家の爲めに國民の分を盡さんと欲するのみ、又

只臺灣の爲に未だ加へられざる人民の務を加へて我が
政府の經營に少裨補あらんことを希ふに外ならざるな
り、若し夫れ臺灣の土の膏腴にして地の險要なる海陸
の所産は以て内に足りて外に給すべく、天放の形勢は
以て近く固めて遠く威すべし、誠に東洋の咽喉にして
我が南方の富源なり、軍事上の論議は避けて當すどす
るも、殖産、工業、對外貿易等の方鍼にして未だ定説を
得ず、衆心茫々嚮ふ所を知らざるの類の、政府以外我
が有志家の力に待つある者亦極めて多し、乃ち衆力を
萃めて思を一途に注ぎ、其得たる所を提げて之を天下
に質し、凡て此土の貿易商工業等に從ふ者をして、就
て大體を知り遵由する所を愆らざらしむるを期するは
又我が協會の本領にして、吾儕の敢て當るを辭せざる
所なり、天下同愛の士想ふに必らず多からん、望むら
くは惠然和來し、力を協せて功を積み臺灣三百萬衆の
爲に我新政の澤に浴し、文明の効果を樂ましめ、而し
て我が四千萬同胞の爲に其中心に鬱結せる憂を解き我
皇の盛徳を謳歌せしめよ、是れ惟り我國家の慶たるの
みならず、固より我が臺灣協會の榮あり、而して決し

て我が政府の慶と我が協會の榮とに止まらざるなり、請ふ來り而して斯の大業を完ふせしめよ、(以下略す)

○神港俱樂部 は下山手通六丁目に在りて、會員相結び公私の利益を謀り相互の幸福を増進するの目的を以て明治三十年五月株式組織により設立せられ、現今會員三百六十餘人を有す、今左に會員、會費、娛樂其他に就ての規則摘要並に社長及常務取締役の氏名を擧げ參考に資す

規則摘要

第四條 會員を分て名譽會員、通常會員及特別會員とす

第五條 名譽ある人にして本則の主旨を贊助するものを名けて名譽會員とす

第六條 第十三條により會費を納むるものを通常會員とす

第七條 神戸市に常住せざる人にして金拾圓以上を本會に寄附するものは常務取締役協議の上之を特別會員とす二年以上會員となり會費を納めたる者にして神戸市に常住せざる事故を生じ退會したる場合に於ては特別會員として待遇するものとす

第十二條 通常會員たらんと欲する者は會員一名以上の紹介を以て申込むべし其諾否は常務取締役協議の上之れを決す

但し場合により新入會者に對し會員中より黑白の玉を投票せしめ其の諾否を決することあるべし

第十三條 通常會員は入會金壹圓及入會翌月より會費として毎月二十五日迄に金壹圓を納むべし

第十五條 本部は臨時次の諸會を開設することあるべし、實業學術に關する會員の談話演說會、諸名士の講話會、諸展覽會、盆裁會、茶會、圍碁會、球擲會、諸演藝會、運動會

第十八條 會員は會員外の人たりとも二名限り同伴することを得

但二名以上を同伴したるときは事務所に通告し二名以外は一名に付入場料金拾錢を納むべし

第十九條 本部内に文庫、新聞、雜誌、小説類、球

撞壘、圍碁、將碁、大弓其他の遊具を備へ會員の縦覽並に遊戲に供す

第二十條 本部内に酒保を設け會員の需に應ず和洋食、和洋酒類、菓子類其他

役員

取締役社長 兼松房次郎 常務取締役 江波戸幸太郎

常務取締役 足立芳之助

○神戸俱樂部 相生町一丁目四番地に在りて、會員隨時會同し、又は知名の士を會員に紹介し併せて之れを特待し自他の交際を親密ならしめ、専ら社交上の機關たるの目的を以て明治十八年の創立に係はり、實に我國に於ける俱樂部の嚆矢とす、現今の會員數七十餘名を有し幹事は左の如し

太田保太郎 横田 孝史 神田兵右衛門

菊地 武和 杉山 利介

娛樂的設備としては玉突、圍碁、謠曲、大弓等あり、尙日露開戦以來三日の會なるものを開き毎月三日の日に當り會員集會し事務局に關する談話、考究をかせり、左に參考の爲會員資格會費其他二三を會則中より摘録す

第四條 本會々員を分つて通常會員、客員の二種とす

一通常會員は神戸市内に居住し會費を負擔するものとす

一客員は神戸市外の人にして金拾圓以上を寄附し又は滿二ヶ年以上通常會員にして他へ轉居したるものとす

一帝國陸海軍將校にして來會するものは臨時客員を以て之を遇す

第五條 會員たらんと欲するものは會員二名以上の紹介を以て住所職業を記載したる書面に署名捺印し幹事に申込む可し幹事會に於ては無記名投票を以て其諾否を定むるものとす

第十四條 通常會員は入會金貳圓を納め其翌月より毎月二十七日限り會費金壹圓を納むるものとす

第二十七條 會員は親戚朋友三名以下を同伴するを得べし

第二十八條 會員二名以上の紹介あるに於ては本會館室の一部を貸與する事あるべし

○山手俱樂部 は中山手通七丁目に在りて其目的は會

員相互の交際を親密ならしめ公私の利益を謀り相互の幸福を増進するにあり、幹事は

太田保太郎、渡邊 尚、神中正雄、江波戸幸太郎、にして左に會員資格、會費其他二三を會則中より抜抄し参考に資す

第三條 本會員は當市内居住者にして幹事會の協賛を経たる者たるべし

第四條 會員は入會金として當初に金五拾錢を融出し其翌月より會費金參拾錢宛毎月二十五日を期し出金するものとす

第五條 一時に金參拾圓以上を納むるものは終身會會とし毎月の會費を要せず

第二十條 本會員は親族朋友二名以下を同伴することを得

○海員俱樂部 は下山手通八丁目百八十番屋敷に在りて、海員相互に和親協力海事の發達を謀るの目的により明治二十九年の創立に係はり、現今の會員數は名譽會長十四名、特別會員二百名、正會員一千六十餘名にして館内には圖書室、遊戯室の設備あり、又航海、機

關其他海事に關する書籍を出版することあり、左に幹事氏名を掲ぐ

箱石朝政 楡井次郎 岡見拾吉 賀屋洋介 河内研太郎 横田末次郎 祖父江銀次 村上昇太郎 山口元太郎 齋藤千次郎 (いろは順)

○商船俱樂部 中山手通六丁目八番地にあり、大阪商船株式會社神戸支店員及同社船乗組高等海員の娛樂の爲に設けられ、三十八年三月十二日其落成開所式を舉行せり、遊戯娛樂の設備としては玉突、大弓、テニス、擲劍、書籍縦覽室等あり、會長は加福商船神戸支店長にして俱樂部の組織は米國ミンチソタ、クラブに則るものなりと云ふ

第四十三節 慈善團體及其現況

神戸孤兒院

人生悲惨の事多しと雖も生れて筆々たる孤兒となり、活きて露々たる貧兒にして頼るに人なく托するに處なき身の悲惨あるより慘あるはなし、天下廣きを以てして尙身を置くに處なく流離顛沛早く已に世の辛酸を嘗

め落魄衷心自からは其悲みを訴ふべき術をだに知らず嗚呼誰れか一掬同情の涙をからんや、而も彼等が東西に漂浪するの間彼の悲惨ある境遇は遂に彼をして其天眞の美性を伸ぶるに由なく、陰險、嫉惡、怠惰、無恥の野性は徒らに其心に増長し來らしめ、加之恐るべき社會の弊風は彼等を誘惑し去る、彼等罪惡の子とあらざらんと欲するも勢ひ止むを得ざるあり、嗚呼可憐の兒童をして茲に到らしむるを思はばこれ實に人道の大恨事にあらざるや

神戸孤兒院は此等可憐兒救養の爲めに其基源を遠く明治二十三年に萌し、今井太右衛門、飯田勇記、土井一郎の諸氏に依てられる貧民救濟會より明治二十六年十月神戸孤兒院と改稱し、爾來苦心經營明治三十四年十月に至り始めて財團法人とあり今日に至る、今左に同院規定、細則摘要、役員並に現況等を掲げ普く慈善家諸君に紹介せんとす

規 定
第一條 神戸孤兒院は社団法人神戸孤兒院より受けたる寄附金壹千圓を以て財産と定め財團法人神戸

孤兒院と爲し第二條の目的を永遠に遂行するものとす

第二條 神戸孤兒院は無告の孤兒及び之れに等しき兒女を收養し且つ之れを教育するを目的とす

第三條 神戸孤兒院は事務所を兵庫縣神戸市に置く
第四條 本院の經費は本院所有の財産より生ずる收入並に有志者の寄贈に係る金銀物品を以て之れを處辨す若し剩餘ある時は第一條財産に編入す

第五條 本院に理事一名を置き事務を綜理せしむ
第六條 理事は第二條の目的を達するため必要なる場合に於ては評議員會の協賛を得て左の處分を爲すことを得

一 本院所屬の動産を以て不動産を買得する事
二 他に不動産を買得したるが爲め従前の不動産を賣却する必要ある時は之を賣却する事

第七條 本院に評議員十二名を置き院務を監督し重大なる事件の協議に預るものとす

第八條 理事は評議員會之れを任免するものとす

第九條 評議員は賛成者中一ヶ年以上引續き毎月金

壹圓以上を寄贈する者をして同金貳拾圓以上を寄贈する者の中より選舉せしめ其任期四ヶ年とし二年毎に半數を改選す 但し退任者を再選するも妨がし

第十條 評議員會は毎年十二月之れを開くものとする 但し理事及評議員に於て必要ありと認めたる時は臨時開會することを得

第十一條 評議員會は半數以上出席するに非ざれば開會することを得ず評議員會の決議は出席員の過半數に依る

第十二條 本規定は本院存續する間は之を變更するを得ず

主務官廳の指令に據り寄付行爲の補則として左の二項を規定す

- 一 寄付行爲を定むる規定第八條理事の任免は議決に依り之を定む
- 二 寄付行爲を定むる規定第十一條可否同數ある

場合は議長の可否する所に依る

細則摘要

第一章 收養及退院

第一條 本院に收養すべき者は十二歳以下の孤兒其他に準すべき者及預兒とす

但事情に依り十五歳未満の者をも收養することあるべし

第二條 孤兒及之に準すべき者は左の事實あるものを云ふ但其事實を認定するには實況を表明するに足るべき證佐に據り證佐なきものは警察署長又は市町村長の證明及戸籍謄本に據る

- 一 雙親を失ひ他に依りて衣食するの道なき者
- 二 雙親若くは片親を有するも家計困難其他の事情あるが爲め養育を受くること能はざる者
- 三 前二項に類推すべき事情ある者

第三條 預兒は本院の主義目的を賛成する者より一定の食費を納め養育の委託を受けたる者を云ふ

第四條 在院者にして左の事實を生ずるときは退院せしむ

- 一 普通教育を卒へ自活し得べしと認めたる時
- 二 未だ前項の場合に至らずと雖も他に生活すべき道を生ぜし時
- 三 既に成年に至るも未だ自活し得べき能力を有せざるか又は天性不良にして到底自活すべき見込みなき等他の慈善事業の救護に移す必要を生ぜし時
- 四 後來養育すべき見込確なる引取人ありたる時
- 五 預兒にして預け人より返還の請求あるか又は本院より返還すべき事實を生ぜし時

第二章 養育

第五條 在院者は之を一家族と見做し理事之が家長となり偏輕偏重の弊なく渾て家族制の方法に依り養育す

第六條 在院者の衣食住は勿論浴湯理髮其他百般の給與品等渾て院費を以て均一に支給す

第七條 在院者病に罹るときは院費を以て醫藥を加へしめ死亡するときは式に依り之を葬る

第三章 教育

第八條 在院者には年齢の長幼に拘らず日々洒掃應對の道を教へ修身道德に關する講話を爲す等専ら家庭の教育を爲す

第九條 在院者の内未だ學齡に達せざる者には院内に於て幼稚園に倣ひたる教育を爲し學齡に達せし者は公立若くは私立學校に通學して普通小學科の教授を受けしむ

但相當見込ある者には猶上級の學科を修めしむることあるべし

第十條 普通小學科を卒業せし後猶在院する者及既に學齡を過ぎ又は學齡内にあるも小學校に通學せしむること能はざる事情ある者等には便宜相當の學科を修めしめ又は其性質に應じ實業家に就きて職業を見習はしめ年長の女兒には院内に於て裁縫を教授す

第四章 資金

第十一條 本院は本院を維持すべき資本に充るが爲め汎く天下の慈善家に訴へ其寄贈する所の金銭物品を受く

第十二條 本院の事業を賛成し毎月賛助金品を寄贈し又は一時金銭物品を寄贈せし慈善家の氏名及金銭物品の員數等は盡く之を帳簿に登録し永く院内に備置き猶第十九條に規定する所の報告を爲す第十三條 本院の資本金を區別して左の三種と爲し各號の下に記する方法に據て取扱ふ

一 基本金

基本金は固定資本にして基本金に指定せし補助金又は寄付金及積立金よりの移入金等を以て成立せしものを云ふ

基本金は永遠に之を貯蓄す

但し本院の爲め不動産を買収若しくは建築費に充用するときは評議員會の決議を経て充當するを得

二 積立金

積立金は経費及臨時費等の豫備に充るものにして年々経費の残餘を移入せしものを云ふ積立金多額と成り経費及臨時費の豫備に充るも猶殘餘有る時は基本金に移入す

積立金は確なる銀行に預入れて保管す積立金を支出する場合は評議員會の議決を要す

三 経費金

経費金は本院の事業に屬する諸費に充るものにして所有財産より生ずる諸收入及賛助金寄贈金慈善函投入金其他の雜入等より成立せし者を云ふ経費金に殘餘を生ずる時は積立金に移入す経費金は凡そ一ヶ月の経費を支るに足る金額を限り理事現金を以て之を保管し他は確實なる銀行に預入れて保管す

第十四條 補助米其他寄贈物品は直に経費の内に使用し一年度を終りて殘餘あれば次年度に繰越し數年度に亘りて猶殘餘ある時は現金に換へ経費金に編入す

役員

(いろは順)

理事 矢野 毅 監督 伊藤 俊介
監事 飯田 勇記 同 鳴瀬 幸恭
評議員 昌中 良介 評議員 神田直五郎

評議員 川本 恂藏 評議員 丹波 良造

同 鍋島 直身 同 山口吉左衛門

同 高津 英馬 同 三城 彌七

現 況 (三十七年十二月現在)

院兒 男子四十二名にして年長十九歳年少二歳、女子四十六名にして年長二十歳年少二歳

地所及建物 地所百五十坪餘にして建坪數八十三坪餘

建物は凡て平屋にして男子部、女子部、幼年部、教室、事務所、應接所、病室、食堂、炊事場等に分つ

養育及教育 温かき家庭の美味に飽かしめん爲め理事

一家族親となりて養育す、學事は高等科八名、尋常科二十七名何れも市立小學校に通學し、中學校一名

盲啞二名京都盲啞院に留學す、學齡内外の者十二名

午前九時より同十二時まで院内に於て教授す、午後一時より五時まで年長女子八名に裁縫を教授す、實業としては川崎造船所へ一名、理髮店へ一名、商業

見習に一名通勤す

賛助員 二千二百七十九人

布引孤兒院軍人幼兒預所

國家事あるの時に方りて忠君報國の大義に殉ずるは其身の面目家門の榮譽あり、されど又顧みて家に留る妻や子や心の哀れを察すれば誰れか一掬同情の涙ながらん、別て幼き子供の俄かに慈愛温かき怙恃に離れて、世は祝勝の萬歳聲裡に惘れ餓と寒さに泣く者あらば、誰か袖手傍觀するの無情に忍びんや、之に於て故院主石原徹眼の多年幾多の辛苦經營に據つて成れる布引孤兒院は夙に之れを悲み、其事業の一として新たに軍人幼兒預所なるものを設け、軍人家族の悲境を救ひ出征の勇士をして後顧の憂なからしめたり、今左に本院事業の摘要を掲ぐ

布引孤兒院摘要

一位置 神戸山本通三丁目七番屋敷ノ一(城ヶ口説教所のうしろ)

布引孤兒院 本院は頼む所なき可憐の孤兒貧兒を收容し父母に代りて之を教養す

一事業 軍人幼兒預り所 本院は臨時救護として軍人幼兒預所なるものを設け出征軍人の家族にして幼兒の手足纏となり家業に従事する能はざる者を

して自由に労働せしむるため其幼児を預りて之を保育す(家族にして職工場等に通勤の方は晝間のみ預けらるゝも差間なき者とする)

一 教養 院児の保育は遊戯又は唱歌其他適當の方法を設く學齡に達したる者は小學校に通はしめ普通教育を授く尙ほ見込ある者は進んで高等の學藝を得せしむ

一 維持 慈善家諸君の寄附金品及び賛助會員の月次獻金を以て維持す

一 院報 時々院報を發行し本院の成績及び金品の寄贈等を掲げ之を社會に報告す

一 組織 本院には顧問數名理事一名會計一名事務員保母若干名を置く

一 入院 孤兒及び軍人幼兒の入院に就ては信用ある者の紹介に依り本院に於て養育の必要ありと認むる者は收容す本院中相當の年齡に達し自營の途を得るか又は引受人の生じたる時は退院せしむ而して顧問及理事は

顧問 實教寺 鷲尾周成 顧問 西寺寺 司田周道

顧問 善立寺 松岡道隆 顧問 大仙寺 圓山慈教
同 善照寺 佐々木祐誓 理事 善照寺 佐々木祐言
内外科醫士 施療施藥士 平原貞吉

現在院児數は左の如し
軍人幼兒十三人、内男八人、女五人
(年長四歳年少一歳)

一般孤兒十八人、内男十一人、女七人
(年長十四歳年少二歳)

神戸市報國義會

神戸市報國義會は俄に泣く可憐なる貧兒の養育、世の逆風に病める貧民患者救療の目的を以て、遠く明治二十五年八月小會根喜一郎に依つて設立せられ、舊と兵神明道協會と稱へ後神戸市報國義會と改稱せらる、今左に位置、事業、維持方法、其他常設幹事、賛助員等各項を逐ふて之を摘録す
位置 荒田町四丁目五十四番地舊湊川堤防に在りて境内廣く樹木蒼々空氣清明之れ實に兒童救養患者保療の好適地なり
事業 育兒院及施療院の二つに分ち育兒院には貧民幼

兒を收容し養育主任、保母長、教員、保母等ありて家族制度を以て之を養育し乳兒は院外保母に托し學齡兒童は各學校へ通學せしめ且夫々適當なる職業を課し彼等をして他日の自營自活の途を習熟せしむ而して其院児數は左の如し

合計 五十八人 (明治三十七年十一月現在)

内 譯

貧兒孤兒 男子 十四人 女子 十二人
遺兒棄兒 同 八人 同 十六人
恤救人 同 一人 同 二人
救護者 同 四人 同 二人

施療院は囑托名譽醫師、有給醫師、囑托藥劑師、藥劑師、看護婦等を置き貧民患者の入院又は其往診に應ず而して目下の收容者は男二人女二人にして外來患者は一日平均百餘名に及ぶと云ふ

維持方法 御下賜金、縣費補助金、指定寄附金は之れを基本金とし、之れより生ずる利子、市より受くる處の棄兒養育料、救護費、其他通常寄附金を以て經常費に充つ

常設幹事 佐々木源祐

賛助員數 三十七年十一月現在八百八十餘人

救民院慈善會

本院は貧民の救助、惡少年の感化、及孤兒貧兒の救養等の目的を以て院主井手豊次に依り明治三十一年十一月兵庫大開通附屬十三番屋敷に於て設立せらる、今左に其事業、維持方法等に付摘要を掲ぐ

事業 學齡兒童をして各小學校に通學せしめ未だ學齡に達せざる六歳以上の兒童に對しては各其程度に従ひ學科を教授し且つ餘暇に際しては相當の業務を課し以て彼等をして成年後に於ける自活の途を收得せしむ

維持方法 一般の義捐金、賛助員の月次寄附金其他本院附帯の事業より生ずる純益金を以て之に充つ
會員 百圓以上の金品を寄附せる者を有功會員、一時金五拾圓以上若しくは毎月五拾錢以上の金品を寄附せる者を特別會員、一時金拾圓以上若しくは月次定額金の品を寄附せる者を正會員、隨時金品の寄附をなす者を賛助會員とす

卅七年十一月現在の收容者六十餘名あり

神戸養老院

老ひたる父母の愛子に別れ、頼るに人なく據るに家なき、而も前途一點の光明なき悲哀の極に陥りたる悲痛慘澹の生涯に彷徨ふものに思ひ至らば、誰か同情の紅涙に袖を濕さるものあらんや

今や育児事業は天下の同情を引き、本市に於ても尙前迹の如く二三孤兒院の創設を見るの幸運に向ひしと雖も養老事業に到ては殆ど之れを顧るもの莫らんとす、之の時に方り神戸養老院は此等無告の孤老を扶助するの目的を以て、明治卅六年六月寺島信恵外十二名の同情厚き志士に依り設立せられたり、今左に院則を擧ぐ

第一章 總則

第一條 本院は神戸養老院と稱す

第二條 本院は自活し能はざる無告の老人を扶助するを以て目的とす

第三條 本院を兵庫縣神戸市下山手通四丁目番外十三番屋敷に置く

第四條 本院の維持は社員の出金並に慈善家の寄附

に依る

第二章 資産

第五條 本院の資産は社員の出金及慈善家の寄附に係る金品其他本院の事業上より生ずる一切の収入を以て組成す

第六條 本院には寄附原簿を備へ寄附者の氏名及金品を記載し永久之を保存す

第七條 本院は毎年二月前年の收支計算表及前年末日に於ける財産目録を作製し之を院内に備へ置くものとす

第八條 本院の所有金券は確實なる銀行に預け入るものとす

第三章 社員及賛助員

第九條 本院の目的を賛成し毎月金拾錢以上又は一時金拾圓以上を出金するものを社員とす

第十條 本院の目的を賛成し其事業を補翼するものを賛助員とす

第十一條 社員たらんとするものは毎月出金額を記し其氏名住所を院長に申込むべし

第十二條 社員にして故なく其義務を盡さるときは評議會の決議を経て名簿より削除することあるべし

第四章 役員及事務員

第十三條 本院に左の役員を置く但し役員は無給とす

院長 一名 理事 三名 評議員 十名

第十四條 評議員は總會に於て社員中より選舉し院長及理事は評議員會に於て選定す役員任期は二ヶ年とす

但し再選を妨げず

第十五條 院長は院務を綜理し外部に對し本院を代表す

第十六條 院長は評議員會の意見を聽き諸規則を制定することを得

評議員會に關する規則は評議員會之を定む

第十七條 本院に左の事務員を置き有給とし院長之を任免す

書記 若干名 看護人 若干名

第十八條 書記は役員の指揮を受け庶務に従事す看護人は役員の指揮を受け看護に従事す

第五章 總會

第十九條 本院は毎年二月總會を開き本院の事業成蹟會計に關する報告役員選舉及必要の事項を議決す

第二十條 總會は院長之を招集し議長は院長自ら之に當るものとす

第二十一條 總會の議事は出席社員の過半数に依て之を決す可否同數なるときは議長の決する所による

第二十二條 院長に於て必要と認めたるときは臨時總會を招集することを得

評議員三名以上又は社員三分の一以上より會議の目的事項を示して總會を請求したるときは院長は二週間以内に必ず之を招集すべし

第六章 補則

第二十三條 本院は資金壹千圓に充つるを俟て財團法人設立の寄附行為を爲すものとす

第二十四條 前條に依り主務官廳の財團法人設立の許可を得たるときは其資産の全部は財團法人に移囑するものとす左の如し

附則

第二十五條 初期の役員任期は評議員會の決議を経て第十四條の規定に依らざることを得

- 院長及役員は左の如し
- 院長 長寺 島 信 恵 理事 寺石 野 さ よ
- 理事 寺丸 井 ま き 同 三瀬 千 鶴 江
- 評議員 原 田 助 評議員 葉 若 雄 次
- 同 西村 兵 次 郎 同 渡邊 英 三 郎
- 同 吉 川 龜 同 横 田 と み
- 同 松 井 文 彌 同 小 磯 吉 人
- 同 寺 島 信 恵 同 宮 本 良 太 郎

役所其他地方より收容方の依頼あるも家屋狹隘の爲め之れに應ずることを得ざれば、今回更に擴張し此等收容者をして遺憾なからしめんとの計畫ありと聞く

學資支給會
本會は學資不足の爲め其志を遂ぐることを能はざる有望の苦學青年へ對し、學資補助の目的を以て明治三十四年三月會主守屋正吉、松浦伊七郎に依り設立せらる、左に所在地施設方法につき摘述す

所在地 本會下山手通八丁目百七十八番屋敷の三、夜學部下山手通八丁目百八十三番の二

施設方法 苦學青年救済の爲め彼等をして毎朝通學時間前に於て新聞配達、牛乳配達等をなさしめ以て學資を補助し尙無月謝夜學部を設け諸學科を教授せり

慈善夜學會
慈善夜學會は家貧にして就學し能はざる者、晝間餘暇なくして就學の途なき者に對し、廣く教育の普及を計らんが爲め、高橋寅松により明治三十二年十一月長田村西野尋常小學校内に設立せらる

會長は西野尋常小學校々長三木恒松にして、其の維持

方法は特志者の寄附金を以て之に充て目下の賛助員四十五名なりと云ふ

兵庫縣出獄者保護會愛隣館

兵庫縣出獄者保護會愛隣館は出獄者に對し自營獨立の途を與ふるの目的を以て、明治三十年十二月村松淺四郎外二名により設立せられたるものにして左に其設立の趣旨、規約及役員氏名を掲ぐ

趣旨

犯罪は犯罪を擧げ、犯人は犯人を生み、初犯は再犯を誘ひ、滔々として洪水の如く、毒毒の蔓延は愈々出で、愈々甚しく殆んど停止する處を知らざるは現今世界の状態にして國家人民は、之れが爲めに損せらる、事非常なるは敢て多言を要せざるなり、國家は之に對して、強大なる刑罰權を有すと雖も、此權力を行使せんが爲めに空消する處約年貳千萬圓、實に帝國政費中の巨額なるもの、一に居る、所謂盜人に追殺なるものにして是を負担せる我等國民は輕からざる二重の損失を爲すものなり

凡そ犯罪の原因たる二三に止まらずと雖も全般を通

するものは心意の不良にして多數を貫くものは生計の不安とす、監獄の制、犯人の懲戒に就て、其效固より大なりと雖も一度刑期を過ぎて獄を出づるの犯人歸るに家なく求むるに職を得ずんば一度悔悟したる彼等も遂に再び罪を犯すの止むなきに至るべく恨を呑んで再犯又三犯益々良民と遠ざかりて相仇敵視し全く救済すべからざるの境に沈淪するもの多きは現時の實況にして英米兩國に比し三倍率の犯罪者を有し百人の犯罪者中七割の再犯者を有せる我帝國の統計は一般良民が彼等に對して殊に冷々淡々たるを證明して餘あり之れが爲めに失はざるべきを失ふて自ら損し救ひ得べきを救はずして人道に背くの勝を享く吾人茲に視る處あり微力固より當らずと雖も歐米先進の法に倣ひ即ち本會を設立し別記規約に據り出獄者の依るに所なきものを保護し職を授けて生計を安全ならしめ樂役の内訓戒を加へて曩に受けたる苦役中の懲戒と相照應せしめ以て心意の不良を矯正し再犯を豫防して一面吾人の損失を減少し一面彼等の墮落を救済せんとす、仰ぎ望むらくは大方の諸賢徴

衷を察し應分の助力あらんことを

第一章 總 則

第一條 本會は愛隣館と稱す

第二條 本館は兵庫縣監獄の囚人中改悛の實跡顯著なる者及び將來改悛の見込ある者にして刑餘依る所なき出獄者に保護を與へ獨立自營の途を得せしむるを以て目的とす

第三條 本館の事務所は神戸市山本通五丁目二十八番地に置く

第四條 本館の維持は廣く慈善家の義捐金、會費及被保護人の勞銀とを以てす

第二章 會 員

第五條 會員を分ちて左の二種とす

一 終身會員 本會に功勞あるもの若くは一時金參拾圓以上齎出したるもの

一 正會員 毎月金拾錢以上又は一ヶ年金壹圓以上を齎出するもの

隨時金品を寄贈するものを賛助員とす

第三章 役 員

第六條 本館に左の役員を置く

一 主 事 一 名

一 評議員 七 名

但臨時増減することを得

第七條 主事は被保護者と疑食を共にし直接に感化教導の任に當る

第八條 評議員は主事を補佐し本館重要な事項を審議す

第九條 本館會計及庶務を處理する爲め評議員中より理事二名を互選す

役員及會員數

主 事 村松淺四郎 評議員 岩本麻次郎
評議員 岡本利兵衛 同 中村平三郎
同 野添宗三 同 宮本良太郎
同 白石米太郎 同 岡留岡幸助
同 長田時行 同 田 中
會 員 八十六名 賛助員 十三名
而して明治三十一年九月より同三十七年三月末に至る

間保護せし人員は次の如し

合計 二百三十二名

内 譯

現在寄留せる者 十三名

本會を退き一家を持せし者 二十四名

親族に復歸せし者 十一名

本會を退き奉公せし者 七名

行衛不明なる者 十五名

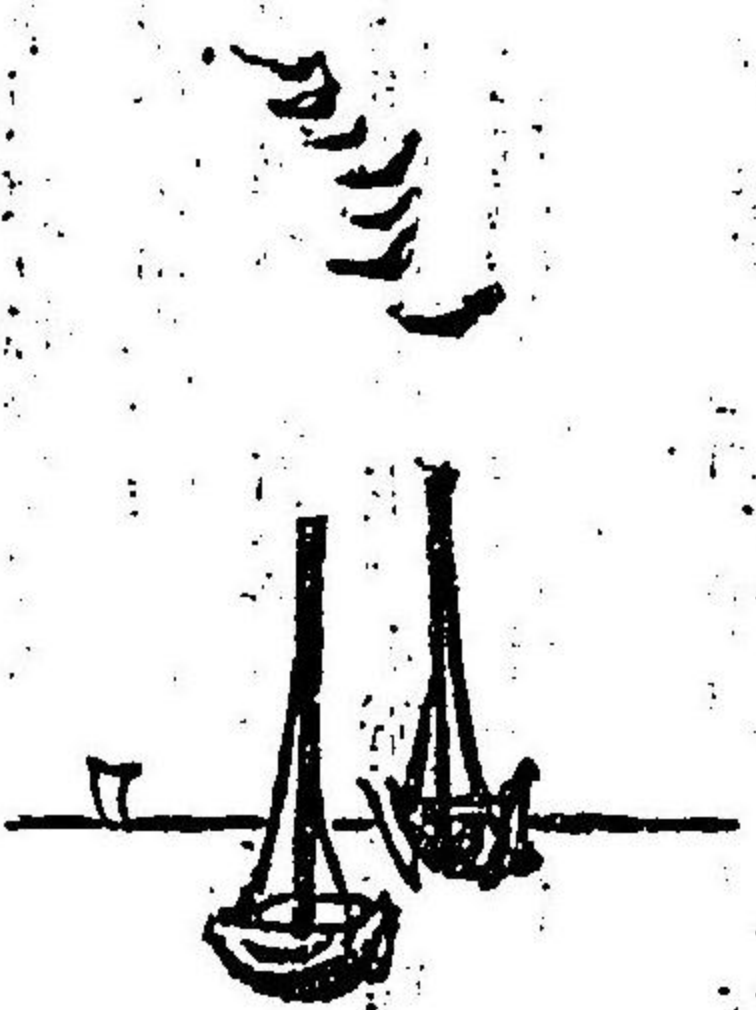
死亡せし者 四名

本會を無断にて退去せし者 四十六名

入監せし者 十二名

實業なれ、適度なれ、然らば汝は健康ならん

(マンナミン、フランクラン)



第五章

第四十四節 湊川改修と敏馬の海陸聯絡工事

湊川改修工事

舊湊川は神戸兵庫兩衛の中間に介立し爲めに連絡交通を阻碍し人情をして殊異疎隔ならしむ加之該水源たる多くは禿嶺なる山脈に屬すれば降雨毎に多量の土砂を吐出し良港をして埋没狹隘ならしめ其害の及す所甚鮮少ならず於之河川付換の必要は起り早くも明治十七年九月北風正造外六名、亞で二十年九月藤田傳三郎外六名は河川付換の義に付出願せり、然れども翌二十一年一月該出願に對し知事より工費補助の義詮議に及び難く私費起工の見込あれば更に出願すべしとの指令ありたるに依り願人等は更に協議設計を遂げ同年三月再び私費付換起工の義を出願せり、爾來歲月の經過に伴ひ年々歳々其必要は迫り願人更に増加し二十九年四月小曾根喜一郎外二十二名重で出願するに至れり、同年十

二月之れが許可の指令下り三十年八月湊川改修株式會社は設立せられ其の年十月遂に新川掘鑿に着手し三十四年八月全く新湊川付換工事の竣功を告げたり其工事豫算費額は

工費 金九拾九萬五千九百貳拾四圓餘

諸經費 金參萬五千圓

豫備費 金九萬九千貳百七拾九圓餘

海面埋立及積地開墾費 金拾四萬八千拾八圓餘

計金百貳拾七萬八千貳百貳拾壹圓餘

にして、該改修によりて生ずる所得地面積計畫は

丘狀地 二萬四千三百二十一坪餘

内

道路溝渠潰地 長四百三十間 一千五百五十四坪

同 長三百卅三間 六百九十九坪

差引殘 二萬一千四百六十八坪餘

切下地 四萬二百八十坪

内

道路溝渠潰地 長六百四十間 四千二百坪

同 長百七十七間 千六十五坪

同 長四百五十三間 千八百七十二坪

鐵道線路 長五十四間 三百坪

差引殘 三萬二千九百三坪

以下川尻地

五千六百六坪餘

内 道路溝渠潰地 長百十八間 九百四十二坪

差引殘 四千六百六十四坪餘

所得地合計 五萬九千三十六坪餘

今左に小曾根喜一郎外二十二名に係る出願書を勝ぐ

湊川付換之儀に付願

兵庫縣神戸市内湊川の義は其水源多くは禿嶺なる山脈に屬し降雨毎に多量の土砂を流世し日月の久しき漸次に堆積して平地を抜くこと殆んど二十尺終に現今の長大なる丘陵形を顯出し以て神戸兵庫間の市街を遮隔し交通運搬の便を妨ぐるに止まらず流出の土砂は神戸港灣内に沈澱し日を逐て填埋の害を與ふること最も甚しとす抑神戸市現今の繁榮は三府に亞ぎ五港に冠たるの景況を呈するに至れり然るに其繁榮を迎ふるの門戸たる港灣に於て眼前斯る状態なるに

も拘らず之を忽諾に付するは當に神戸市の繁榮を將來永久に維持すること能はざるのみならず延て國家の進運にも關係すべき重要な事たるは一般公衆の認知する所既に實際の輿論學理的の論言共に前數年以來湊川付換の一點に歸着する所なり即ち去る二十年九月三日付を以て藤田傳三郎外六名より本川付換の義出願仕候處二十一年一月十六日付にて該出願に對し「工費補助の義は難及詮議私費起工の見込あれば更に出願すべし」との御指令を得たるに付願人等協議を遂げ多少設計を改めて尙又二十一年三月二十八日付を以て私費付換起工の義出願仕置たる義に御座候

然る處客年一月三十一日付にて願人追加上申中にも粗上陳仕置たる通爾來歲月の經過に隨ひ義に出願の當時に比し實地の景狀著しく變遷し前兵庫西柳原町に山陽鐵道停車場を設置せし以來は諸工場等相踵て興り頻々繁榮に赴き僅に數年を出ずして戸口蕃殖し尙漸次西部の地に及ぶの趨勢なり是れ即今回八郡郡林田村等を以て神戸市に編入相成し次第なるに付熟

ら將來永遠の長計を積ふるに前願の新川線路たる最早今日に至りては適當と云ふ可からざるに依り種々必要の調査を経て別紙設計書及圖面の如く變更し神戸市の内長田村に於て荻藻川に合流せしめ其以下流未間を河身取擴め以て付換の設計に變更致度是れ今般出願の要點第一に御座候

將又付換後の舊湊川に於る前願の設計は過半堤防の形狀を存するの計畫なりしも右にては交通の利便未だ以て完全と云べからざるに付是亦別紙圖面の如く第十一號即ち新橋以下堤防を撤却し平地と均一に切下げ以て一層利便を謀るの設計に變更致度是れ出願の要點第二に御座候

尙又湊川尻の沿岸一帯の海面は右付換事業に連帶し之と同時に水面埋立を爲し併て官有濱地を開墾し埠頭を築き倉庫敷を設け且縱横に道路を開通して船舶の繫留貨物の搭載等大に貿易の便利に供せんとす尤も本件は別途出願致し置たるに付本願と同じく御許可相成度是れ出願の要點第三に御座候右の外尙左に列記する所の各項は既に前願にも陳述仕置候通湊

川付換起工に於て一も缺く可からざる要件に御座候

一、新川床及堤防敷又は道路、溝敷にして官有地に屬するものは其儘地目官有地に變換被成下度事

一、新川床及堤防敷、道路、溝渠にして民有地に屬するものは明治二十二年法律第十九號に依り土地收用の義許可を受く可き事

一、湊川付換に付ては舊川敷及堤防敷の内道路溝敷は其儘地目を變換し其殘地は總て現形の儘神戸市に無代下付の上工事施行の廉に依り更に神戸市より當會社へ無代下付を受くる事

一、湊川尻東出町地方の陸海軍用地及普通官有地の内新道及溝渠の施設を要するに付右道路溝敷に係るものは地種目變換相成度事

以上之の願意夫々格段の御詮議を以て特に御許可相成度右御許可の上は湊川改修株式會社を設け該圖面及設計の通起工致度依て別紙關係圖書相添此段奉願候也

以下圖面竝に別紙は省之
改修事業に伴ひ湊川尻即ち東川崎町及東出町地先水面

埋立をなし卅年八月之れが工事に着手し同年十二月全く竣功せり而して其得たる坪數は五千九百三十二坪餘にして内四千二十一坪餘は税關用地に供するの目的にして該工事業費豫算額は金六萬五千貳圓餘あり尙以上の外明治二十九年三月出願に係る荷物搭載の便に供する宅地造成の目的を以て湊川尻地先公有水面五千九百七十八坪餘の埋立工事に對し三十五年九月認可指令ありたり

舊湊川河川塘堤敷總じて七萬九千八百三十三坪餘の内税關用地、國道敷地、縣道敷地、里道敷地、溝渠敷地、神社敷地及山陽鐵道線路等官有他に編入せらるゝものを除き殘五萬八千三百九十九坪は湊川改修株式會社へ下付せられ同會社は之れに對し明治三十五年七月切均設計認可を出願し同年九月許可せられたり而して該切均工事仕様書は左の如く工費豫算額は金拾五萬參千四百拾壹圓餘あり

- 一、本工事は別紙計畫圖の如く舊新橋通より十六間四分一厘を上りたる點(五十八領は十六節一)より以下川尻に至る間は兵神兩市街地と平準に切下げ

圓點(五十八領は十六節一)より第五十三領に至る間は全體十五分の一の斜面に切取り其れより以上は舊河身を埋立て左右堤塘と平準ならしむるものとす(圖面略す)

一、堀鑿總土坪は六萬八千七百五十坪五合三勺にして内二萬四千四百七十八坪四合九勺は五十六領三節以上の河身埋立し一萬五千七百七十七坪八合九勺は本社付帶工事たる海面埋立工事に其他四千八百四十八坪三合四勺は第百十二領以上の河身埋立に使用し殘土は海上二海里を隔つる沖に投棄するものとす但一領は十間を云ひ一節は一領の百分の一を云ふ

一、堀鑿は先兩堤防より始め川床と殆んど同高に至りたる後川敷堤敷全體に亘りて切下げ甚しき高低を生せざる様注意施工するものとす

一、切均地にして在來道路(若くは橋梁)に近接せるヶ所は其前後に於て交通上差支なき時に至りて切下を施行するものとす

一、本工事切下箇所にして民有地に接するヶ所は土留石垣を築造す

- 一、工事中に於ける排水方法は随所適宜の方法を以て民有地に流出せざる様施行するものとす
- 一、切均工事中近傍民家の交通に關しては更に支障なき様施行するものとす
- 一、松尾神社は其境界に於て土留石垣を築き且鳥居前の石階段を設くるものとす
- 一、本切均地に存在せる電信、電話、水道其他公私設物の移築又は取除に關しては其關係者に妥協し支障なき様施工するものとす
- 一、本工事は御認可の日より二ヶ年以内に成工するものとす

敏馬の海陸聯絡工事

該工事は貨物運輸の便を大ならしめんが爲め東海道線より分岐して神戸税關構内に達する鐵道布設工事を云ふ

位置及設計 東海道線住吉、三宮兩驛の中間を起點とし武庫郡西灘村よ、岩屋村を経て神戸市葺合部を斜に海岸に貫き脇の濱海岸、生田川裾を縫ひ之れより一都海中に入り神戸税關構内に達す、此間距離約二哩半とす

す線路は將來複線となすの計畫ありと雖も目下のところ橋梁築堤を除くの外は單線とす而して其線路の大部は市街を通過せるが故將來に於て平面工作を避け且つ行通の安全を圖らんが爲め總じて道路上を通過せしむ則ち一種の高架鐵道様のものにして其最も高き箇處は二十五六尺に及ぶ且つ主なる橋梁は概して道路を斜めに渡れるがゆへ之れ亦特別の設計を要したり是等は該工事の普通工事を異れる所あり

工費 豫算總額百貳拾萬圓にして是れ迄既に要せし費額は三十五年度に於て貳拾四萬參千餘圓、三十六年度に於て五拾四萬八千餘圓、三十七年度に於て見込額貳拾萬圓餘なり、尙此工事以外に用地買収並に家屋移轉料費額六拾七萬圓餘を要したり

工事 三十五年四月測量に着手す元來該工事は其距離至つて短きも市街の一方を通過せるが爲め山間の工事と其趣を異にし多數の日時と多額の費用とを要せるなり先づ線路にあつては撰定上三ヶ處の比較線を探りて審査の結果現今起工の線路に決定せり、それより土地買収に着手せしは同年八月にして買収の全く結了せし

第四十五節 市内に於ける

大建築物

○兵庫 縣 廳

所在地 下山手通四丁目 敷地坪數 二、七四〇坪

建坪數 八八一坪 棟 數 一棟

層 數 三層

室 數 階上二八、階下二九、地下二四

建築材料 基礎コンクリート、石煉瓦混用、屋根石版銅板葺

工 費 三四三、九九五圓

起工年月 三十二年一月 竣工年月 三十五年五月

設計技師 工學博士 山口 半六

工事擔當技師 兵庫縣技師 秋 吉 金 徳

○神戸地方及區裁判所

所在地 橋通二丁目 敷地坪數 四四五五坪

建坪數 六〇〇坪 層 數 三層

室 數 階上二一、階下三三、地下三三

建築材料 煉瓦、瓦、石版銅板葺

工 費 三五三、六三三圓

起工年月 三十七年三月 竣工年月 三十七年三月

主任技師 工學士 河 合 浩 藏

は三十六年の末あり、工事は左の三工區に分ちて起工し三十八年三月迄に落成の豫定なりしも事務局の爲め目下中止の已むを得ざるに至れり

第一工區 は分岐迄に於て荷物停車場を設け其埋立坪數二萬餘坪にして東海道線の蜿蜒せるもの、付換工事暗梁の長大なるもの三四ヶ所及小野濱に通ずる支線の東海道線軌道下通過工事等之れに屬し三十六年八月の着手に係り地上建築物を除き橋梁土工等は三十七年十一月全く落成したり

第二工區 は停車場を出る處零哩三十五鎖より一哩五十二鎖則ち新生田川橋梁に至る間の工事に於て三十七年一月の着手に係り橋梁其他土工に屬するものは同年十一月落成を告ぐるに至れり

第三工區 は新生田川橋梁より終點に至る間に於て専ら海中の工事に屬し全然落成を見るに至らずして中止せり

以上通じて全工事の三分の二は落成したるものと見て可なり (卅七年十二月筆記)

○神戸税務監督局及神戸税務署

所在地 下山手通六丁目 敷地坪數 四〇四坪
建坪數 一一二坪 層數 三層
建築材料 煉瓦及石 起工年月 三十二年八月
工費 四二、三三三圓但附屬建築物共
竣工年月 三十三年六月
設計技師 兵庫縣技師 秋吉金徳

○神戸郵便電信局

所在地 榮町通六丁目 敷地坪數 八九八坪
建坪數 五九七坪 棟數 十六棟
層數 二層及三層 工費 〔舊建物 六一、八八四圓
〔新建物 一九、八九〇圓
建築材料 煉瓦及木材 起工年月 〔舊建物 二十六年六月
〔新建物 卅七年六月 竣工年月 〔舊建物 二十八年十二月
〔新建物 三十八年二月
設計技師(新) 吉井遜信技師
請負人(新) 河尻五平

○神戸病院

所在地 楠町七丁目 建坪數 一、八三二坪
工費 九、二五四圓 起工年月 三十二年六月
竣工年月 三十四年四月
工事擔當技師 兵庫縣技師 秋吉金徳

○神戸中學校

所在地 苅合村 建坪數 八六一坪
工費 六六、九二九圓 起工年月 二十八年六月
竣工年月 三十五年三月
工事擔當技師 兵庫縣技師 秋吉金徳

○神戸高等商業學校

所在地 苅合町筒井村 敷地坪數 一一、五六七坪
建坪數 一、四八八坪 棟數 三十五棟
層數 二階建及平屋 建築材料 煉瓦及木造
工費 一八五、四〇〇圓 起工年月 三十五年六月
竣工年月 三十六年七月
設計技師 文部技師 久留正道
工事請負人 貞永省三 田村市介
河尻五平 大溝傳兵衛

○御影師範學校並附屬小學校

所在地 武庫郡御影村 建坪數(師) 二、八二七坪
工費 二二八、四六三圓 起工年月 三十二年六月
竣工年月 三十四年四月
工事擔當技師 兵庫縣技師 秋吉金徳

○高等女學校

所在地 中山手通五丁目 建坪數 一、〇五四坪
工費 六六、六三三圓 起工年月 三十三年七月
竣工年月 三十六年四月
工事擔當技師 兵庫縣技師 秋吉金徳

○工業學校

所在地 塚本通八丁目 建坪數 三九三坪
工費 四七、七七四圓 起工年月 三十六年七月
竣工年月 三十七年三月
工事擔當技師 兵庫縣技師 秋吉金徳

○神戸商業學校

所在地 楠町七丁目 建坪數 八二四坪
工費 三六、九八六圓 起工年月 三十二年六月
竣工年月 三十四年八月
工事擔當技師 兵庫縣技師 秋吉金徳

○相生橋警察署

所在地 相生町一丁目 建坪數 三五八坪
工費 三六、二八五圓 起工年月 三十四年六月
竣工年月 三十五年十二月
工事擔當技師 兵庫縣技師 秋吉金徳

○兵庫警察署

所在地 濱崎通一丁目 建坪數 三〇九坪
工費 三五、六四〇圓 起工年月 三十三年十二月
竣工年月 三十四年五月
工事擔當技師 兵庫縣技師 秋吉金徳

○神戸俱樂部

所在地 加納町六丁目 建坪數(二階建) 一六九坪
層數 二階及平屋 棟數 二棟
室數 二階四、階下一六 建築材料 石及煉瓦、檜亞米利加松
起工年月 二十三年一月 竣工年月 二十三年十二月
設計技師 エー、エヌ、ハンセル
請負人 草場卯三郎

○横濱正金銀行神戸支店

所在地 榮町通三丁目 建坪數(本館) 九七坪
層數 二階 倉庫、一三坪
建築材料 石及煉瓦 棟數(倉庫、四棟) 一棟
起工年月 二十八年二月 竣工年月 二十九年十二月
二六七

設計者 大阪市北區會根崎 茂 庄五郎
 工學博士 山口 半六
 請負人 明治工業會社

○三菱合資會社神戸支店

所在地 相生町一丁目 敷地坪數 八二二坪
 建築坪數 二七〇坪 建築材料 石材、屋根銅板
 起工年月 三十年四月 竣工年月 三十三年十月
 設計技師 工學博士 會根 辰藏

○香港上海銀行神戸支店

所在地 海岸通二番 建築坪數(本館、二八五坪、附屬 七八坪)
 建築材料(石材は徳山石、木材の重なるものは日向松、米利堅松及びチーク、床梁の重なるものは階下階上共鋼筋にして屋根は石版葺)
 起工年月 三十三年七月 竣工年月 三十五年十二月
 設計技師 エー、エヌ、ハンセル
 建築請負人 小池 岩吉

○住友銀行神戸支店

所在地 榮町通一丁目 敷地坪數 三五八坪
 建築坪數(本館 一三五坪、附屬家二九坪、金庫一六坪、機關室五坪)

棟數 五棟
 建築材料 小砂利、セメント、煉瓦、木材、石、鐵、瓦
 起工年月 三十五年五月 竣工年月 三十五年十二月
 設計技師 野口 孫市

○三井物産合名會社神戸支店

所在地 海岸通三丁目 敷地坪數 一〇二坪
 建築坪數(本館 八二坪、附屬 一三坪、土蔵 六坪) 層數 三階(本館)
 建築材料 煉瓦、セメント其他 起工年月 三十年 竣工年月 三十二年五月
 設計技師 鈴木 工學士

市内の建築物中此處に掲げたる一部のものより上位にあるもの尙多ありと雖も、取調の都合上本版は之れに止むるものあり

第四十六節 市の水道現況

神戸市に於ては從來浄水の水源は單に布引にのみを求め北野浄水構場與平野浄水構場の二ヶ所に於て濾過し來りし市民一日の使用量は四十萬立方尺即約六萬石を要す然るに流量は水枯れの時は僅かに廿萬立方尺

即ち約三萬石に下ることありて其使用の半數に過ぎざるより今回更に擴張し島原よりも給水することあり工事は三十八年三月末に於て略ぼ落成するに至りたり而して此工事の竣工と共に市内一般略ぼ遺憾なく給水し得らるゝに至り船舶の給水も尙水道に據つてなすの計畫となれり今左に參考に資せん爲め水道工費、水道給水一覽、並に給水規則摘要等順次之を掲ぐ

工費	總額	參百五拾五萬四千四百圓
公債募集額	參百參拾萬圓	
國庫補助額	九拾八萬圓	
敷設費	貳拾四萬圓	
經常費	七拾四萬圓	
市補助額	五拾萬圓	
敷設費	拾四萬圓	
經常費	參拾六萬圓	
雜收入	拾萬貳千四百圓	

工費總額に對し剩餘金額は維持費及公債償還費に充つ
 水道給水一覽 (三十七年十二月末日現在)

量	計		公用		私計		放	
	船	船	官	官	私	私	任	任
船	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
水	量	量	量	量	量	量	量	量
	數	數	數	數	數	數	數	數
	六〇三九	一一二七四	三三九三	一五六一	二二九二	六四九	三三三	七三三
	六〇三九	一一二七四	三三九三	一五六一	二二九二	六四九	三三三	七三三

其	戸数	1,651	料	4,400
他	水量	3,574	料	1,760,000
計	戸数	2,061	料	4,400
合	水量	6,297	料	1,760,000
計	戸数	3,374	料	5,160,000
公設共用栓	戸数	3,374	料	5,160,000
等級	戸数		料	
一等	36	料	4,400	
二等	96	料	1,760,000	
三等	273	料	4,400	
四等	225	料	2,520,000	
特等	330	料	9,000	
例外	56	料	1,000	
計	6,297	料	1,000,000	
私設共用栓	戸数	3,374	料	5,160,000
等級	戸数		料	
一等	141	料	4,400	
二等	1,134	料	2,520,000	
三等	1,101	料	5,160,000	

四等	1,651	1,760,000
特等	1,424	9,000
計	6,297	1,000,000
公設私設共用栓	戸数	1,331
料	5,160,000	
総計	戸数	2,010
料	1,000,000	
以上各等級は家賃の高低に準じ之を定む		
放任戸数内訳	戸数	家族戸数
五人迄	5,977	14,847
六人迄	4,433	15,547
七人迄	4,033	16,647
八人迄	1,767	17,747
九人迄	667	18,847
十人迄	267	19,947
十一人迄	133	21,047
十二人迄	67	22,147
十三人迄	33	23,247
三十七年自四月間給水料調定額		

計量 49,945,445
放任 3,650,000
共用栓 1,233,333
計 1,059,277

水道給水規則摘要

第五章 水料及徴収

第三十二條 放任給水料は一戸人員五人迄一ヶ月五拾五錢其以上一人を増す毎に金九錢を加ふ
給水栓を増設したるものは一個に付一ヶ月金拾七錢五厘を増徴す

第三十三條 計量給水料は左の如し

- 一 營業用(湯屋を除く)及官衙、公署、病院、學校、會社及第二條第二項の二に該當するものは一ヶ月消費高百石迄は金八拾錢とし其以上は一石に付八厘の割
- 二 湯屋用は一ヶ月消費高四百石迄は金貳圓とし其以上千石迄の一石は五厘の割、千石以上の一石は四厘五毛の割
- 三 船舶、工事其他臨時の所用に充つるものは一石に

付着金の割

一 噴水、庭池、園圃等に使用するものは一石に付着金の割

第二十四條 共用給水料は左の如し

- 一 等一ヶ月金拾拾錢
但家賃額一ヶ月六圓以上八圓未満の家屋に居住するもの
 - 二 等一ヶ月金拾錢
但家賃額一ヶ月四圓以上六圓未満の家屋に居住するもの
 - 三 等一ヶ月金拾五錢
但家賃額一ヶ月貳圓以上四圓未満の家屋に居住するもの
 - 四 等一ヶ月金拾錢
但家賃額一ヶ月貳圓未満の家屋に居住するもの
- 第三十五條 家賃額八圓以上の家屋に居住し又は市内に地所家屋を所有し若しくは所得税を納むるものにして一家専用の給水装置を爲し難き事情あるものは特に共用栓より給水を受けることを得其水料は一ヶ月

四拾錢とす

第三十六條 前二條の家賃額は水道部査定する所に依る
 第三十七條 放任給水を受くるものにして牛馬を所有するときは牛馬各一頭に付其水料一ヶ月拾五錢を徴す
 第三十八條 水料は毎月十日迄に其月分を水道部に納付すべし
 但第四十條第二項に依る水料は翌月十日迄に納付すべし

第三十九條 放任給水料は其月一日の現在人員給水栓數及牛馬頭數に據り、共用栓給水料は其月一日の現在資格に據る
 放任給水又は共用栓給水の使用を始むるとき及給水栓増設の場合に於ける水料は月の十五日以前ならばは全月分十六日以後なるときは半月分を其請求當時の現在人員給水栓數牛馬頭數又は資格に據り直に納付すべし
 但月の中途に於て人員其他資格等に異動の生ずるも給水栓増設の場合の外は水料を増減せざるものとす

月の中途に於て給水を停廢するも其月の水料は返付せず

第四十條 計量給水料は給水の初に於て水道部の見積料金を豫納すべし (以下略す)

參照

第二條第二項の二 普通の家事用に充つる給水と雖も需用者の請求に出で又は水道部に於て特に指定したるもの

第四十七節 船舶用水供給一覽表

汽 働 唧 筒	神戶良水會社	ニッケル商會
同上每一時間水量	同上	同上
手 働 唧 筒	同上	同上
同上每一時間水量	同上	同上
水 桶 船	同上	同上
同上每一艘の容量	同上	同上
軍 艦 給 水 料	一噸ニ付	一噸ニ付
内 國 商 船 同	同	同
外 國 商 船 同	同	同

本項は此番脱稿後市の事業となる

第四十八節 市の消防組織

望火臺、半鐘數及井戸數

組 名	望 火 臺	半 鐘	消 防 井 戸
神戶消防組	九	八	三
相生橋消防組	九	八	三
兵庫消防組	八	八	三
合 計	三	三	三

水道防火栓數

神戶消防區域内	相生橋消防區域内	兵庫消防區域内
三	三	三

水道防火栓器具數及置場

組 名	置 場 所	消 防 用	フ ス タ	フ ハ イ	フ ハ イ	ホ ー ス	ホ ー ス	ス ッ	キ
神戶消防組	井合字中道御幸通四丁目	二	二	二	二	二	二	二	二
相生橋消防組	神戶警察署内	二	二	二	二	二	二	二	二
兵庫消防組	下山手通三丁目	二	二	二	二	二	二	二	二
計	元町通四丁目	二	二	二	二	二	二	二	二

備考 外に駒ヶ林村に唧筒置場一ヶ所あり
 水管ホースは一本六十尺とす

消防器具數

名 稱	神戶消防組	相生橋消防組	兵庫消防組
唧筒	三	三	三
吸筒	三	三	三
ホース	三	三	三
ハシ	三	三	三
スナ	三	三	三
高	三	三	三
号	三	三	三

第五章 第五十二節 初期以來の貴衆兩院議員

自明治廿三年四月 至同卅四年五月

二七六

第五十一節 初期以來の貴衆兩院議員

貴族院議員

初期 明治二十三年六月十日選舉當選 同年九月二十九日勅任 加納町一、川崎正藏

衆議院議員

第一回通常	明治二十三年七月一日當選	得票數一六八	議員集會所	下山手通七、三二九	鹿島秀麿
第二回臨時	明治二十五年二月十五日當選	同 一六〇	近畿俱樂部	同 五、	鹿島山秀麿
第三回臨時	明治二十七年三月一日當選	同 一八二	改進黨	山本通四、一四	同 鹿島山秀麿
第四回臨時	同 年九月一日當選	同 一七六	同	同	同 鹿島山秀麿
第五回臨時	明治三十一年三月十五日當選	同 二二七	自由黨	相生町二、四	同 本城安次郎
第六回臨時	同 年八月十日當選	同 四八四	憲政黨	同	同 鹿島山秀麿
補缺選舉	明治三十四年十一月二十日當選	同 五五一	改進黨	山本通四、一四	同 鹿島山秀麿
第七回通常	明治三十五年八月十日當選	同 九二三	政友會	江川町八九	同 鹿島山秀麿
第八回臨時	明治三十六年三月一日當選	同 八三四	憲政本黨	山本通四、一四	同 鹿島山秀麿
第九回臨時	明治三十七年三月一日當選	同 七五五	同	同	同 鹿島山秀麿

因みに第九回衆議院議員選舉有権者數を左に掲ぐ

第一區 二六六	神戶合	一〇三
第二區 七五	湊東	共
第三區 一〇三	湊西	林田
合計	三六一	三〇三

第五十二節 神戸市々會議員

小野柄通二丁目一八	若林金七	元町通二丁目一九〇	生島五兵衛
中山手通六丁目三三	伊藤俊介	東川崎町二丁目二〇八	黒原好二
奥平野村二二	村田菊太郎	南邊瀬川町二丁目三三	松本源七
四出町一三八	松井仁介	東柳原町六〇	宮下源次郎
島上町一	直木久兵衛	磯上通六丁目一五五	牧野榮三
中山手通六丁目二一	太田保太郎	三宮町二丁目四七〇	吉阪邦三
同 六丁目三三	物集伴次郎	元町通三丁目二六九	高羽爲介
東川崎町四丁目一〇一	丹波助次郎	多聞通一丁目一五	土本莊兵衛
東出町二丁目二六	川西徳三郎	出在家町番外二	前田徳左衛門
北長狹通五丁目七九	神代郁之進	川崎町二〇	有馬市太郎
相生町四丁目一〇一	大庭竹四郎	磯上通五丁目八	井上善吉
宮前町六四	魚澄惣一郎	山本通四丁目五	小倉庄太郎
川崎町一三	鎌田覺藏	元町通三丁目一八八	藤原吉三郎
以上一級選出		元町通三丁目一八八	小野正巳
元町通五丁目八九		船大工町一〇五	吉尾利八
相生町四丁目二九二		切戸町五一七	白井雪次郎
永澤町三丁目六〇一		元町通五丁目一二	横田孝史
賽合町一、四五二		北長狹通四丁目一	坪田十郎

第五章

第五十二節

神戸市々會議員

二七七

- 楠町六丁目二九
- 藤久林村三五五
- 四出町一七五
- 下山手通七丁目七二
- 楠町二丁目二四四
- 駒ヶ林村三三三
- 切月町五六〇

以上三級選出

市参事會員

市議員	木庄兵衛	市議員	藤原吉三郎
市副議長	中野熊右衛門	市副議長	吉尾利八
市議員	小山政吉	市議員	中村輪太里
市議員	前田由松	市議員	瀧本甚右衛門
市議員	小林覺三郎	市議員	平松友太郎
市議員	中村國太郎	市議員	白井雪次郎
市議員	入江孝次郎	市議員	横山淺雄
市議員	北長狹通四丁目	市議員	坪田十郎
市議員	相生町四丁目	市議員	福橋龜吉
市議員	永澤町一丁目	市議員	赤木豊太郎
市議員	同 三丁目	市議員	小西豊太郎
市議員	同 三丁目	市議員	精谷廉藏
市議員	同 三丁目	市議員	大庭竹四郎
市議員	同 三丁目	市議員	須田藤吉
市議員	同 三丁目	市議員	田藤吉
市議員	同 三丁目	市議員	若竹藤左衛門
市議員	同 三丁目	市議員	川崎正藏
市議員	同 三丁目	市議員	川崎芳太郎
市議員	同 三丁目	市議員	川西善兵衛
市議員	同 三丁目	市議員	川越七郎右衛門
市議員	同 三丁目	市議員	吉川久七
市議員	同 三丁目	市議員	瀧川辨三
市議員	同 三丁目	市議員	谷勘兵衛
市議員	同 三丁目	市議員	丹波謙藏
市議員	同 三丁目	市議員	田村平兵衛
市議員	同 三丁目	市議員	田中儀七
市議員	同 三丁目	市議員	竹馬利助
市議員	同 三丁目	市議員	竹村善九郎
市議員	同 三丁目	市議員	丹波良造

第五十四節

市内拾萬圓以上資産家

神戸之部

(いろは順)

元町通二丁目	實商	生島五兵衛	山本通四丁目	汽船業	岡崎藤吉
榮町通二丁目	毛織物商、海川改修會社取締役	生島五郎兵衛	中山手通七丁目	石炭商	奥野元吉
元町通三丁目	役員	生島四郎左衛門	榮町通四丁目	運送業神戸送迎會社取締役	大森榮介
榮町通六丁目	貿易商第六十五銀行取其他	池田實兵衛	同 五丁目	新聞業五州社長	渡邊徹
元町通七丁目	油商	井上保藏	山本通五丁目		渡邊尚
同 二丁目	高炭業	市田左右太	北長狹通五丁目		若竹藤左衛門
多聞通五丁目	酒商	石田常七	加納町一丁目		川崎正藏
藤原町三三九	貸店業	伊藤秀吉	同		川崎芳太郎
榮町通二丁目	貿易商	波多野少彰	榮町通三丁目		川西善兵衛
楠町六丁目	鐵工業、日本精米會社監查役	秦銀兵衛	下山手通八丁目		川越七郎右衛門
下山手通五丁目	鐵工業、日本精米會社監查役	範多龍太郎	花隈町三四		吉川久七
北野町三丁目	絲物商	半田藤吉	楠町四丁目		瀧川辨三
元町通三丁目	酒醬油商	畑利助	石井村		谷勘兵衛
海岸通三丁目	貸店業	長谷川九一郎	元町通五丁目		丹波謙藏
藤原町		林原吾	中山手通四丁目		田村平兵衛
奥平野村		大島兵太郎	三宮町三丁目		田中儀七
元町通三丁目	石炭貿易商	岡田又兵衛	元町通三丁目		竹馬利助
榮町通二丁目	石炭商	同 三丁目	同 三丁目		竹村善九郎
山本通四丁目	花蓮商	小倉庄太郎	同 五丁目		丹波良造

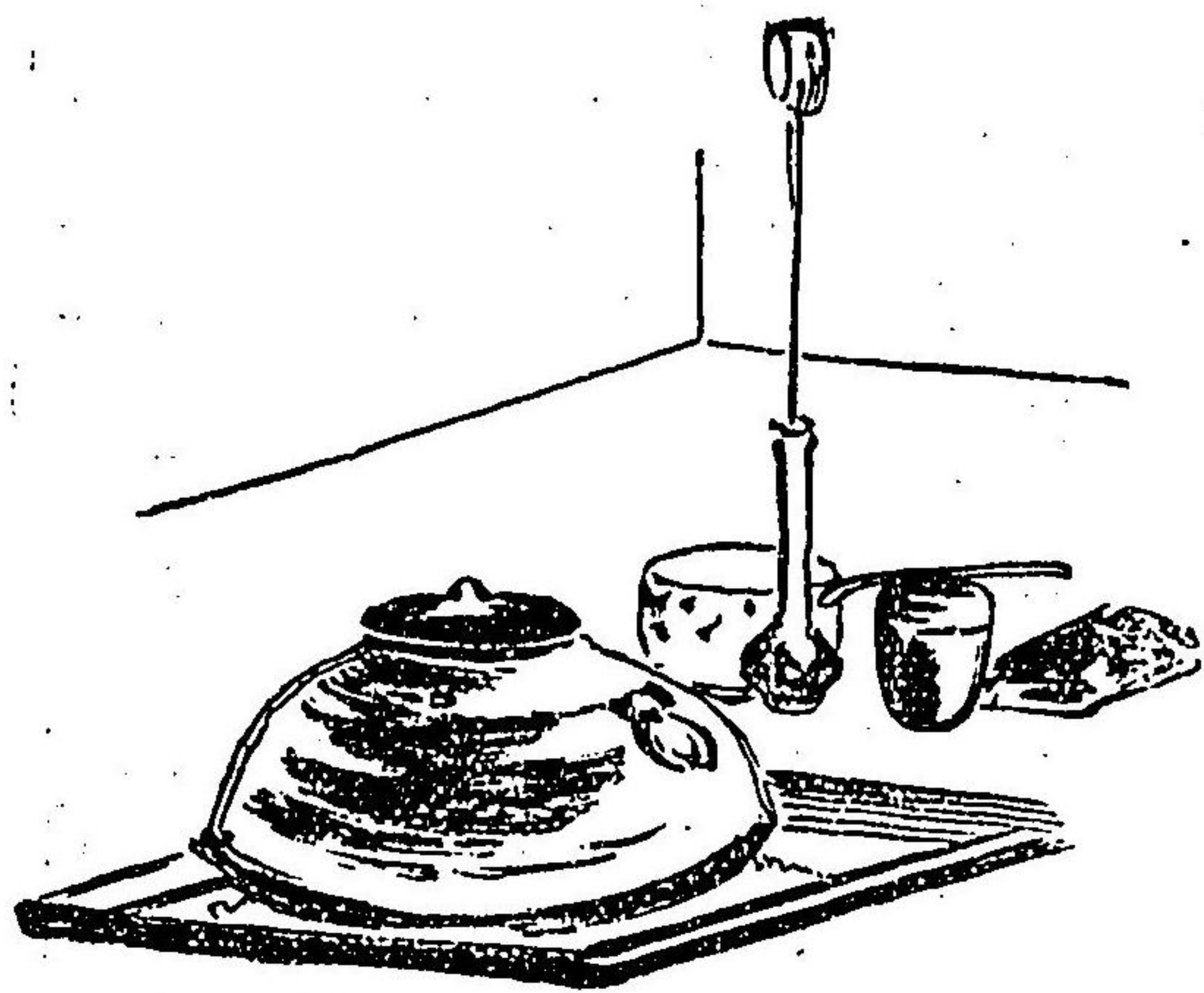
三宮町二丁目	土木購買業	高津柳太郎	榮町通一丁目	深澤富右衛門
北長狹通四丁目	棉花及花莖商	染谷寛治	桶町六丁目	古塚宗吉
多開通三丁目	時計商	坪井多三郎	中山手通五丁目	小寺謙吉
井合町三九六	夢野真田商	津川信三郎	海岸通三丁目	戀田清三郎
桶町六丁目	燐寸製造業	直木政之介	榮町通一丁目	吳錦堂
榮町通二丁目	石炭金物商	中島保之助	海岸通三丁目	安藤善作
宇治野町五六	革商	中岡宗四郎	花隈町九三	淺井嘉藏
中山手通二丁目		能登彌吉	相生町四丁目	北野藤兵衛
北長狹通五丁目		九鬼隆輝	榮町通三丁目	湯淺竹之助
同 七丁目	古着商	黒河内丹治	北長狹通五丁目	光村利藻
海岸通四丁目	神戸米穀外四品取引所理事長	山本龜太郎	榮町通五丁目	宮崎儀一
中山手通四丁目	運送業其他	山口辰之助	海岸通三丁目	三上豊次
元町通四丁目	運送業	山口吉左衛門	多開通六丁目	品川源兵衛
榮町通五丁目	米穀商	山崎彌兵衛	元町通三丁目	柴田音吉
山本通四丁目	川崎造船所長其他	松方幸次郎	北長狹通三丁目	柴田保藏
福原町四五	貸席業	松浦長兵衛	三宮町二丁目	清水セイヤ
元町通五丁目	日本紙軸燐寸製造會社業務擔	船井長四郎	山本通四丁目	廣瀬満正
同 一丁目	當社員賣藥商	藤田治右衛門	元町通五丁目	廣澤三四郎
榮町通一丁目	棉花及仲買商	深澤富太郎	榮町通三丁目	平野重太郎

兵庫之部

元町通一丁目	酒造業其他	森本六兵衛	東出町二丁目	川西龜太郎
同	兩替商	森田常介	北仲町三丁目	柿崎嘉藏
中山手通七丁目	神戸米穀外四品取引所監査役	瀬田庄左衛門	小物屋町四四	吉岡嘉兵衛
元町通六丁目	呉服通商	杉山利介	宮内町一〇	吉田金之助
榮町通四丁目		鈴木岩次郎	水通一丁目	瀧川儀作
四出町一四六	賣商	井上善右衛門	北宮内町三四	高井武兵衛
鍛冶屋町一七	石油商	井上寅次郎	小物屋町	榎井彌右衛門
四仲町	米穀商	井上忠兵衛	戶場町四二	曾根忠兵衛
江川町四	米穀肥料商、日本米穀會社	石川茂兵衛	島上町一	直木久兵衛
淡町一丁目	取捨役其他	乾新兵衛	北仲町六	南條莊兵衛
同 三丁目	燐寸製造業	本多義知	南逆瀬川町一丁目	中澤利介
東出町二丁目	米穀肥料商	筑井長十郎	江川町五四	中村彌兵衛
淡町一丁目	阪神電氣鐵道會社取捨役	小曾根喜一郎	戶場町二三	南條治郎兵衛
住吉通二丁目	水車貸附業其他	長田大助	新町八	室谷藤七
川崎町一九	竹材商	川西清兵衛	濱崎通四丁目	牛場卓藏
東出町二丁目	日本商業銀行取捨役其他	川西善右衛門	魚棚町二九	白井源藏
鹽之町一丁目	米穀肥料商	柏木庄兵衛	戶場町四	山本兵
出在家町	日本商業銀行取捨役	神田甚兵衛	出在家町外二	安村金右衛門
	日本木材會社取捨役		材木商	前田徳左衛門

第五章 第五十四節 市内拾萬圓以上資産家

島上町二九	兵庫共済會社取締役肥料商	藤井定介
湊町四丁目	其他 其隣會社取締役	藤田鉸吉
當屋町四一	米穀肥料商	藤山彌兵衛
磯ノ町四三	米穀肥料商	藤井又兵衛
川崎町二〇	兵庫運輸會社社長米穀商其他	澤野定七
東出町一丁目	米穀肥料商	有馬市太郎
小物屋町二九	山陽煉瓦會社理事其他	網盛彌兵衛
四出町一八三	金物商	澤田清兵衛
湊町二丁目	兵庫會庫會社社長銀行業其他	佐野松左衛門
戸場町二四	兵庫貯蓄銀行頭取	岸本豊太郎
當屋町三	米穀肥料商	岸本甚介
湊町一丁目	米穀肥料商	喜多儀助
宮前町三	生魚仲買商	岸上彌作
同	其隣會社監査役	水渡甚左衛門
川崎町九	其隣會社取締役酒造業	下村榮介
東尻池村一	農業	菅野安次郎
		末正久左衛門



第五十五節 神戸市本籍人出生死亡統計 (明治三十七年末關)

年次	出生		死亡	
	男	女	男	女
明治三十三年	三六七	三三三	一八六	一七〇
明治三十四年	三六四	三三〇	一八六	一七〇
明治三十五年	三八七	三三〇	二〇九	一七〇
明治三十六年	三〇六	二九三	二〇九	一七〇
明治三十七年	三三三	三〇九	二〇九	一七〇
計	一六〇九	一五〇〇	一〇〇三	九〇〇

前表三十七年出生者男三千二百三十五人の内私生子九百三十二人、女三千二十九人の内私生子九百二十七人あり、尙死亡者統計外死産せしもの男四百六十七人女三百五十八人あり

第五十六節 八種傳染病統計

年次	赤痢	腸炎	霍亂	傷寒	瘧疾	熱病	下痢	計
明治三十三年	一八二	一四〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	二六二
明治三十四年	一四〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	二六〇
明治三十五年	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	二六〇
明治三十六年	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	二六〇
明治三十七年	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	二六〇
計	一八二	一四〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	二六二

第五十六節 傳染病統計

職別	外國籍									
	英	印度	歐洲	米	獨	佛	露	西	伊	葡
商	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1
銀行	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
教員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
醫師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
新種	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
技師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
仲買	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
旅館	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
總商	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
音館	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
茶館	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
水産	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
先業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
料業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1

第五十八節 外國人國籍別職業調 (明治三十七年末調)

第五卷 第五十八節 外國人國籍別職業調

氣度	月別			備考
	平	最	最	
均	低	高	高	本表は華氏の温度に依る。
一月	二月	三月	四月	
五月	六月	七月	八月	
九月	十月	十一月	十二月	
通	年			

第五十七節 寒暖温度統計

年	患者	死者	患者	死者	患者	死者
三十三年	100	100	100	100	100	100
三十四年	100	100	100	100	100	100
三十五年	100	100	100	100	100	100
三十六年	100	100	100	100	100	100
三十七年	100	100	100	100	100	100
三十八年	100	100	100	100	100	100
三十九年	100	100	100	100	100	100
四十年	100	100	100	100	100	100
四十一年	100	100	100	100	100	100
四十二年	100	100	100	100	100	100
四十三年	100	100	100	100	100	100
四十四年	100	100	100	100	100	100
四十五年	100	100	100	100	100	100

年	患者	死者	患者	死者	患者	死者
三十六年	100	100	100	100	100	100
三十七年	100	100	100	100	100	100
三十八年	100	100	100	100	100	100
三十九年	100	100	100	100	100	100
四十年	100	100	100	100	100	100
四十一年	100	100	100	100	100	100
四十二年	100	100	100	100	100	100
四十三年	100	100	100	100	100	100
四十四年	100	100	100	100	100	100
四十五年	100	100	100	100	100	100

備考 三十七年中罹病者にして目下治療中のもの赤痢六名、腸壁扶新三十九名あり (卅八年二月記)

第五卷 第五十七節 寒暖温度統計

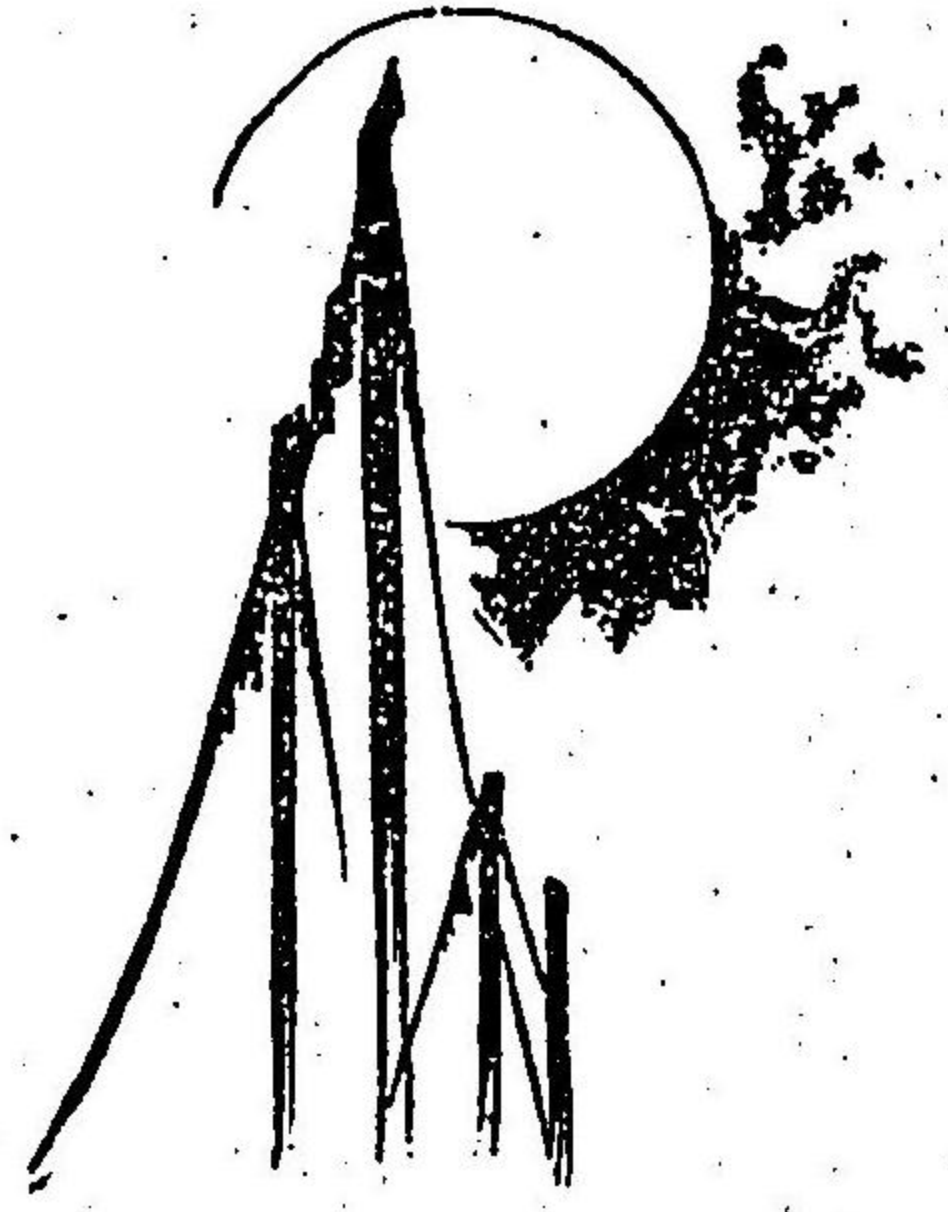
刑種	輕刑					重刑				
	計	月	年	未	以	計	月	年	未	以
懲役	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
禁錮	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
勞務	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
拘留	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
科料	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
合計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

刑種	輕刑					重刑				
	計	月	年	未	以	計	月	年	未	以
懲役	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
禁錮	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
勞務	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
拘留	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
科料	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
合計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

年	懲役	禁錮	勞務	拘留	科料	合計
明治三十五年	10	10	10	10	10	10
明治三十四年	10	10	10	10	10	10
明治三十三年	10	10	10	10	10	10
明治三十二年	10	10	10	10	10	10
明治三十一年	10	10	10	10	10	10

備考 以上明治三十五年前五ヶ年分は刑事被告人、懲治人、別房留置人、乳兒を除きたる總数を掲ぐ

忘情の冬日何ぞ其の長さや、勉強の夏日何ぞ其の短きや、長短は我に在り日に在らず、待つ有るの一年何ぞ其の久しきや、待たざるの一年何ぞ其速なるや、久速は心に在り年に在らず (佐藤 一齋)



第六章

第六十一節 名勝古跡案内

此項は次項に掲ぐる處の神社佛閣等と重複するもの多きも次項は専門に涉りて一切の神佛を網羅し之れは名所舊蹟としての敘事なるが故に、其間素より相異なるあり、而して祭神本尊等は次項に譲りて此欄には省略したり、元來古跡と稱するものは審かに詮索すれば所在皆相當の由來ある古跡に相違なきも斯の如き閑文字は本書の趣旨にあらざるが故に此處には只神戸協賛會發行の名勝案内記を骨子となし之れに取捨改訂を加へて其重なるもののみを掲ぐ

○湊川神社 神戸停車場を出て一直線に北すること一町半計りすれば湊川神社即楠公表門に到る門を入りて東に當り數株の老松蒼然たる處一基の墓あり是れ公の墓所にして元祿年中、水戸黃門光圀の建る處なり、墓表「嗚呼忠臣楠子之墓」の八字を題せるは卿の筆なり、碑の裏面明の徵士朱舜水の贊を刻す、社殿は正面一段

高きところにありて莊嚴を極む拜殿の右手に三十七年中の建設に係はる伊藤侯の銅像あり、本社は市の中央便利の地に在るが故晝夜參詣來遊の人絶ゆることなく市民唯一清樂の場所として賑はしき事嘗へ難し

○廣嚴寺 楠社の西門を出て、直に北に上る事三四丁小山あり安養寺山と云ふ、山の麓に相並びて二個の寺院あり西に在るを廣嚴寺となす、寺は俗に楠寺と云ふ建武三年五月二十五日楠氏の一族七十三人此寺の客殿に於て自盡せりと云ふ、即ち正成の菩提所にして楠氏の遺物を藏す

○湊川公園 楠社の正門を出て、西へ數丁多聞通の盡くる處は舊湊川の新開地にして熱鬧楠社西門を凌ぐ、其右手一帯の小高き地は川床埋立地にして兩側は舊湊川堤防を其儘使用せるなり、堤上廣潤奥平野に續き老松鬱々蒼々海風長へに松琴を弄し坐ろに延元の昔楠公戰死の當時を忍ばしむ

○湊山温泉 湊川の堤防を上を遡ること十餘町湊山の温泉場に達す俗に天王の温泉と云ふ、浴房數箇入浴料甚廉なり、近隣數箇の料亭あり浴客の便に供す、市街

を離れたる別界として亦一遊の値あり

○天王溪祇園神社 天王溪を隔て、湊山温泉と相對し東方山腹平かなる處一神社あり之を祇園神社となす、社内廣からずと雖も眺望可なり、溪に沿ふて山麓を廻る者即ち丹生の山田、有馬の湯山に通ずる縣道にして經る處の山水頗る風致に富めり

○諏訪山 三之宮停車場より一直線に北に上る事四丁計り清福圓滿なる一山を見るべし是れ諏訪山にして近時其名を遠近に傳へられたる神戸市の一大遊園たり、近く三十六年の竣工に係はり數條の坂路婦女子と雖も登山に難からず、登るに隨て顧みれば眼界漸く大に市街の廣域次を逐ふて相加り山頂に至れば遠く紀伊和泉の青樹を雲烟模糊の裡に望み神戸の街衢は悉く眼下に集り港内碇泊の船艦市内散在の勝跡皆一々指呼の間に在り山腹最も平坦にして廣き處之を金星臺と云ふ土功修飾新に成り茶亭の設備あり以て登山者の休憩に供ふ加ふるに四季の花卉を栽培し天然の勝、今や人爲の裝を加へて益々其美を發揮す、山腹中央に諏訪神社在り山名之に由て起る社内に稻荷の祠あり諏訪山稻荷と呼

ぶ、信仰の者甚多く毎朝未明前に至れば必ず參詣の者を見るべく奉納の赤華表大小林立して山麓より祠前に及べり神戸に來る者先づ第一に訪はざる可らざる勝地なり

○諏訪山温泉 諏訪山の東麓炭酸水の湧出する處浴場の設備あり之を諏訪山温泉と稱す、明治初年前田又吉之を開く冷温兩浴ありて入湯の客常に絶へず

○商品陳列所 諏訪山麓を南に下ること三丁餘中山手通四丁目の西端商品陳列所あり、第五回内國勸業博覽會神戸協賛會の設立に係る、陳列する處の者は本港輸出品又は輸見込品並に本縣下の産物にして農産、工業、鑛産、水産及雜品の五部に分たれ別に團圓部あり陳列品は總て眞價を附し隨意購買する事を得べし、構内茶亭寫眞師等あり、毎日午前九時を以て開場し午後五時を以て閉場し入場無料下足賃僅かに五厘を徴するのみ一覽以て參考に資すべきなり

○生田神社 商品陳列所を出て、南すれば下山手通に出づ通に隨て東に行く事四五丁森嚴なる一神社の社頭に達す是れ則官幣中社生田神社なり、社内廣潤然も一

點の塵を止めず松栢社殿を廻らし神威嚴正詣る者をして自ら肅然として襟を正さしむ、社殿の背後別に柵せる一樹林あり源平壽永の古戰場として有名なる生田の森則ち是なり、社内亦古跡に富む其主なる者は熊の梅楳原の井、敦盛の萩等にして皆表札を建て其所在を明示す、多くは源平兩家に因縁ある者にして藏する處の古寶物亦兩家に關連する者多く請に依て縱覽を許す

○布引の瀧 生田神社を出づれば社前より迂曲して此に通ずる街路あり行く事六七丁にして新清の街路に出づ俗に之に瀧道と呼ぶ、北に行く事五六丁山麓に達す是より坂路を上げれば乃ち布引の瀧に至る、下にあるを雌瀧と云ひ溪間の狭路を進めば數間の近きに行く事を得べし、近づいて之を見れば奔流矢の如く瀑聲萬響を壓し溪間冷風を送り盛夏の候と雖も佇立暫くにして肌粟を生せんとす、戻りて橋を渡り山路を登る事尙數丁にして雄瀧に達す、瀧は巖角に遮られ中央より二段となりて直下す雌雄兩瀧共に一種の壯觀たり、兩瀧の前に旗亭あり座して此壯觀を見るべく命じて飲料食品を取るを得べし、雄瀧より尙登る事三丁餘にして廣大

なる堰堤あり水道給水の水源にして又一覽の値なきに非ず、山樹木多く翠巒遠く摩耶六甲の諸山に接し、顧みれば蒼海漫漫遙かに帆影の相連るを見る實に山光水色併せて得たるの勝地にして諏訪山と相並んで神戸名勝中の隨一たり

○初利天上寺 布引の瀧を一覽して麓に下り東に行く事十丁餘前方一峻嶺あり之を摩耶山とす、初利天上寺は其頂上に在り攝州第一の巨刹と稱す、眞言宗にして大化元年法道仙人の開基創建に係はる、境内別に摩耶夫人堂、開山塔あり山麓より幾度か屈曲して急坂を登る事約八丁にして山門に達し、夫より七段百九十八級の石階を過ぎ始めて寺門に到る、然れども坂路凸凹ならず諸處に茶店あり、是を以て婦女子の登山する者亦決して少しとせず、山深き處奥の院あり、寺背尙數丁路頗る峻峻なり、此山眺望絶佳にして又暑を避くるに適す、寺院客殿を賃して宿泊せしめ精進料理を饗す、山腹城趾あり正慶二年赤松圓心の築く處にして今は僅に一の尾二の尾の跡のみを存せり

○敏馬神社 摩耶山麓上野村より途を南に執り田畑の

間、生垣の傍を下る事十餘町にして海岸に沿へる一街道に出づべし、是れ神戸市より御影方面に通ずる舊街道にして道の北側老松數十株の相蔽ふ處即ち敏馬神社なり、此邊一帯の海濱之を敏馬浦と唱ふ、空氣清鮮避暑海水浴に適す、料亭茶亭あり飲食に便し休憩に供ふ近來神戸居留外人の注目する處となり新に俱樂部を設け毎休日此地に遊ぶ者多し

○藤の寺 兵庫湊町筋を下ること暫時西に入る處藤の寺あり、門を入りて右に當り大なる藤棚あり、棚の高さ丈餘、蔽ふ處の地所約三十坪、花季に至れば紫房相連り頗る美觀なり、一般の縦覽を許し花下に觀覽者休憩の設備を爲す

○大佛 北逆瀬川町能福寺境内に在り、能福寺は藤の寺筋の半にして藤の寺を距る事四丁餘の處なり、寺境小ならず、大佛は青銅座像にして高さ佛身二丈八尺石臺一丈合せて三丈八尺なり、幅員之に準じて大なり胎内に彌陀の尊像を安置し左右に數個の佛像を羅列す明治三十二年の建立に係り兵庫の一名物たり

○眞光寺 能福寺の南二丁餘宏壯なる巨刹を見るべし

之れ眞光寺と爲す門前蓮池の畔に青銅の大露佛あり眞光寺の如來と稱して能福寺の大佛と共に其名高し

○來迎寺 眞光寺の南數間運河に面する處一寺院あり來迎寺と云ふ境内廣からずと雖も昔者清盛兵庫築島の紀念寺として名あり之を以て俗に築島寺と呼ぶ境内松王小兒の墓あり松王小兒は清盛築島の際人柱の事あるに當り年少の身を以て乘を感み自ら望んで乘に代り一人海に入りて果てたる清盛の扈從なりと云ひ傳ふ

○清盛塚 來迎寺の背後に當り眞光寺と路を距て、相對する處石造十三層の輪塔あり平清盛の遺骨を收めたる舊跡なりと云ふ之に對して道を隔て、經盛の琵琶塚あり

○和樂園 清盛塚を出で、運河を渡り道を東南に採れば行く事約十町兵庫市街を離る、處和田神社あり此處より遙に海濱を望めば松林の間洋風三層樓の屹立するを見るべし之を和樂園と爲す二丁餘にして達すべし私設遊園地にして池あり小山あり遊園の風致備はる中央の三層樓を眺望閣と稱す閣内數種の陳列品あり少許の料金を以て隨意登閣せしむ地は所謂和田の岬なり其第

三層に登れば眺望佳絶遠く灣形を爲せる神戸全市を望見すべし又以て半日の清遊に適す

○長田神社 和樂園より踵を返して能福寺に到り柳原通を西に行く事四五丁兵庫停車場に至る停車場より西に通ずる街路あり行く事四丁餘にして郊外に出づ左右に田畑を眺めて尙行く事五丁餘池あり池の傍鹽物太郎頼賢の墓あり是より西北に折れ前面高く登ゆる鷹取山の麓松杉鬱然たる處則ち長田神社なり當社は延喜式内の祠にして歴世の御朱印地たり平日に在ては聊か寂寞の感なきに非ずと雖も世俗呼で連の神と爲し福利を祈る者正月元旦を始めとし毎月一日未明より相争ふて参詣し往來肩を摩するの概あり沿道爲めに賣店を設くる者亦尠ならず社殿の後より鷹取山に登るの道あり山頂稻荷の祠あり

○鶴遊園 源平の古戰場として人口に膾炙せる鶴越の西南一帯の地之を鶴遊園と爲す長田神社を距る約八丁麓に到る迄人車を通ずべし近時日本園藝株式會社の拓く處、地域二百町歩餘山地起伏し溪川諸處に曲折潺湲愛すべく花卉あり四時花を絶えず噴泉あり茶亭あり園

は遠く塵界を距れて山間に偈し煙霞縹緲の裏幽に河泉紀の諸峯を望見す四時一定の入場料を徴して汎く衆人の遊覽に供す

第六十二節 神社佛閣及耶蘇教會

神社之部

生田神社 下山手通二、字生田桑 兵庫縣廳へ四丁

祭神 稚日女尊

官幣中社 氏子二〇、〇二戸

境内末社 住吉神社 八幡神社 諏訪神社 日吉神社 稻荷神社二箇所 人丸神社 雷大臣神社 蛭子神社 市杵島神社 大海神社 松尾神社 賽神社 戸隠神社 兵庫行宮所天照大神宮社

長田神社 長田村字中島 同上 一里九丁

祭神 事代主神

官幣中社 氏子一、四二戸

境内末社 天照大神神社 八幡社 蛭子社 稻荷社 月讀命社 出雲大社 松尾社

湊川神社 多聞通二 同上 九丁

祭神 贈正一位嵯朝臣正成公

別格官幣社 氏子一〇、一八五戸

境内末社 楠本稻荷

一宮神社 山本通一、二四 同上 六丁

祭神 田心姫命

無格社 信徒五〇人

諏訪神社 同四、七九 同上 四丁

祭神 武御名方命

村社 信徒六〇〇人

境内神社 稻荷神社

高義稻荷神社 同四、九三 同上 五丁

祭神 倉稻魂神

無格社 信徒一、〇〇戸

四宮神社 中山手通五、字小田二五 同上 二丁

祭神 市杵島姫命

無格社 信徒四六〇人

熊野神社 同七、一六七 同上 六丁餘

第六節 第六十二節 神社佛閣及耶蘇教會

伊弉諾命伊弉册命 無格社 信徒二〇〇人

三宮神社 三宮町二、二八 同上 五丁

祭神 瑞津姫命

村社 信徒一、六〇〇人

境内神社 稻荷神社三箇所 事平神社 瑜伽神社 天御中主神社 唐月神社

走水神社 元町通五、八七 同上 五丁

祭神 應神天皇 天照皇大神 菅原道真

無格社 信徒一八〇人

嚴島神社 海岸通六、字辨天濱 同上 六丁

祭神 市杵島姫命 合祀 大物主神

無格社 信徒七〇〇人

八宮神社 楠町一、字八宮 同上 七丁

祭神 熊野撮指命

村社 信徒五〇人

境内神社 村社六宮神社

蛭子神社 東川崎町五一 同上 十二丁

二九五

祭神 蛭子命

村社 信徒五三六人

境内神社 稻荷神社 秋葉神社

金刀比羅神社 福原町三

祭神 大己貴命 武甕槌命

無格社 信徒二〇〇人

八幡神社 荒田町三

祭神 應神 天皇

村社 氏子二八七九戸

高田神社 同三

祭神 不詳

無格社 信徒二〇〇人

豐國稻荷神社 奥平野村字天王谷西山腹

祭神 倉稻魂命 豐受大神 豐國大神

無格社 氏子八二戸

祇園神社 同村字宮ノ前

祭神 素盞雄命

村社 氏子二二二戸

境内神社 天照大神社 春日神社 稻荷神社 猿田彦神社

市杵島神社 同村字前開地

祭神 市杵島比賣命

無格社 氏子二二二戸

五ノ宮神社 同村字山口

祭神 天穗日命

無格社 氏子二二二戸

天満神社 北野町三二

祭神 菅原道真

無格社 信徒七〇人

青瀧神社 同四九二

祭神 五十猛神

無格社 信徒三〇人

八幡神社 湊町二八二

祭神 應神 天皇

村社 信徒八〇五人

境内神社 稻荷神社 金刀比羅神社

猿田彦神社 佐比江町三

祭神 猿田彦命

村社 信徒二四〇人

大國神社 松屋町一〇

祭神 大國主命

村社 信徒七五人

稻荷神社 川崎町一三

祭神 宇賀魂命

村社 信徒二八〇人

同 四出町五一七

祭神 同 上

村社 信徒六八七人

日向神社 同町六四

祭神 天伊佐々比古命

無格社 信徒五二〇人

稻荷神社 東出町四組四八八ノ一

祭神 天照大神 蛭子命 不合命 豐國比賣命 市杵島比賣命

相殿 天照大神 蛭子命 不合命 豐國比賣命 市杵島比賣命

祭神 宇賀魂命

村社 信徒二九三人

蛭子神社 同町東組四六

祭神 蛭子命

村社 信徒三三八人

七宮神社 北宮内町二

祭神 大己貴命 合祀 天兒屋根命

縣社 氏子二二八四戸

山王神社 門口町三六

祭神 大山咋命

村社 信徒七二〇人

嚴島神社 水澤町四、四

祭神 市杵島比賣命

村社 氏子六二〇人

愛宕神社 三川口町一五九

祭神 稻荷神社

境内神社 稻荷神社

同 同上 二十丁

祭神 火産靈神

村社 氏子六四九人

境内神社 金刀比羅神社 稻荷神社

神明神社 神明町一

祭神 天照大御神 豊受大神

村社 信徒二八五人

蛭子神社 四柳原町三

祭神 蛭子命

村社 信徒三五一人

境内神社 金刀比羅神社 稻荷神社

天神社 東柳原町九九ノ一

祭神 菅原道真

村社 信徒一四五一人

稻荷神社 同町九一

祭神 宇賀魂命

無格社 信徒二八一人

境内神社 愛宕神社

住吉神社 南瀬瀬川町二

同上 二十八丁

祭神 上筒之男命 中筒之男命 底筒之男命

村社 信徒七八九人

境内神社 稻荷神社

諏訪神社 南仲町三五

祭神 健御名方命

無格社 信徒一四〇人

八幡神社 筒井字新白

祭神 應神天皇

村社 氏子一〇月

境内神社 天満社 稻荷社

南宮八幡神社 井合字一七七號二〇九六

祭神 應神天皇

村社 氏子四〇〇月

境内神社 稻荷神社

二ノ宮神社 井合字一二二號

祭神 天忍穗耳尊 火産靈神 天兒屋根命 應神天皇 宇迦迺御魂 德島明神 水室明

同上 二十七丁

神 金山彦命 少立里命 彦火火出見尊

無格社 信徒一、三〇〇人

八幡神社 井合字二三三號

祭神 應神天皇

無格社 信徒五五〇月

境内神社 三神社

同 八幡通五、

祭神 應神天皇

無格社 氏子一〇〇〇〇人

大山咋神社 石井村字湊山

祭神 大山咋尊

村社 氏子一〇二月

素盞雄神社 同村字天王

祭神 素盞雄尊

無格社 信徒三二五人

熊野神社 夢野村字河原一七八

祭神 伊弉諾伊弉册命

同上 二十五丁

第六章 第六十二節 神社佛閣及宗教會

村社 氏子六六月

境内神社 金刀比羅神社 稻荷神社 天照皇社 春日神社

水室神社 同村字垣内二三

祭神 仁徳天皇

村社 氏子七月

境内神社 市杵島神社

古殿神社 同村字北ノ垣内一五一

祭神 額田大中彦命

無格社 信徒二〇人

八幡神社 同村字尼ヶ谷二九

祭神 應神天皇

村社 氏子一月

牛神社 同村字開々五七三

祭神 豊受太神宮

無格社 信徒二〇人

和田神社 今和田新田

祭神 天御中主命

同上 三十四丁餘

縣社 氏子一六〇〇戶
相殿 市杵島比賣命 經子命

境内神社 秋葉神社 稻荷神社 後田彦神社

三石神社 同所字細道 同上 三十三丁

祭神 神功皇后 應神天皇

村社 氏子四八戶

八阪神社 東尻池村六番字堂免 同上 一里二丁

祭神 素盞鳴尊

無格社 信徒二三人

長田神社 同所三番字村田開地 同上 一里四丁

祭神 事代主尊

無格社 信徒五九人

八幡神社 同所十二番地上真野 同上 一里五丁

祭神 譽田別命

無格社 信徒九〇人

住吉神社 四尻池村字川東南 同上 一里十四丁

祭神 住吉大神 天照大神

無格社 信徒二人

幸殿社 野田村字中ノ町 同上 一里十八丁

祭神 素佐雄尊 天照皇太神 譽田別尊

無格社 信徒五人

祇園神社 池田村字野々内 同上 一里十丁

祭神 素盞男命

無格社 信徒五〇人

天照皇太神社 同所字引谷三ノ三 同上 一里十八丁

祭神 天照皇太御神

無格社 信徒五〇人

大歲神社 同所字太田 同上 一里十丁

祭神 大歲御祖神

無格社 信徒五〇人

若宮八幡神社 駒ヶ林村字堂町 同上 一里十六丁

祭神 應神天皇

無格社 信徒八五人

年德神社 同所字岡 同上 一里十六丁

祭神 猿田彦命

無格社 信徒八〇人

戎神社 同所字中ノ町 同上 一里十六丁

祭神 蛭子命

無格社 信徒一〇〇人

年德神社 同所字岡 同上 一里十六丁

祭神 猿田彦命

無格社 信徒二二人

八王子八幡神社 同所字井月町 同上 一里十六丁

祭神 應神天皇

無格社 氏子六三〇戶

境内神社 左義長社 出雲神社 稻荷社

八幡神社 御崎村 同上 二十八丁

祭神 神功皇后 應神天皇

村社 氏子四五戶

境内神社 住吉神社 豐賀神社

同 島原村字西所四一五 同上 一里四丁

祭神 應神天皇

村社 氏子九〇戶

第六章 第六十二節 神社佛閣及耶蘇教會

天兒屋根神社 同村字中所四七七 同上 一里四丁

祭神 天兒屋根尊

無格社 信徒三〇三人

市杵島神社 同村字奥所一〇六 同上 一里四丁

祭神 市杵島姬命

無格社 信徒三〇三人

同 同村字東所四八八 同上 一里四丁

祭神 同 上

無格社 信徒三〇三人

淨福寺 北野町四二三 兵庫縣廳六丁

本尊 阿彌陀佛

淨土宗知恩院末 檀徒七二五人

境内佛堂 鎮守堂

本尊 十一面觀音 同上 三丁

淨土宗知恩院末 檀徒二七八人

境内佛堂 地藏堂

誓願寺 下山手通七、四六 同上四丁
 本尊 阿彌陀佛
 淨土宗知恩院末 檀徒二七五人
 善福寺 同八、五三 同上五丁
 本尊 同 上
 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒二、二〇三人
 本尊 壽寺 同七、三四 同上四丁
 本尊 中央題目寶塔 有多寶 左釋迦
 日蓮宗本願寺末 檀徒七三人
 境內佛堂 妙見堂
 長樂寺 中山手通七、一九ノ一 同上七丁
 本尊 十一面觀音
 眞宗本願寺末 檀徒五〇人
 善照寺 元町通三、三五 三六 三七 同上二丁
 本尊 阿彌陀佛
 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒二、五〇〇人
 極樂寺 同五、三三 同上四丁
 本尊 同 上
 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒一、〇八五人
 淨土宗知恩院末 檀徒一、〇八五人
 德照寺 宇治野町五四 同上六丁
 本尊 同 上
 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒一、二八八人
 聖德院 加納町五、 同上五丁
 本尊 不動明王
 眞宗本願寺派高野山大乘院末 檀徒六五七人
 安養寺 柿町七、二五九 同上十二丁
 本尊 阿彌陀佛
 淨土宗知恩院末 檀徒五六人
 廣嚴寺 同町七、 同上十二丁
 本尊 藥師
 眞宗本願寺派南禪寺末 檀徒三三六人
 境內佛堂 毘沙門堂
 寶地院 荒田町三六一 同上十二丁
 本尊 阿彌陀佛
 淨土宗知恩院末 檀徒二八二人
 境內佛堂 大日堂

自肯院 荒田町三、五三 同上十六丁
 本尊 觀音
 臨濟宗妙心寺派妙心寺末 檀徒一五七人
 慶岸寺 同町三、 同上十五丁
 本尊 阿彌陀佛
 眞宗東派東本願寺末 檀徒二、二〇月
 佛立寺 同町三、七三 同上二十丁
 本尊 十界大曼陀羅
 本門法華宗南禪寺末 檀徒四五〇月
 極樂寺 江川町五三 同上十六丁
 本尊 阿彌陀佛
 淨土宗知恩院末 檀徒一八〇人
 藤之寺 同町七一 同上十五丁
 本尊 同 上
 淨土宗知恩院末 檀徒二、四〇〇人
 惠林寺 同町七三 同上十五丁
 本尊 觀音
 臨濟宗南禪寺派南禪寺末 檀徒三五〇人
 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒四五〇人
 大聖院 江川町五九 同上十六丁
 本尊 文珠菩薩
 眞宗本願寺派南禪寺末 檀徒五〇〇人
 脇立 地藏菩薩 觀世音菩薩 愛染明王
 曹洞宗福昌寺末 檀徒五〇〇人
 祥福寺 奥平野村字佃一〇四 同上十七丁
 本尊 釋迦佛
 臨濟宗妙心寺派妙心寺末 檀徒六五人
 境內寺院 清水院
 同佛堂 觀音堂 延命堂 鎮守堂 禪堂 毘沙門堂 雨雲堂
 地藏堂
 地藏院 同村字清波一四 同上十五丁
 本尊 地藏
 臨濟宗南禪寺派南禪寺末 檀徒一五人
 東福寺 同村字同一二 同上十六丁
 本尊 阿彌陀佛
 淨土宗知恩院末 檀徒三〇一人
 濟鱗寺 西宮内町四二 同上十六丁
 本尊 同 上
 淨土宗知恩院末 檀徒四五〇人

法界寺 四宮内町四〇

同上十六丁

本尊 阿彌陀佛

淨土宗知恩院末 檀徒一六五人

長傳寺 同町四一

同上十六丁

本尊 同 上

淨土宗知恩院末 檀徒五一〇人

境内佛堂 開山堂 地藏堂 觀音堂

三寶院 同町六一

同上二十丁

本尊 三寶荒神

脇立 觀音 不動

曹洞宗福昌寺末 檀徒五〇〇人

西幸寺 同町二八一

同上十七丁

本尊 阿彌陀佛

真宗本願寺派本願寺末 檀徒八八五人

福嚴寺 門口町二〇

同上十八丁

本尊 釋迦佛

臨濟宗南禪寺派南禪寺末 檀徒六六四人

境内佛堂 地藏堂

放光庵 水澤町七三

同上十五丁

本尊 釋迦佛

臨濟宗妙心寺派淨福寺末 檀徒一五〇人

理教院 同町四

同上十八丁

本尊 阿彌陀佛

脇立 大聖歡喜天 十一面觀世音

天臺宗延曆寺末 檀徒二四〇人

範國寺 三川口町三四

同上十七丁

本尊 釋迦佛

臨濟宗南禪寺派南禪寺末 檀徒七二人

境内佛堂 庚申堂

久遠寺 同町五三

同上二十二丁

本尊 中央題目

日蓮宗八品派本能寺本興寺兩末

境内寺院 寶樹院檀徒一〇四四人 本光院檀徒四七二人

同佛堂 三光堂 鎮守堂二ヶ所

法蓮寺 神明町四一

同上二十五丁

本尊 中央題目寶塔

右多寶 左釋迦

日蓮宗本願寺末 檀徒八九五人

境内佛堂 妙見堂 七面堂 鎮守堂

福海寺 西柳原町九七

同上十九丁

本尊 釋迦佛

脇立 文殊菩薩 普賢菩薩

臨濟宗南禪寺派南禪寺末 檀徒六二四人

境内佛堂 觀音堂

境外佛堂 地藏堂 鎮守堂 毘沙門堂

眞淨庵 同町二五二

同上十九丁

本尊 觀音

臨濟宗南禪寺派南禪寺末 檀徒九〇人

福昌寺 羽取通二四

同上二十九丁

本尊 釋迦

脇立 文殊 普賢

曹洞宗成道寺末 檀徒四四九四人

境内佛堂 觀音堂 地藏堂 鎮守堂 辨天堂 毘沙門堂

滿福寺 同二四

同上二十七丁

本尊 觀世音菩薩

時宗清光寺末 檀徒一五三人

境内佛堂 地藏堂 吡根尼天堂

能福寺 北逆瀬川町五五

同上二十丁

本尊 藥師

天臺宗青蓮寺末 檀徒一八八八人

境内佛堂 彌陀堂 妙見堂 地藏堂 辨天堂

長樂寺 南逆瀬川町七

同上二十三丁

本尊 阿彌陀佛

脇立 觀世音 勢至

時宗遊行派清淨光寺末 檀徒八五三人

境内佛堂 地藏堂 證嚴堂

藥仙寺 同町二七四

同上三十丁

本尊 藥師

時宗正法寺末 檀徒五二五人

境内寺院 荷松院 尊照院

境内佛堂 觀音堂 辨天堂 吡根尼天堂

眞光寺 須佐野通一二八

同上三十丁

本尊 宗祖一遍

時宗清淨光寺末 檀徒三五二人

境内寺院 寶樹院 修善院 龍藏院 陽徳院 西北院

境内佛堂 阿彌陀堂 觀音堂 毘盧堂 五大明王堂 毗呬尼天堂
花山院御堂 六地藏堂 御廟茶吐所

柳泉寺 切戸町一三三 同上二十丁

本尊 阿彌陀佛 眞宗東派本願寺末 檀徒八二五人

寶珠寺 同町四 同上二十丁

本尊 同 上 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒一、二五〇人

金光寺 四仲町五一 同上十九丁

本尊 藥師 眞言宗高野派眞王院末 檀徒一、一〇〇人

境内佛堂 大師堂 地藏堂 琴吉尼天堂

永福寺 南仲町四九 同上十八丁

本尊 阿彌陀佛 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒八九三人

境内佛堂 觀音堂

來迎寺 島上町四二 同上二十七丁

本尊 同 上

淨土宗四山派釋林寺末 檀徒七二七人
境内佛堂 觀音堂 地藏堂 護法堂

阿彌陀寺 新在家町一三二 同上三十丁

本尊 同 上 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒一、四〇四人

妙法華院 湊町三、 同上二十丁

本尊 釋迦文珠 普賢 金剛藏 金剛幢 日蓮 日蓮宗法華經寺別院 檀徒一八〇人

招慶院 福原町七二 同上二十五丁

本尊 釋迦 附屬 觀世音 後醍醐天皇御位牌

境内佛堂 妙見堂 最上堂 日蓮宗本願寺末 檀徒一八八人

眞福寺 下澤通一、 同上十丁

本尊 阿彌陀佛 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒一三三人

境内佛堂 弘法 準提觀音

願成寺 松本通二、合併地 同上二十丁

本尊 阿彌陀佛 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒三〇三人

福泉寺 中道通一、 同上十四丁

本尊 同 上 眞宗大谷派本願寺末 檀徒五〇人

心月菴 東出町二二 同上二十丁

本尊 聖觀世音 眞言宗高野派勝願寺末 檀徒五〇〇人

境内佛堂 地藏堂

瀧勝寺 非合二、九三九 同上二十五丁

本尊 馬頭觀音 眞言宗高野派心王院末 檀徒一、二〇〇人

阿彌陀寺 同字一八一、號三三三 同上三十三丁

本尊 阿彌陀佛 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒九二人

法西寺 同字一七七、號二二〇二 同上十八丁

本尊 同 上 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒一五〇月檀徒七五〇人

第六章 第六十二節 神社佛閣及宗教會

德清寺 非合字一七七號 同上三十四丁

本尊 阿彌陀佛 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒七一人

大仙寺 同生田町四 同上十五丁

本尊 同 上 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒三七四人

正應寺 同字中村 同上十五丁

本尊 同 上 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒一三三人

泉隆寺 同字中尾 同上二十二丁

本尊 同 上 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒三〇五人

本尊 妙院 同雲井通一、五三九一、五四五 同上五丁

日蓮宗中本寺長遠寺末 檀徒六〇月 檀徒二〇〇人

西方寺 同八九三 同上二十七丁

本尊 阿彌陀佛 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒二六〇人

遙 船 寺 荏合字筒井九六二 同上 二十八丁
 本 尊 阿彌陀佛 眞宗東派本願寺末 檀徒二九〇人
 專 稱 寺 同 字七九號九五六一 同上 十五丁
 本 尊 同 上 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒二〇〇月
 靈 山 寺 石井村字木ノ下 同上 二十三丁
 本 尊 同 上 淨土宗知恩院末 檀徒二五人
 長 福 寺 夢野村字開* 同上 二十六丁
 本 尊 同 上 淨土宗知恩院末 檀徒二八〇人
 松 隣 寺 同 村字塚本三七 同上 二十丁
 本 尊 釋迦牟尼佛 眞宗本願寺派妙心寺末 檀徒二〇五人
 大 龍 寺 地方字口一里八八 同上 三十五丁
 本 尊 如意輪觀音 眞宗東派本願寺末 檀徒一五〇人

淨 業 寺 地方字鏡橋場四二 同上 三十丁
 本 尊 阿彌陀佛 淨土宗知恩院末 檀徒五二五人
 境內佛堂 圓覺堂
 寶 滿 寺 東尻池村二六九 同上 一里五丁
 本 尊 大 日 眞宗本願寺派南願寺末 檀徒一三五人
 極 樂 寺 西尻池村八八 同上 一里十四丁
 本 尊 阿彌陀佛 淨土宗水福寺末 檀徒一五九人
 高 福 寺 同 村 同上 一里十四丁
 本 尊 同 上 眞宗佛光寺派佛光寺末 檀徒四七二人
 金 福 寺 御崎村 同上 二十九丁
 本 尊 地 藏 淨土宗知恩院末 檀徒一七人

金 樂 寺 長田村字二ノ坪 同上 一里二丁
 本 尊 阿彌陀佛 眞宗本願寺派本願寺末 檀徒二〇一人
 光 堂 寺 同 村三ノ八 同上 一里四丁
 本 尊 同 上 淨土宗法界寺末 檀徒三三四人
 福 聚 寺 同 村八五字上所 同上 一里四丁
 本 尊 觀 音 眞宗本願寺派南願寺末 檀徒三二二人
 長 福 寺 同 村字上ノ界地 同上 一里二丁
 本 尊 虛 空 藏 眞宗本願寺派南願寺末 檀徒七三人
 明 泉 寺 同 村一七 同上 一里八丁
 本 尊 大 日 眞宗本願寺派南願寺末 檀徒二二〇〇人
 滿 福 寺 野田村字東池ノ下二〇 同上 一里十八丁
 本 尊 藥師、不動、毘沙門 眞宗本願寺派南願寺末 檀徒二二〇〇人

曹洞宗福昌寺末 檀徒四四人
 妙 樂 寺 池田村二六 同上 一里十丁
 本 尊 十一面觀音 眞宗本願寺派南願寺末 檀徒一五四人
 寶 珠 庵 駒ヶ林村字堂之町 同上 一里十八丁
 本 尊 觀 音 眞宗本願寺派南願寺末 檀徒四二人
 海 泉 寺 同 村字井戸町六四 同上 一里十丁
 本 尊 千體地藏 眞宗本願寺派南願寺末 檀徒一、五〇〇人
 圓 通 庵 今和田新田一九 同上 三十丁
 本 尊 觀 音 眞宗本願寺派南願寺末 檀徒二二五人
 教會之部
 聖母七ツノ哀ノ教會 仲町
 天主教 設立明治四年
 設立者 佛國人ジ、シヤトロ
 擔當布教者 佛國人ビエル、フアジエ

ユニオン會堂 明石町

プロテスタント各派 設立明治五年八月
管理者 米國人アルドス、デナス、同エドワード、メーカム
北米合衆國チャールズ、アルバートソン 北米加拿大洲
エドワード、エ、ウィットナ 獨逸人ナ、ブンゲ

神戸基督教會 山下手通六、

基督教(日本組合基督教會) 設立明治七年四月十九日
管理者 鈴木 木 清 川本 恂 藏
擔當布教者 原 田 助

多聞基督教會 相生町二、

基督教(日本組合基督教會) 設立明治十年十月二十日
管理者 田中 貞直 畠山 伊兵衛
擔當布教者 小林 茂兵衛 松井 文彌

神戸美以教會 山下手通五、

基督教(南英以教會) 設立明治十九年九月十七日
管理者 中村 平三郎 長谷川 基一
擔當布教者 堀 峯 橋

神戸浸禮教會 山下手通三、

浸禮派 設立明治二十四年五月二十七日
管理者 中 高 芳 藏
英國人ロベラー、エー、タムソン
擔當布教者 吉 川 龜

ハリストス正教講義所 同八、一八三ノ三

ハリストス正教 設立明治三十四年九月十二日
管理者 菅野 三次郎
擔當布教者 菅野 三次郎

聖家族教會 同七、九七ノ四

天主教 設立明治三十五年八月十五日
管理者 佛國人ジ、シャトロン
擔當布教者 佛國人アンリ、ペリン

活田基督教會 山下手通一、二五ノ一七

基督教(コンケンゲーション) 設立明治二十六年六月一日
管理者 村上 俊吉
擔當布教者 村上 俊吉

聖米迦勒教會 中山手通六、

日本聖公會(基督教) 設立明治二十七年四月九日
管理者 辻 井 亨
擔當布教者 辻 井 亨

神戸日本基督教會 同七、

基督教(日本基督教會) 設立明治三十年五月十五日
管理者 宮本 良太郎 横山 愛吉
擔當布教者 寺崎 次郎 大谷 庚

新世館 (基督教講義所) 三宮町一三六〇

日本聖公會(基督教) 設立明治三十四年十一月二十日
管理者 辻 井 亨
擔當布教者 武田 頼夫

ハリストス正教會 橋通一、

ハリストス正教 設立明治二十七年十二月一日
管理者 清水 安次郎
擔當布教者 清水 安次郎

基督教講義所 楠町五、

第六章 第六十二節 神社佛閣及耶蘇教

日本聖公會(基督教) 設立明治三十年九月一日

管理者 英國人ジ、ガーデナー
擔當布教者 覺 前 政 藏

福音教會講義所 荒田町一、

新教福音派 設立明治三十一年六月二十五日
管理者 井 上 運 喜
擔當布教者 井 上 運 喜

兵庫基督教會堂 永澤町二、

日本組合基督教 設立明治十八年一月二十四日
管理者 神田 直五郎 永見 吉明
擔當布教者 武田 猪 平

浸禮教會講義所 三川口町三、三〇

浸禮派 設立明治二十九年九月十五日
管理者 原 三 千 之 助
擔當布教者 原 三 千 之 助

基督教十字會講義所 大開通一、

基督新教無所屬 設立明治三十二年六月十日
管理者 谷 口 龜 藏

繪畫布教者 谷口龜藏 (海外渡航に付休會)

兵庫基督教講義所 淡町四、

アレスピテリアン 設立明治三十三年六月八日

管理 者 米國人ヘンリー、バットラー、ブライス
繪畫布教者 米國人ヘンリー、バットラー、ブライス

葦合日本基督教會講義所 小野桐通五、二五

アレスピテリアン 設立明治三十五年六月二十五日

管理 者 ヘンリー、バットラー、ブライス
繪畫布教者 ヘンリー、バットラー、ブライス

南美以教會瀧道講義所 在合布引通三、六三

基督教美以教會 設立明治三十五年六月二十五日

管理 者 土井保太郎
繪畫布教者 シー、ビー、モーヅレー

兵庫南美以教會講義所 北仲町二〇

基督教南美以教會 設立明治三十七年六月二十九日

管理 者 クラウダー、ベル、モーズレー
繪畫布教者 クラウダー、ベル、モーズレー

第六十三節 書家と畫家

書家

古渡通	兼 畫 菊池魯岳
楠町	詩 家 倉川鐵舟
加納町二丁目	弓 術 佐伯小彌太
荒田町三丁目	兼 畫 水原鶴僊
楠町四丁目	世 古 錦 林
下山手通二丁目生田社	小山 雪 耕
山本通五丁目八七	八木 文 郷
北野町三丁目	西 松 秋 畝
楠町三丁目一七五	文 辭 今 井 天 録
同 五丁目	岸 派 木 村 穎 尺
大阪四區土佐堀	買 易 畫 德 永 雅 堂
下山手通一丁目	田 畑 好 秀
荒田町二丁目一六	中 島 靜 溪
三宮町二丁目三三三	岩 崎 繪 畫 社
下山手通一丁目生田社	桂 田 湖 城

畫家

宇緒町四丁目	近 藤 赤 山	日 華 新 聞 社 内	中 村 竹 涯
楠町二丁目	團 藍 舟	下山手通六丁目	堀 百 千
中山手通三丁目	買 易 畫 興 田 雪 香	三十八銀行員	八 木 鏡 江
同	油 畫 松 本 芳 秀	同	木 村 子 石
荒田町二丁目	遊 畫 若 林 秀 岳	奧平野村	山 内 松 鶴
元町通五丁目	遊 畫 船 井 長 四 郎	下山手通七丁目	石 川 凌 雲
奧平野村二四ノ二	女 流 南 畫 橫 井 玉 仙	山本通五丁目八七	八 木 文 郷

第六十四節 和歌、詩、謠曲、俳偕者

俳偕者

和歌者

謠曲者

中山手通四丁目	水 澤 ゆ た か 子	兵 庫	同	觀 世 流 春 藤 作 太 郎
下山手通五丁目	竹 中 琴 梅	江 川 町	同	神 田 兵 右 衛 門
下山手通一丁目	田 所 千 秋	淡 町 一 丁 目	同	神 田 慶 太 郎
奧平野村	林 源 吾	元町通四丁目	同	垂 井 彌 太 郎
山本通五丁目	青 木 清 高	中山手通六丁目	同	吉 岡 如 水
楠町六丁目	號 牛 棧 波 多 野 央	元町通三丁目	同	小 曾 根 貞 松
下山手通八丁目三二	號 東 山 鈴 木 丈 之 助	元町通三丁目	同	川 越 五 三 郎

下山手通八丁目 觀世流 間人茂一 神戸税關
 川崎造船所 寶生流 菊島 楠町五丁目
 同 加藤 米敷取引所
 同 網野信一 大阪朝日新聞通信支局
 宮前町 太鼓打 橋本熊三郎 奥平野村三四八
 東川崎町 寺流鼓打 佐竹徳太郎 加納町二丁目四
 中山手通二丁目 觀世流 野村正光 元町通六丁目四四
 元町通五丁目 同 丹波謙藏 荏合館内小學校東
 奥平野村一ノ四一
 不詳
 四出町三丁目 尾花庵 白川清風
 多間通六丁目 歸雲 加藤勝助
 花隈町教會堂 有隣 武村常藏
 四出町 同 宜遊 遊藏
 奥平野村 奥平野村
 東川崎町 梅江 菊江
 中山手聖米加勒教會堂 秋井 梅亭
 荏合館井村 大拙 平野翠鳳
 大間通二丁目 一葉 倉重利武
 中道通

俳諧連中

山本通五丁目 夏 小川 肇
 不詳 井關 隆 覺
 俳諧に關する團體としては兵庫にいろは會、山陽會、神戸に無名會、鹿笛會あり又所謂新派として若菜會あり

第六十五節 茶の湯と生花

中山手通五丁目二五 花道未生流 廣好齋藤甫 鹽谷源三郎
 橋通二丁目七〇 花道遠雲流 茶道千家表 東宗春
 花隈町五四四ノ二 花道青陽流 茶道千家表 前野尙正
 中山手通三丁目七一 花道谷風流 茶道千家表 牛尾多吉
 中山手通七丁目番外一 花道未生流 藤原作之助
 三宮町一丁目二四〇 花道未生流 河内宗知
 楠町六丁目二六七 花道谷風流 茶道千家表 兔原集三
 下山手通八丁目六四 花道谷風流 茶道千家表 玉澤宗忍
 奥平野村三二五 花道遠雲流 茶道千家表 高橋勇峰
 花隈町 花道青陽流 茶道千家表

第六十六節 圍碁と將碁

圍碁家

中山手通五丁目三六	五段	中根 鳳次郎	中山手通七丁目	五段に四目	水野 正巳
下山手通七丁目二八九	二段	橋本 藤三郎	山本通四丁目四八	同	杉
花隈町善福寺	初段	佐藤 恒藏	元町通三丁目	五段に六目	石崎 和善
兵庫	五段に四五目	沼本	花隈町	同	馬場 武義
花隈町	同	伊藤	三ノ宮停車場内	同	加藤 鎮次郎
兵庫	五段に二目	久松	湊町一丁目	同	計里 久太郎
同	五段に三四目	香川	元町通五丁目一七六	五段に五目	瀧本 萬藏
神戸棧橋會社内	同	大島	山本通五丁目	同	岩島 匡徴
桶町六丁目二七七	五段に三目	中澤 正満	多聞通二丁目六三	同	小島 長雄
桶町	五段に四目	島津 庸	加納町	同	宮崎 政陣
榮町通六丁目一	同	有馬 常次郎	桶町五丁目一四八ノ一三	同	川崎 正藏
布引	初段	梅田 喜太郎	山本通四丁目一五二	同	小室 虎吉
下山手通五丁目	同	桑田 房吉	北長狭通七丁目四四	同	菅森 虎之助
中山手通七丁目五六	五段に四目	岡田 小兵衛	下山手通七丁目	同	松本 啓藏
湊町一丁目	同	岩崎 一彦	山本通四丁目	同	吉田 喜一郎
			同 四丁目二二二		北川 榮熊
					村松 吉太郎

中山手通三丁目七一	五段に六目	松野 茂介	仲町通	二枚	木谷 吉兵衛
元町通四丁目	同	春日 稷	布引通	同	上田 幸吉
宮屋町二	同	柴田 茂人	和町崎町	同	魚
下山手通四丁目	同	中大路 廉	同	同	魚
神戸小學校内	初段に四目	錦見 清作	元町通	二枚	上
鐵道作業局官舎	同	山口	神戸	二枚	山村 梅吉
郵船會社内	同	島村 淺夫	長田村	二枚	北村 山吉
圍碁俱樂部なるもの三十六年五月創立せられ舊湊川西堤防に在り會員三十名餘を有す會費一ヶ月金五拾錢會員外にして臨席するものは席料金五錢を徴す	同	仲町通	仲町通	五枚	住岡 庄吉
駒ヶ林	半	魚 じ	四出町	初段	と 戸 政
兵庫	三段	魚 新	桶町	三枚	神 寅
神戸	二段	木見 金次郎	切月町	二枚	碓 村
井合小野桐屋渡	初段	根木 利八	福原町	一枚	床 定
川崎新田	同	阿波 忠	同	一枚	赤 澤
福原町	四段	勝浦 松之助	兵庫	一枚	鹽 谷
多聞通	二枚	西岡 吉兵衛	同	一枚	車 谷
仲町通	二枚	佐々木 幸治郎	神戸	一枚	藤 本

兵庫	三枚	山崎	七
兵庫	二枚	山崎	村
兵庫	四枚	木田	文太郎
兵庫	初段	只野	幸右衛門
兵庫	初段	廣	田
兵庫	初段	濱	井
兵庫	二枚	小	幡
兵庫	二枚	魚	清
兵庫	二枚	松	葉
兵庫	二枚	小	原
兵庫	二枚	旗野	篤太郎
兵庫	二枚	藤	川
兵庫	二枚	安	井
兵庫	二枚	森	淺太郎
兵庫	二枚	吉	野

半とあるは俗に飛杏落と稱へ飛車と杏車を落すを云ふ、四段に對し半落の力は未だ初段に達せざるものなり

四段と初段との力の差は凡角一枚とす

第六十七節 辯護士、公證人、執達吏

飯田	勇記
早川	徳太郎
草鹿	甲子太郎
松本	織五郎
櫻井	一久
佐野	春五
山田	鏡七
鞍谷	源吉
桑田	房吉
高倍	權太郎
大野	清義

參照 將某の階段は杏車一枚を以て二段の差とす
二枚とあるは飛車、角各一枚なるを云ふ

野添	宗三	多聞通三丁目三九	電話 六〇〇	高井	三和次郎
太田	千勢	同 四丁目六七	電話 六〇〇	小野	寺勝
石卷	清隆	同 七丁目〇四 (出張所并合旭通三丁目四)	電話 六〇〇	加藤	勝助
大島	恒二郎	并合村一、七〇一	電話 八七五	大河	平隆
日山	彦十郎	淺町一丁目四八四	電話 八七五	田井	與之助
鈴木	丈之助	同 二丁目四九〇	電話 八七五	中島	孝叔
太田	保太郎	塚本通二丁目	電話 八七五	岸本	晋亮
山本	周輔	奥平野村四七	電話 八七五	山下	雄太郎
鎌田	孝二郎	同 電話 八七五	電話 八七五	山本	四郎
入山	正仙	元町通六丁目一〇二	電話 八七五	島	兌恒
増田	潤	同 七丁目一一	電話 四七五	林	勝造
善積	順藏	同 三丁目二五五	電話 四七五	三輪	正一
大槻	貞夫	三宮町一丁目三八三	電話 四七五	須藤	貞正
大槻	貞三郎	橋通二丁目八	電話 二六六	上田	庸熙
川瀬	彦輔	多聞通五丁目九九	電話 一三三三	宮崎	政輝
小西	豊太郎	同 二丁目六三	電話 一三三三	水越	成章
飛石	久太郎	永澤町二丁目一五九	電話 一三三三	水越	成章
横井	金藏	同 電話 一三三三	電話 一三三三	水越	成章
白井	勝悟	楠町六丁目二六三	電話 一三三三	水越	成章

補町六丁目二六〇
同 六丁目二五五
同 六丁目二六一
北風貞繼
樋口載章
名島寅袈裟

第六十八節 病院

縣立神戸病院 補町七丁目
院長醫學士 鈴木徳男
電話九七〇

因みに同院入院料及診査料を左に掲ぐ

入院料

上等 一人一日に付 壹圓五拾錢

一等 同 壹圓貳拾錢

二等 同 八拾錢

三等 同 五拾錢

診察料

一人二ヶ月 貳拾錢 一人一回 五拾錢

來院診察のみを受ける者

縣立福原病院 荒田町二丁目
院長醫學士 古川肇造

娼妓病院 院

市立東山病院 兵庫會下山
電話七二三

避病院 院長天兒民惠

私立布引病院 加納町二丁目
院長醫學士 山本五郎
電話六六六

胃腸科 院

同兵神病院 北長狹通三丁目
院長醫學士 西山乾壽

同佐野病院 同 四丁目
院長醫學士 佐野譽

同高橋病院 下山手通六丁目
院長醫學士 高橋盛寧
電話一、二一七

同高橋眼病院 同 八丁目
院長醫學士 高橋登

同神戶胃腸病院 中山手通四丁目
院長醫學士 長田村 拯

同山本眼病院 同 四丁目
院長醫學士 山本陸治

私立神中病院 中山手通五丁目
院長醫學士 神中正雄
電話九八五

同阪元婦人科病院 同 七丁目
院長醫學士 阪元重勝

產科婦人科 院

同吉田病院 山本通四丁目
院長醫學士 吉田周甫
電話七九

同產科婦人科病院 花隈町
院長醫學士 橋本玄龍
電話一、〇四

產科婦人科 院

同杉田病院 補町一丁目
院長醫學士 足立時五郎
電話一、二五四

同水谷眼病院 荒田町二丁目
院長醫學士 水谷牛次郎

眼科 院

同海民病院支院 東川崎町五丁目
院長醫學士 横川震八郎

同大國病院 渡町一丁目
院長醫學士 大國真太郎
電話九一五

同大國病院 院

私立藤井内科病院 四出町
院長醫學士 藤井幸夫
電話九八五

同大島婦人科病院 塚本通二丁目
院長醫學士 大島喜馬太

產科婦人科 院

私立鶴飼病院 魚物町
院長醫學士 鶴飼敬二

同海民病院 奥平野村
院長醫學士 横川震八郎
電話一、三六七

同市立神戸精神病院 夢野村
院長醫學士 水谷牛次郎

同私立須磨療病院 武庫郡須磨村
院長醫學士 鶴崎平太郎

同神戶家畜病院 中山手通六丁目
院長醫學士

同家畜病 院

第六十九節 醫師、藥劑師

榮町通三丁目一六ノ三	內科	永田春光	塚本通二丁目四	産科婦人科大島病院長	大島喜馬太
同 五丁目二三	同	内田綱太郎	東柳原町八	産科	姫田對順
元町通二丁目五八	同	阪井納藏	南遊瀬川町一丁目二八婦人科眼科	産科婦人科眼科	藤井杏圃
同 四丁目一〇八	同	大野輝吉	北長狹通六丁目一三五	小兒科	横川震八郎
北長狹通三丁目四一	同	堤豐治	下山手通六丁目一五六	小兒科	長澤亘
花隈町三四二	同	江馬賤男	三宮町二丁目一〇六	同	安井鼎
同 二三	同	黒柳精一郎	布引通四丁目九二	同	村田百松
山本通五丁目	同	西廣吉	下山手通四丁目八三	同	田村五郎
北長狹通三丁目二七	外科	大村定吉	加納町一丁目	同	山本五郎
仲道通一丁目九	同	井上卓二	元町通四丁目五	同	細見慶吉
奥平野村三四二	同	菅敬藏	同 六丁目一六	同	福島敏
長田村三三二ノ二	同	河瀬峯雲	下山手通八丁目一五三	同	草刈俊平
中山手通七丁目二九	産科婦人科	鳥越淡藏	同 六丁目	同	伊藤熊治
同 七丁目二四	産科婦人科	阪元重勝	花隈町四一六	呼吸器科	柳田南洋
花隈町四八〇	産科婦人科	橋本玄龍	同 四一六	皮膚病科	水川房次郎
荒田町三丁目九九	産科婦人科	千賀大次郎	同上通七丁目七	皮膚病科	蘆田耕平
補町七丁目七二	産科婦人科	千頭傳	仲道通四丁目六	皮膚病科	三井養碩
多田通五丁目九五	産科婦人科	三浦久治	羽坂通一丁目四一	同	高田桂堂
仲町通三丁目六	同	熊谷克己	北長狹通四丁目三	眼科	山縣正雄

北長狹通四丁目二三	眼科	田中彰	下山手通六丁目六九	齒科	門倉清廣
同 四丁目一六	同	光藤昌介	三宮町三丁目九四	同	櫻井國吉
同 七丁目一四七	同	大塚正義	同 二丁目三三〇	同	大岩作太
下山手通六丁目一五七	同	池田孝	相生町四丁目	同	本林貞次郎
同 七丁目	同	西村美徳治郎	東出町三丁目一七四	同	小倉夏藏
花隈町二丁目	同	桑原眼科診察所	湊町一丁目二一六	同	齋藤豊橋
下山手通八丁目三〇	同	高橋登	宮屋町一	同	室田英哉
中山手通四丁目一	同	山本陸治	四出町一七〇	同	安尾傳次郎
荒田町三丁目一〇四	同	水谷牛次郎	仲町通二丁目八	同	佐藤幾右衛門
相生町四丁目	同	水野善一	元町通七丁目二二	同	片山正義
水木通一丁目六六	同	今泉四郎	下山手通七丁目一五	同	平田正次郎
元町通二丁目一九六	同	竹内巳六	上橋通二丁目二	同	依藤豊章
同 三丁目二四四	同	佐治耕三	榮町通四丁目二二	同	中井淳
同 四丁目六七	同	住川泰藏	同 五丁目五七	同	白井剛策
同 五丁目一三二	同	小林勝之	元町通四丁目八	同	春日稔
同 六丁目一七	同	太田吉郎	同 四丁目一七	同	小河宗連
北長狹通三丁目六三	同	渡邊貞次郎	同 五丁目三	同	竹内秀之助
北長狹通七丁目九	同	高木憲太郎	同 六丁目一五三	同	津山四郎
下山手通二丁目三九	同	本吉元治	北長狹通三丁目一〇	同	西山乾壽

北長狭通三丁目	吉田病院院長	江本龍四郎	山本通四丁目	吉田病院院長	吉田周甫
同 四丁目三二	佐野病院院長	佐野	同 五丁目八二	電話七九	村田昇清
同 七丁目一五七	電話一〇九三	菅原權之助	花隈町	兵庫縣衛生課長	廣海拾藏
下山手通六丁目三五	高橋病院院長	高橋盛尊	同 三三		馬場康雄
同 四丁目二六	電話一〇七七	杉右一	加納町二丁目四		川崎李太郎
同 五丁目一六		深澤高敬	同 二丁目四		神代
同 二丁目一〇	醫學士	山本治郎平	同 二丁目一五		明石合雄
同 六丁目一〇〇	電話八四七	鶴飼敬二	同 三丁目五五		陰山喜代吉
同 八丁目一六〇	電話九三五	川本尙藏	同 四丁目一八四	附儀風術療法	草地彦藏
同 八丁目二九		平原貞吉	布引通二丁目一		富田茂
中山手通二丁目三五		前田唯一	同 三丁目九		田村子吉
同 二丁目二八		堀俊三郎	二宮町二丁目三		藥師寺文吉郎
同 四丁目外二	神中病院院長	神中正雄	荏合船内二八九		山口治郎平
同 五丁目三二	電話四八五	笹山厚	南本町二丁目		杉山正龜
同 六丁目二〇		森本常吉	同 六丁目二		關岡主一郎
同 七丁目四三	神戶病院院長	鈴木德男	香通六丁目三三九		近江周友
同 七丁目三一	東山病院院長	天兒民惠	同 六丁目〇		江澤敬二郎
同 七丁目一九	神戶病院院長	秋山彌平	小野柄通六丁目七一		波根右内
同 七丁目一九			同 七丁目		前田重之助

小野柄通七丁目	長谷川訥造	相生町二丁目三二	鈴木侃二郎
御幸通七丁目六二	川上美勝	仲町通二丁目九九	田村喜進
同 七丁目六二	山田新之助	同 六丁目二八	百々俊太郎
同 八丁目二四	松村琢磨	多聞通四丁目四九	河本後進
環上通七丁目二一	折島喜代藏	同 四丁目六八	藤田連借
琴通五丁目三六	菅原純	同 四丁目六八	小笠原泰次郎
環井通五丁目四四	岡本常増	同 六丁目六八	泉虎雄
橋通四丁目	横山元治	東川崎町二丁目六五	井上學太郎
同 二丁目二〇	堀尾秀之助	同 五丁目二九	前川俊造
同 二丁目二〇	足立時五郎	同 七丁目三四二	馬詰美馬二郎
同 一丁目	岡田日人	東出町二丁目二〇九	加藤静吉
同 五丁目一六三	藤原宇市	淡町二丁目 大國病院院長	大國真太郎
同 六丁目二七八	岡田謙二郎	西出町二	齋藤直三郎
同 六丁目	田中桂次	同	藤野福太郎
荒田町二丁目二七五	小川春雄	宮前町七	志賀源英
同 一丁目三六二	前柴徳中	同 七	志賀玄光
同 三丁目三六七	三戸常三郎	川崎町二	倉内寅次郎
上橋通三丁目二五三	若松彌太郎	淡町二丁目三五五	前田美保
同 四丁目一六一	鈴木晃輔	同 一丁目一六一	弘田克忠

塚本通四丁目四五
佐比江町五〇
宮原町二
戸場町一八
西宮内町二〇
同 二二二
永澤町一丁目二〇
同 三丁目五〇
東柳原町三
同 二五
北遊瀬川町三四
同 三一
南遊瀬川町一丁目三六
神明町三九
西仲町五丁目五
北仲町八
魚棚町一〇
出在家町五
同 八

岩本由次郎 今出在家町一丁目六四
先山修 下澤通一丁目
柴田義人 切戸町九四
一藤元嗣 小河通三丁目三二
若林立三郎 松本通三丁目四
木谷貴惣太 塚本通二丁目八
河野通健 大開通三丁目三一
半井鐵道 仲道通一丁目一八
安田敬造 奥平野村外六一
岡村正行 同 一六
速見七郎 同 三四四
正井大次郎 同 二九六
小島真二 同 一〇二
名倉和行 同 三八
多田圭策 同 二六九
西春藏 駒ヶ林三九五
内田伴三郎 同 三九五
高島清三 同 三六〇
兼 海濱検査醫 萩原勝馬 東尻池村一三二

兼 監獄醫
兼 海濱病院委員
兼 神戶病院醫員

馬場秀造
河島新辰
西田時敏
百々友吉
大西武治
清水喜彦
上野毅
岸本教平
鈴木鼎吉
岡本常治
小堀正治
松島朗
久米徳之助
長樂清太郎
村井房太郎
村井兵部
木南大介
横山直規

中山手通七丁目二八
右の外外國人にして醫業を営むもの左の如し

仲町六六 齒科眼科 米國人 ハロルド、スレド
中山手通三丁目五五 同 ガエームス、エス、サワース
兼 町九四 英國人 ラルフ、スミス、ミルラー
同 九三 英國人 アー、ロスキル、パトリック
中山手通二丁目五五 獨逸人 サミニアル、トーマス、ナグス
山本通三丁目七二 獨逸人 エドガル、フェルナンド、セツケ
明石町一八 英國人 セーバツクニル、フワワー
兼 町九四 同 ショーワ、ダニエル、スミス
山本通三丁目一〇 獨逸人 アルブレヒト、フェルケル
布引通一七 英國人 アイカレット、エム、マオス
仲町八七 米國人 ホーケン、リッツアー、パーロツト
山本通二丁目 同 セービー、パール
同 エス、エー、ロツクワード

藥劑師
柴通五丁目二三 石橋芳太郎 同 三丁目二四
元町通三丁目四四九 村上治郎右衛門 同 五丁目二一
同 四丁目一〇八 小笠原悦二 北野町三丁目二六
同 五丁目八八 津田五郎兵衛 花隈町一九九
同 五丁目二二 横田孝史 加納町二丁目三三
同 六丁目三四 熊田徳一郎 同 四丁目七六

元町通六丁目二三四
北長狹通八丁目三
下山手通三丁目六二
同 五丁目三四
同 七丁目三八〇
同 八丁目三五
同 八丁目七八
中山手通二丁目二
同 二丁目一〇一
同 二丁目一九
同 七丁目三一
山本通三丁目九六
同 三丁目二四
同 五丁目二一
北野町三丁目二六
花隈町一九九

兼 醫
山本有太郎
黒田言治
河本美恒
鴻海茂
遠藤佐吉
中西鐵馬
田中藤吉
伊藤又十郎
田中鶴松
高田桂
佐々木清一郎
市野瀨潜
伊從卓造
葉永雄次
近藤金一
川口清次郎
廣海捨藏
西山寅治郎
中尾徹

布引通三丁目四五
 布引通九三
 琴緒町五丁目三〇
 盤井通一丁目五八
 同 七丁目六九
 小野通七丁目
 同上通七丁目三
 基合町一九七一
 楠町三丁目五
 同 七丁目五四
 福原町三〇六
 多聞通四丁目五〇
 同 五丁目九〇
 同 五丁目一八
 相生町二丁目二
 同 五丁目一四
 荒田町三丁目一六四
 大開通一丁目四八
 榑本通二丁目九

矢島藤七郎
 吉田末吉
 瓦崎富藏
 森清太郎
 三橋久誠
 前田重之助
 小野清治
 長谷基一
 山本精知
 平井藤太郎
 白崎潤藏
 齋藤貞次郎
 中田兵藏
 野崎廉平
 盛本章達
 浪田安太郎
 林梁藏
 大野瀧藏
 松田孝吉

水木通一丁目四七
 永澤町二丁目一七
 西出町二七
 戸島町二
 東出町三丁目三二
 上澤通二丁目四三
 奥平野村二九九
 同 天王谷
 同 二九九
 東尻池外一六

上田實
 塚本野
 牧野裕
 傳谷徳太郎
 柏谷寅吉
 延原愛吉
 駒井六三
 渡邊英三郎
 高橋伴藏
 原岡貞三郎

第七十節 看護婦會、助産婦

看護婦會

シエーダアルエーランクリン
 ジエー、ハンド
 セームス、ハンター、フランクソン

友愛看護婦會 三十四年一月設立、寺島ノブエ
 神戸看護婦會 二十六年四月設立、古川利作
 草地看護婦會 三十五年七月設立、草地せつ
 徳義看護婦會 三十六年二月設立、並川かめ
 神戸看護婦會 三十五年十二月設立、江口スナ
 兵神看護婦會 三十四年八月設立、池田辰子
 兵庫縣産婆看護婦會 三十五年八月設立、小川タツ
 兵庫縣私立看護婦會 同 北長狹通七丁目一四七
 高木看護婦會 同 永澤町四丁目九五
 篤愛看護婦會 同 西出町六四一
 惠仁産婆看護婦會 同 花隈町七八

下山手通四丁目外八
 北長狹通七丁目一五三
 中山手通三丁目八一
 楠町六丁目六
 下山手通八丁目一八三
 同 六丁目一三六
 上橋通二丁目一
 北長狹通七丁目一四七
 永澤町四丁目九五
 西出町六四一
 花隈町七八

關西看護婦會 三十五年十二月設立、松原フサ
 私立神戸看護婦會 同 下山手通八丁目一〇
 有隣看護婦會 同 北長狹通七丁目一四二
 矯正産婆看護婦會 三十六年七月設立、權谷小次
 伊藤看護婦會 同 年八月設立、伊藤こま
 博愛看護婦會 同 年同月設立、三浦満津
 中央産婆看護婦會 同 福原町三二七
 産婆看護婦會 同 下山手通八丁目二六
 富永看護婦會 三十七年六月設立、富永源吉
 同業者にして左の組合あり
 神戸市看護婦會組合 事務所 下山手通四丁目番外八
 組 長 寺島ノブエ 副組長 池田たつ
 常委員 小川たつ 常委員 草地せつ
 岡田やす 同 中田くら

濱崎通一丁目四四二
 下山手通八丁目一〇
 北長狹通七丁目一四二
 相生町四丁目二四
 中山手通七丁目一三
 淡町三丁目二
 福原町三二七
 下山手通八丁目二六
 橋通二丁目三〇
 橋通二丁目三〇
 下山手通四丁目番外八
 下山手通四丁目番外八
 常委員 草地せつ
 同 中田くら

助産婦(産婆)

元町通二丁目二九八
同
同 二丁目六〇ノ一
同 三丁目三八三
同 六丁目五一
同 六丁目一六
同 五丁目一〇三
北長狭通二丁目一九一
同
同 二丁目九六
同 四丁目一五
同 七丁目一五六
同 七丁目七八
同 七丁目一五六
同 八丁目四五
下山手通四丁目外八
同 四丁目外七
同 四丁目外八

原田イマ	下山手通四丁目外二九
濱中ミ子	同 四丁目外八
濱中サノ	同 四丁目外四
濱中キタ	同 四丁目五
宮脇イマ	同 六丁目四一
福島サダ	同 六丁目一五三
太田セキノ	同 六丁目一七
池上マツ	同 六丁目一六三
池上ツノ	同 七丁目八二
金岡キク	同 七丁目三六
前野スミエ	同 七丁目二九五ノ七
武田マチ	同 七丁目三六
松田ヨシ	同 七丁目三〇二
福永トヨ	同 八丁目一六〇
上田ムネ	同 八丁目一〇
大野カツ	同 八丁目二四三ノ五
松本カ	同 八丁目二四三ノ四
水野ナヲ	同 二丁目 二丁目四〇ノ八六

植村ナカ
上山シカ
山室多加
寺島信惠
池田タツ
小田ツチ
島村フジ
前川テカ
織野サカ
伊東リテ
伊東セツ
渡邊ミヲ
伊東ミヲ
小林マサ
多賀根トヲ
辻井ヤス
山本ミチ
長島ヲウ
松浦ミヤ
坂本ヤ

中山手通二丁目一九ノ二
同 三丁目八一
同 三丁目八二
同 三丁目八二
同 三丁目四
同 三丁目七ノ一八
同 三丁目六四
同 四丁目一〇〇
同 六丁目
生田筋
山本通二丁目一五
同 二丁目四二
同 三丁目六八
同 五丁目七六
花隈町一四〇
同 七八
同 三二六

第六節

看護婦會、助産婦

丹野フミ	楠町二丁目九八
野口ツル	同 二丁目四一ノ上六七
福島ハル	同 二丁目四九
河原マサヨ	同 四丁目一
國津チカノ	同 五丁目五三
平井サダ	同 五丁目二三
野田スミ	同 六丁目九三
下村タキ	同 六丁目九一
草地セツ	同上橋通二丁目三ノ二
一柳小藤	同 二丁目六〇
高濱エミ	同 二丁目一
二見エン	同
長谷川ミチ	同 四丁目三七ノ二
萩原ツチ	同 東川崎町四丁目二一四
大野スイ	同 四丁目一八
太田ツチ	同 五丁目一六四
殿待ヤス	同 多間通七丁目三五
平野チサ	同 相生町五丁目五六
奥井ヨチ	同 仲町通三丁目九五

松岡カメ
難波ヨウ
森本ツチ
小川リウ
中村與之
三輪ビヲ
里田タマ
瀧本ツチ
各務グニ
西野タケ
小川イシ
小川タツ
中野カメ
北村トヲ
新谷サト
並河カノ
谷口ミツ
辻ナカ
大久保ツノ

仲町通六丁目二八
 同 六丁目九ノ上三八
 加納町二丁目一八
 同 三丁目四
 宇治野町一九
 荒田町一丁目四四三
 同 一丁目七一六ノ四六
 同
 同 一丁目四〇四
 同 一丁目五二四
 同 二丁目七三
 同 三丁目一七一
 同 三丁目八五
 同 三丁目四五ノ一四八
 同 三丁目一
 同 三丁目九ノ四三
 同 四丁目一ノ三四
 布引通二丁目五
 同 四丁目二ノ上二〇二

丸山 トミ 盤井通六丁目一五
 久我 ウノ 池通四丁目四八
 高田 シヅ 御幸通八丁目七
 西村 トキ 同
 白井 コヨシ 小野柄通六丁目七五
 同 磯上通二丁目一
 難波 ツナ 荻合町砂川一八
 金榮 マス 同 一五〇一
 金榮 ミキ 同 一六一一
 豊田 スイ 同 一三八二
 中村 カキ 同 一九〇九ノ二三
 福井 カムメ 同 一〇一九
 客殿 カツノ 同 一九〇九ノ五
 眞野 キヨシ 同 二八八〇
 二見 ミツ 同 一一八八
 村越 タメ 同 一九一ノ四
 長濱 クマ 同 外四一七
 渡邊 ミエ 同 外二一九
 田村 ミツ 同
 中村 カツ 同

笹井 ヨシ
 野中 シツ
 櫻井 イシ
 櫻井 スエ
 田淵 ヨシ
 北谷 セン
 北田 キエ
 橋本 イチ
 山本 イチ
 山田 タツ
 浅川 ウタ
 上田 カチ
 清水 シゲ
 前川 ウタ
 植田 トメ
 清水 コメ
 玉生 フキ
 福原 ヨシ
 小八木 虎衛

奥平野村外二六一
 同
 石井村向二六一ノ二
 江川町八三
 湊町一丁目一九六
 同 一丁目三三ノ二
 同 一丁目五〇八
 同 一丁目二九七
 同 一丁目五五六
 同 一丁目三三ノ二
 同 一丁目六六五
 同 一丁目三三ノ三
 同 三丁目一三
 大開通六丁目二三
 永澤町一丁目五八
 同 二丁目二二
 同 三丁目二二五
 下澤通一丁目三
 水木通一丁目四七

井尻 チカ 水木通二丁目二九ノ二五
 藤田 武 同 三丁目二〇
 木下 フエ 同
 神代 フミ 同 四丁目九ノ上四
 下田 ヤス 同 五丁目五ノ一
 辻 ウメ 東出町三丁目一七〇
 坂本 ツマ 同 三丁目七
 明石 カル 同 三丁目一七〇
 森田 チャウ 同
 辻 シゲ 入江通一丁目三
 小山 イワ 同 八丁目七ノ四三
 辻 ノブ 塚本通一丁目七五
 今田 チエ 同 四丁目四九
 難波 ジャウ 同 五丁目三三ノ二〇
 荒賀 カン 同 五丁目三〇ノ四四
 平井 レン 東柳原町二二
 松川 壽鶴 四柳原町二八八
 奥村 チヨウ也 同 一一五
 三浦 満津 中道通一丁目六

井上 スイ
 市浦 ミチ
 市浦 セキ
 武井 トセ
 鷲塚 モト
 重本 マサ
 清水 リキ
 重本 ハマ
 重本 ジユ
 山根 ミチ
 吉田 ユキ
 久下 スイ
 長尾 シン
 藤原 フサ
 田村 ウタ
 天羽 ナミ
 太田 フサ
 北條 サト
 藤尾 ヒラ

中道通二丁目四七
 佐比江町九五
 同
 四仲町五
 神明町五八
 濱崎通三丁目一八ノ四
 今出通二丁目五
 西出町六八三
 松原通三丁目三九
 小河通三丁目一六ノ一
 新在家町五三
 三川口町二丁目一
 門口町二三五
 今和町新田三七
 和田崎町二三一
 同 五五ノ五六
 駒ヶ林村二二九
 同 五六八
 同 五八八

北原ノエ 長田村二三二
 國賀サタ 同 四三四
 國賀サク 西尻池村八一ノ一
 兒島ジュン 武庫郡今津村下今津
 藤岡クロ 同 魚崎村横尾
 土屋タツ
 小澤ヒデ
 小山タツ
 土井ミキ
 正木保
 淡本ミツ
 中山トマ
 熊里ハル
 山本ムメ
 松本ユウ
 吉原リク
 藤原シナ
 津田ヨナ
 末村ヨナ

第七十一節

ホテル及旅館

花屋 電話二〇〇
 西常田 電話六〇
 中常田 電話六二
 常盤花田 電話一七
 音羽花田 電話一九
 島崎茂三郎 電話二三
 後藤勝造 電話二七
 藤善作 電話二七
 山本爲次郎 電話一四五
 出水重郎兵衛
 井上ゆき

元町通二丁目一七八
 同 三丁目二三三
 同 七丁目二六
 同 三丁目
 海岸通三丁目九
 同 四丁目七
 同 一九
 同 二三
 同 五一
 同 三三
 同 五丁目一六
 同 六丁目四
 同 五
 同 六丁目
 同 五ノ一
 同 一八

多葉旅館 電話二二八二
 高橋ツ子 電話九七四
 増田房次郎 電話九〇四
 安野居ツ子 電話一三〇六
 中居基一郎 電話一〇五一
 出口岩太郎 電話三三六
 同 電話三三六
 同 電話六四八
 同 電話六四八
 同 電話六四八
 同 電話六四八
 同 電話六四八
 同 電話六四八

細見幸助 電話二二三
 山崎初太郎 電話二二三
 田中儀助 電話二二三
 川上シナ 電話一三〇五
 柳谷金次郎 電話一三〇五
 前田喜兵衛 電話一三〇五
 西野治三郎 電話一三〇五
 立花サト 電話一三〇五
 橋本岩太郎 電話一三〇五
 高松岡松之助 電話一三〇五
 河野保喜 電話一三〇五
 吉岡つね 電話一三〇五
 井上芳勝 電話一三〇五
 今中支店 電話一三〇五
 但馬黒川トクエ 電話一三〇五
 岩島直太郎 電話一三〇五

元町通四丁目二四	三三	電話一、二九四	松田源二	榮町通三丁目
同 三三	同	同	同	同
同 一四三	同	同	同	同
同 五丁目一〇	同	同	同	同
同 二二	同	同	同	同
同 五丁目四三	同	同	同	同
同 五六〇一	同	同	同	同
同 二六八	同	同	同	同
同 二九一	同	電話一、三三一	同	同
同 二九一〇一	同	同	同	同
同 六丁目二六	同	同	同	同
同 七丁目三三	同	同	同	同
同 二〇、二二、三三、	同	電話五五五	同	同
同 七丁目	同	同	同	同
海邊通三丁目一〇	同	同	同	同
榮町通三丁目一六〇二	同	同	同	同

花限町五五	紅花亭	北長狭通八丁目二六〇一	武本ステ
同 四八八ノ二	兼旅館電話一、四七四	同 五一	山口かつ
北長狭通二丁目一一	魚乃家旅館	東川崎町三丁目一七	山田源吉
同 一一ノ一 蕎麥饅頭	高津勘太郎	同 四丁目一	小野源一
同 三五二	藤原サス	相生町二丁目三一	植村虎熊馬
同 四丁目二二	杉本徳三郎	同 七七	網谷龜吉
同 五丁目四八ノ六	中村服太郎	同 九一	若林榮吉
同 四八ノ七	山田幸吉	同 三丁目一	鱗房太郎
同 三二	岡島つね	同 二〇	高田藤吉
同 七六	三宅フキ	同 二二	今津駒吉
同 五ノ一	松葉家	同 四六	加藤長
同 六五ノ三	玉川巳之介	同 四九	坪田巳之介
同 六八ノ一	冷松島	同 六八	前川キノ
同 七八	中井上由之助	同 四丁目八六	大澤房吉
同 七八ノ六	湯本吾市	同 一三八	松田常太郎
			米下佐市

多聞通四丁目一
同 七丁目一〇
同 二丁目四
同 一丁目
同 二丁目二七
同 七八
同 八〇 麴類
同 一六八
同 三丁目三 麴類
同 九
同 五丁目二 麴類
同 九六 同
同 八丁目九三 同
同 通三丁目九〇
同 四丁目一
同 三五

宮津宮次 橋通四丁目九六
佐藤以系 同 五丁目一六
中川てる 同 六丁目五一
か 辰 上橋通三丁目四 麴類
四現長 同 四丁目八八 天鉄羅
大澤房吉 同
矢頭音吉 同 一四九
加藤良 仲町通四丁目九二、九三
大西タメ 福原町一九一
藤田治兵衛 同 二〇七
木下佐市 同 二九ノ三
木村支店 同 二二〇
松田良之輔 同 二二八
木村卯之助 同 二二九
上林勝次郎 同 二二七
木下佐市 同 三三〇
小島貞吉 同 三四〇
國久與三吉 同 三四九

高亭花壇 電話一、三三一
柳川亭 電話五三五
山口金藏 同 四〇
木村トヨ 同 三六
た 藤岡やす 同 四〇
丸 藤岡やす 同 四〇
江 藤岡やす 同 四〇
秋 藤岡やす 同 四〇
池田太郎 三川口町三丁目一九
同 四丁目一三
魚谷鹿藏 出在家町外六
伊勢清吉 東出町三丁目一七
伊勢清吉 今出在家町三二九
駒生間エツ 宮屋町一四
山本庄藏 大開通二丁目七
松田ステ 西出町六九四
秀の村金次郎 宮内町二四
山田アイ 宮前町一
小原トク 同 五三
三川タマ 同 五三

滑川喜平治
安井松吉
前川キス
松田良之輔
加藤モト
村上辰次
三輪駒次郎
山角秀藏
新庄一郎
天角秀藏
か 佐藤万次郎
常 佐藤万次郎
國初タカ
岩浪政吉
備 大久保又吉
山下鐵太郎
松田マサ
柴川重吉

福原町三五四
同 四三三
同
同
同
同 四七一 魚鳥類
同 四七一
同 四二
同
北逆瀬川町九八
同
同 一〇二
同 二五
同 一〇〇

高亭花壇 電話一、三三一
柳川亭 電話五三五
山口金藏 同 四〇
木村トヨ 同 三六
た 藤岡やす 同 四〇
丸 藤岡やす 同 四〇
江 藤岡やす 同 四〇
秋 藤岡やす 同 四〇
池田太郎 三川口町三丁目一九
同 四丁目一三
魚谷鹿藏 出在家町外六
伊勢清吉 東出町三丁目一七
伊勢清吉 今出在家町三二九
駒生間エツ 宮屋町一四
山本庄藏 大開通二丁目七
松田ステ 西出町六九四
秀の村金次郎 宮内町二四
山田アイ 宮前町一
小原トク 同 五三
三川タマ 同 五三

醉田中徳藏
坂尾ナヲ
天清水ナヲ
松田良之輔
青江せき
石川音吉
梅高宮ツタ
角岡文介
柳川清三郎
尾上ひさ
石井ステ
川池マツ
魚谷善介
淡井仁兵衛
東魚谷い

第六章 第七十三節 牛乳商と牛鳥肉商

菅前町六五	兼旅館電話一、一三三	四魚善	常吉	海岸通二丁目	西洋料理	グレンリー、ホテル
上澤通二丁目一		早猛	テイ	北長狭通二丁目	佛國料理	バリ、ホテル
大井通三丁目一四	電話一、三三五	音羽山音羽	伊太郎	下山手通二丁目	西洋料理	フランケース、ホテル
東雲通一五		和徳	徳藏	海岸通二丁目五	福建料理	喜雨亭
琴緒町五丁目一〇六		金谷	竹藏	榮町通二丁目一八	支那料理	杏香樓 鄧王廷
御幸通八丁目七〇		倉谷	定吉	同	同	福源昌酒樓
奥平野村外六七	兼旅館電話一、一七〇	熊平	長藏	同	同	品芳樓
同	電話五九六	秋田	幸平	同	同	宴瓊林
東尻池村一九〇		木田	サイ	同	同	
須磨村ノ内四須磨八六		志賀	熊吉	同	同	
同	二五三	細川	芳三郎	三宮町二丁目一三		宮本久我治
同	二五〇	川崎	常太郎	同	二丁目二〇五	平井為吉
同	二五九	武田	榎	同	二丁目二七二	阪本廉吉
京町八〇	西洋料理電話七四一	オリエンタル	ホテル	同	二丁目一六一	小谷岩吉
前町一八		兵庫	ホテル	下山手通六丁目一四七		長田米藏
榮町二丁目三		グレート、イースタン、ホテル		同	六丁目七九	山口豊吉

第七十三節 牛乳商と牛鳥肉商

山本通三丁目城ケ口	電話一、一八六	伊阪	玄二	元町通二丁目三二		濱本増太郎
再度筋三五		高田	牧場	同	二丁目二九七	高橋タケ
荒田町三丁目九ノ三七		木梨	定市	同	一丁目二九八	瀬良敬一郎
同	三丁目一六一	紀谷	彌吉	同	一丁目三二九	森谷傳三郎
中山手通四丁目		由仁	恩商會	同	四丁目一	山路太三郎
二宮町一丁目一〇	電話一、〇六三	神戶牛乳減菌	社	同	七丁目二〇一	大井本店
兼合町一		神戶畜産株式會社		同	六丁目一六一	吉田藤松
琴緒町五丁目九八		鹽見	鹿藏	同	六丁目一七一	長田豊吉
同	五丁目一〇〇ノ一	江頭	作次郎	同	一丁目一七	橋本卯之助
多聞通四丁目一三一		松原	喜一郎	同	一丁目二九	松井友吉
湊町四丁目四五		松浦	竹之助	三宮町二丁目二八		向井久吉
奥平野村三九		長島	熊次郎	下山手通三丁目四四		北地鶴松
同	八六	藤井	欣市	橋通五丁目一六		松井政吉
東尻池村外四		花枝	源三郎	同	五丁目一七	東上菊松
下山手通八丁目一〇四		松並	き	古湊通二丁目一五九		千神謙次郎
元町通二丁目外一	電話一、〇四六	大井	支店	東川崎町四丁目一		小野壽一郎
同	電話一、一六一	山中	駒次郎	仲町四丁目九二		今城清作
同	電話一、一六一	岸田	伊之助	西柳原町九二		竹内慶太郎
同				東尻池村九ノ一		

第六章 第七十三節 牛乳商と牛鳥肉商